

---

# 年 報

---

平成16年度



上の山遺跡04-1 独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物群（弥生時代中期前半）－京阪調査事務所管轄－



讚良郡条里遺跡03-4 土器埋納土坑（古墳時代中期）－京阪調査事務所（交野分室）管轄－



禁野本町遺跡03-1 旧日本陸軍 禁野火薬庫跡（近代） - 中部調査事務所管轄 -



池島・福万寺遺跡02-4 溝・耕作跡（古墳時代～古代） - 中部調査事務所（池島支所）管轄 -

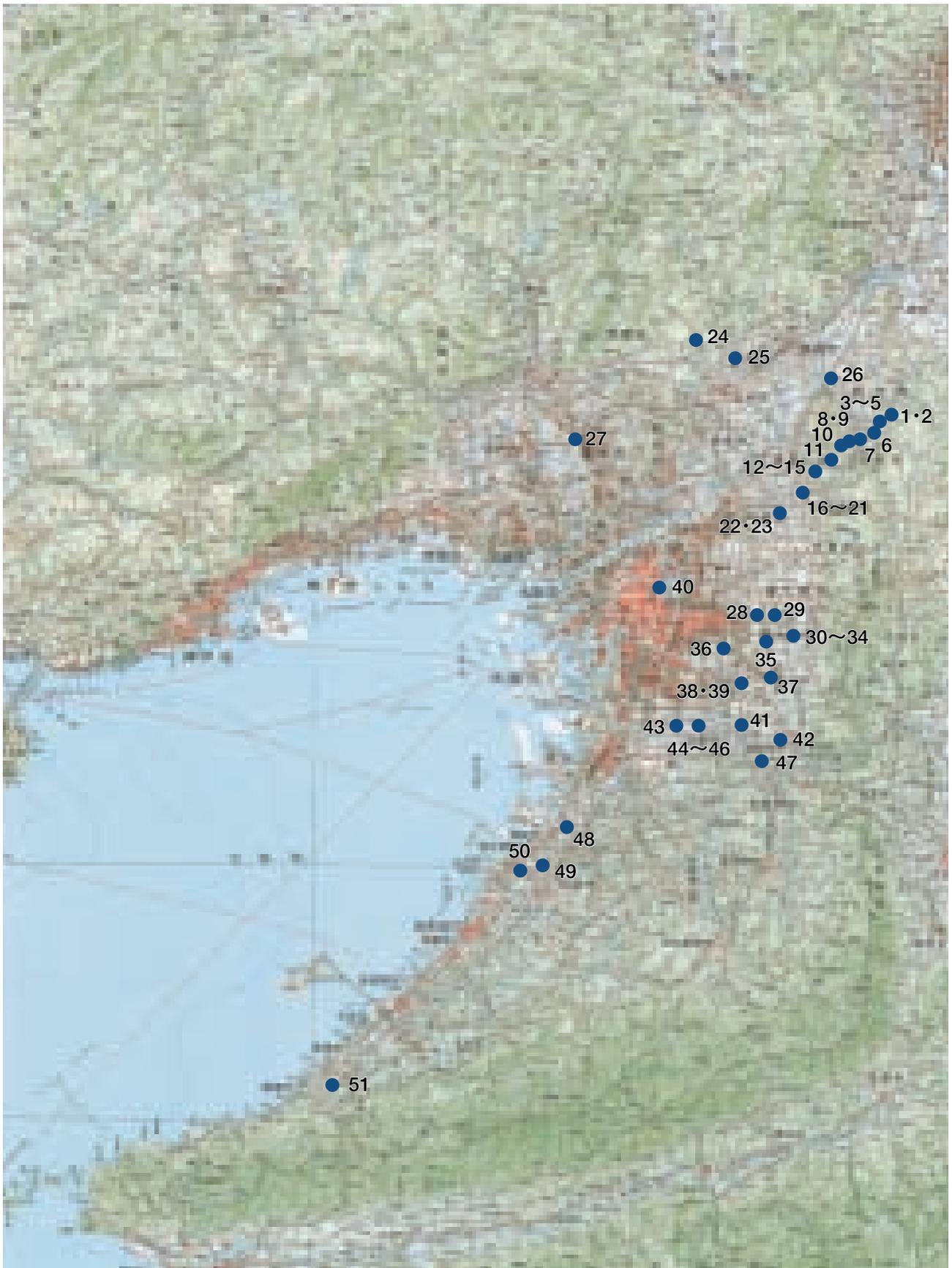


大坂城跡03-1 出土蒔絵（近世） - 南部調査事務所管轄 -



八尾南遺跡03-1 堅穴建物検出状況（弥生時代後期） - 南部調査事務所管轄 -

# 実施事業位置図



地図内の番号は調査事業一覧の遺跡（調査名）と対応する。  
(地図は国土地理院平成11年8月1日発行1/20万 京都及び大阪、和歌山を50%に縮小して使用した。)

---

# 年 報

---

平成16年度



財団法人 大阪府文化財センター



## 序

平成16年度は、私共のセンターにとっては極めて重要な1年であった。中核となる調査部の発掘調査事業は国土交通省・日本道路公団・財務省・大阪府・民間鉄道事業者などの諸開発事業に伴い、実に47件、面積にして14.4万平方米、例年になく大規模の受託費となった。受・委託の信義を遵りその責務を十分に果たすために4月1日、北部調査事務所を廃し、京阪調査事務所を開設、第二京阪道路事業に取り組み本年も（財）京都市埋蔵文化財研究所・（財）大阪市文化財協会・（財）和歌山県文化財センターから調査職員の派遣を頂き、予定事業量を事故なく多大の成果を挙げ完了することができた。調査体制の充実・整備、適正な事業施工、高い学術的標準の維持は委託者、広汎な研究調査機関の支援を得て始めて成就しうるところ、加えてセンター調査部調査職員、本部総務部の経理・安全管理・対外交渉に携わる総務課、設計管理、調査に携わる調整課職員の緊密な取り組みあって始めて完遂しうるところであった。

一方、センター普及部は少ない人数にも拘らず前半にもまして一層多彩な事業展開を果たし大きな成果を挙げた。難波宮発掘50周年を記念して（財）大阪市文化財協会・大阪歴史博物館と共催実施したシンポジウムも880名の参加者を得てその顕彰に大きな足跡を印した。日本の海外考古学調査を語る文化財講座は10回782人の参加者、発掘調査に合わせたのスポット展示は7回6316名・小展示、重要遺跡の速報・再三再四の府民に向かっての発信が続けられている。交流の場として大切な大阪府埋蔵文化財研究会も第49.50回研究会を実施、更には平成19年初春開催予定の世界考古学会議事務局の立ち上げに協力する一方で、韓国より4名の研究者を招聘し第15回考古学国際交流研究会を開催、両国考古学の緊密友好関係の醸成につとめた。

一体化した3博物館は従前のメンバー構成に加えてセンター調査部・普及部の支援・参加交流もあり着実な事業展開が果たせた。弥生文化博物館では小灘一紀絵画展、7回にわたるミュージアムコンサートが館の常設・特別・企画展に彩りを添え、近つ飛鳥博物館では古墳時代のまつり、古墳の森コンサートが風土記の丘の利用と相俟って常設・特別・企画展をひきたて、スポット展示やテーマ展示がそれぞれ特色を発揮し始めた。

一方、日本民家集落博物館はこまめな手作り企画の目白押し、環境を生かして人間の根源に触れる行事を積み重ね、入館者の大幅増となった。重要文化財椎葉の民家の復旧事業計画は着々と進捗、大阪府財界、文化庁、大阪府との間で協議が進捗し前途の見通しがたつ段階となった。館内に交野市原田誠一氏より寄贈をうけ、（財）萬野記念文化財団より建設費用の寄付を得た「北河内の茶室」が平成17年1月完成、館の重要な点景となった。

このように1年を顧みる時、支援下さった各機関のその時その時、またセンター職員のその日その日、センターへの温情、真摯な取り組みが走馬灯のように駆けめぐる。熱く御礼申し上げると共に来る年々にも一層の厚情をお願いしたいと思う。

平成17年9月20日

財団法人 大阪府文化財センター  
理事長 水野 正 好

# 目 次

巻頭カラー	(1) 展示会の実施	40
事業実施位置図 (カラー)	(2) 文化庁主催「公開普及事業」に協力	42
序	C. 文化財体験学習事業	43
目次	(1) 体験学習等の受け入れ	43
I 大阪府文化財センターの沿革と機構	D. 文化財資料収集事業	43
1. 設立の趣旨	(1) 文献及び文化財情報の収集・整理	43
2. 沿革	(2) 文化財情報のデジタル化	43
3. 概要	(3) 各種データベースの構築	43
(1) 目的	E. 文化財資料提供事業	44
(2) 事業	(1) インターネット及び報道機関を通じての 情報の提供	44
(3) 出資者	(2) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出	44
(4) 基本財産	(3) 函書の出版・販売	51
(5) 機構	(4) 出版物の寄贈・配付	53
(6) 役員・評議員及び職員	F. 文化財広報事業	53
a 役員	(1) ニュースレター (O C C H) の発行	53
b 評議員	(2) 年報の編集と発行	53
c 職員	G. 文化財記録保存事業	54
II 平成16年度事業概要及び決算	(1) 映画の制作	54
1. 理事会及び評議員会	(2) DVDビデオの制作	54
2. 決算	5. 研修、研究会等	55
3. 調査事業の概要	A. 研修及び研究助成	55
(1) 調査事業一覧	(1) 調査部研修	55
(2) 調査の概要	(2) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会海外研修	56
a 京阪調査事務所	(3) センター職員研究助成	56
b 中部調査事務所	B. 文化財研究事業	56
c 南部調査事務所	(1) 大阪府埋蔵文化財研究会の実施	56
(3) 保存処理事業	(2) 「近畿ブロック埋文研修会」と 「近畿ブロック埋文情報」	57
(4) 現地説明会等	(3) 第15回考古学国際交流研究会	58
4. 普及啓発事業	(4) 各博物館とセンター部との共同研究	58
A. 文化財講演会事業	6. 当センターを訪れた海外の研究者	59
(1) 重要調査に基づくシンポジウムの開催	7. 大阪府立弥生文化博物館事業概要	60
(2) 職員による文化財調査に関する講演会の実施	8. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業概要	64
(3) ミニ講座、見学ツアー等の実施	9. 日本民家集落博物館事業概要	68
(4) 文化財講座の実施	事務所・博物館所在地	75
(5) 郷土の文化財を見学する会の実施		
B. 文化財展示会事業		

# I 財団法人大阪府文化財センター沿革と機構

## 1. 設立の趣旨

社会資本整備のための公共事業や民間事業者による開発行為によって国土の自然環境や歴史的環境が急速な変貌を遂げている現在、後世に伝えるべき貴重な文化財の保存・活用、歴史的景観の保全等を図ることが行政に求められている。

これに応えるためには、有形・無形・民俗文化財等の保全・活用を図るための調査・研究体制を構築するとともに、調査や資料収集の成果の公開や文化財愛護意識の高揚のための普及啓発、文化財を通じての国際交流も積極的に行っていく必要がある。

一方、埋蔵文化財調査についても、数多くの各種公共事業が府下において計画されていることに伴い増加する傾向にあるため、事業者からは円滑な事業実施ができるように調査の迅速な実施が求められており、体制を整備していかなければならない状況にある。

これらの課題に対応し、大阪府教育委員会と一体となった文化財行政の効率的かつ効果的な推進を図るため、平成7年4月に（財）大阪文化財センターと（財）大阪府埋蔵文化財協会を発展的に統合して、（財）大阪府文化財調査研究センターが設立された。

平成14年4月に（財）大阪府博物館協会との統合により名称を（財）大阪府文化財センターとし博物館協会がこれまで行っていた「日本民家集落博物館」の民家等を引き継ぎ、これの公開管理運営を行うとともに、大阪府の「弥生文化博物館」並びに「近つ飛鳥博物館」及び「近つ飛鳥風土記の丘」の管理運営を大阪府教育委員会から受託し、センターの本来事業と合わせて、文化財の発掘調査・研究・保存・公開展示及び普及啓発を総合的かつ効果的・経済的に推進し、もって大阪府の文化財行政に寄与していく。

## 2. 沿革

昭和47. 11. 28	・大阪府教育委員会の認可を受け、財団法人大阪文化財センター設立。
48. 1. 10	・第二阪和国道発掘調査に伴う遺物整理事業に着手。
48. 4. 1	・事務局を設置。(職員数12名)
48. 5. 25	・第1回理事会において評議員を選出、評議員会を設置。
51. 7. 26	・近畿自動車道天理～吹田線内に所在する遺跡の発掘調査に着手。
55. 8. 19	・全国埋蔵文化財法人連絡協議会の設立に参画、副会長となる。
57. 11. 27	・財団法人大阪文化財センター設立10周年記念式典を開催。
58. 9. 1	・近畿自動車道天理～吹田線の発掘調査に伴う出土遺物の整理事業の開始。
59. 6. 1	・都市計画道路と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に着手。
60. 4. 1	・財団法人大阪府埋蔵文化財協会設立。
61. 2. 28 ～ 3. 4	・近畿自動車道天理～吹田線発掘調査終了記念事業（写真パネル展、講演会、映画会）を開催。
平成元. 4. 1	・都市計画道路松原泉大津線と近畿自動車道と和歌山線の併設区間の発掘調査に伴う出

- 土遺物の整理事業の開始。
- 2. 4. 1 ・大阪府恩智川治水緑地建設予定地内遺跡の発掘調査に着手。
  - 2. 9. 1 ・大阪府新庁舎建設整備事業地内の大坂城跡発掘調査に着手。
  - 3. 3. 1 ・財団法人大阪府博物館協会設立。
  - 4. 11. 27 ・大阪府より委託を受け、安威川総合開発事業に伴う文化財総合調査に着手。
  - 7. 3. 31 ・財団法人大阪文化財センター設立20周年記念式典を開催。
  - 7. 4. 1 ・財団法人大阪府埋蔵文化財協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
  - 7. 4. 1 ・財団法人大阪文化財センターと財団法人大阪府埋蔵文化財協会と統合し、新組織を財団法人大阪府文化財調査研究センターとして発足。
  - 7. 4. 1 ・本部事務所を大阪市城東区蒲生2丁目11番3号小森ビル内に設置。新たに北部調査事務所を茨木市横江1丁目17-34に開設。旧財団法人大阪文化財センター長田分室を中部調査事務所とし、旧財団法人大阪府埋蔵文化財協会泉大津調査事務所を南部調査事務所とする。
  - 7. 4. 1 組織の改正により、総務部、調査部の2部制とし、総務部に総務課、普及資料課を置き、調査部に調整課及び北部、中部、南部の3調査事務所を置く。
  - 7. 10. 3 ・史跡整備事業に初めて着手（池上曾根遺跡）。
  - 7. 12. 15 ・南部調査事務所を堺市熊野町西1丁目2番22に移転。
  - 8. 9. 30 ・北部調査事務所を箕面市今宮3丁目19-2に移転。
  - 9. 2. 12 ・泉佐野収蔵庫竣工。
  - 9. 3. 31 ・泉ヶ丘資料室（堺市竹城台3丁目21番4号）竣工。
  - 10. 1. 12 ・南阪奈道路関連の調査事業に着手するため、南部調査事務所古市分室を羽曳野市軽里3丁目1-13に開設。
  - 10. 3. 31 ・南部調査事務所泉北分室を閉鎖。
  - 12. 8. 21 ・本部事務所を堺市竹城台3丁目21番4号に移転する。
  - 13. 2. 1 ・南部調査事務所を堺市南田出井町1丁目1番10号に移転する。
  - 13. 10. 31 ・泉佐野収蔵庫を泉佐野市に移管する。
  - 14. 2. 25 ・財団法人大阪府博物館協会との統合にかかる寄附行為の変更認可を受ける。
  - 14. 4. 1 ・財団法人大阪府文化財調査研究センターは財団法人大阪府博物館協会と統合し、「財団法人大阪府文化財センター」に名称変更。
  - 14. 4. 1 組織の改変により、総務部、調査部、普及部の3部及び弥生文化博物館部、近つ飛鳥博物館部、日本民家集落博物館部の3博物館部を置く。
  - 14. 4. 1 日本民家集落博物館の管理運営、並びに大阪府立弥生文化博物館及び大阪府立近つ飛鳥博物館の管理運営の受託事業を財団法人大阪府博物館協会より引継ぎ、実施。
  - 14. 11. 1 ・泉佐野収蔵庫（市に移管した収蔵庫の北西隣接地に）竣工。
  - 15. 3. 31 ・北部調査事務所を閉鎖。
  - 15. 4. 16 ・第二京阪道路建設の調査事業の増加に伴い、京阪支所を寝屋川市堀溝1丁目1-15に開設、京阪支所交野分室を交野市藤が丘1丁目2に開設。
  - 16. 4. 1 ・京阪支所を京阪調査事務所に、中部調査事務所池島分室を池島支所に名称変更。

### 3. 概要

#### (1) 目的

大阪府下における文化財の調査、整理、保存、研究、整備及び活用を行い、大阪府の文化財の保護並びに文化財に対する理解と認識を深めることに寄与する。

#### (2) 事業

設立趣旨に基づき次の事業を行う

- ① 埋蔵文化財の調査、整理、保存、研究及び活用
- ② 史跡、名勝及び天然記念物の調査、保存、研究、整備及び活用
- ③ 有形・無形・民俗文化財の調査、保存、研究、整備及び活用
- ④ 文化財に関する資料、情報の収集及び管理
- ⑤ 文化財の普及啓発
- ⑥ 日本民家集落博物館の管理及び運営
- ⑦ 大阪府が設置する博物館の管理及び運営の受託
- ⑧ 大阪府立近つ飛鳥風土記の丘の管理及び運営の受託
- ⑨ その他目的を達成するために必要な事業

#### (3) 出資者

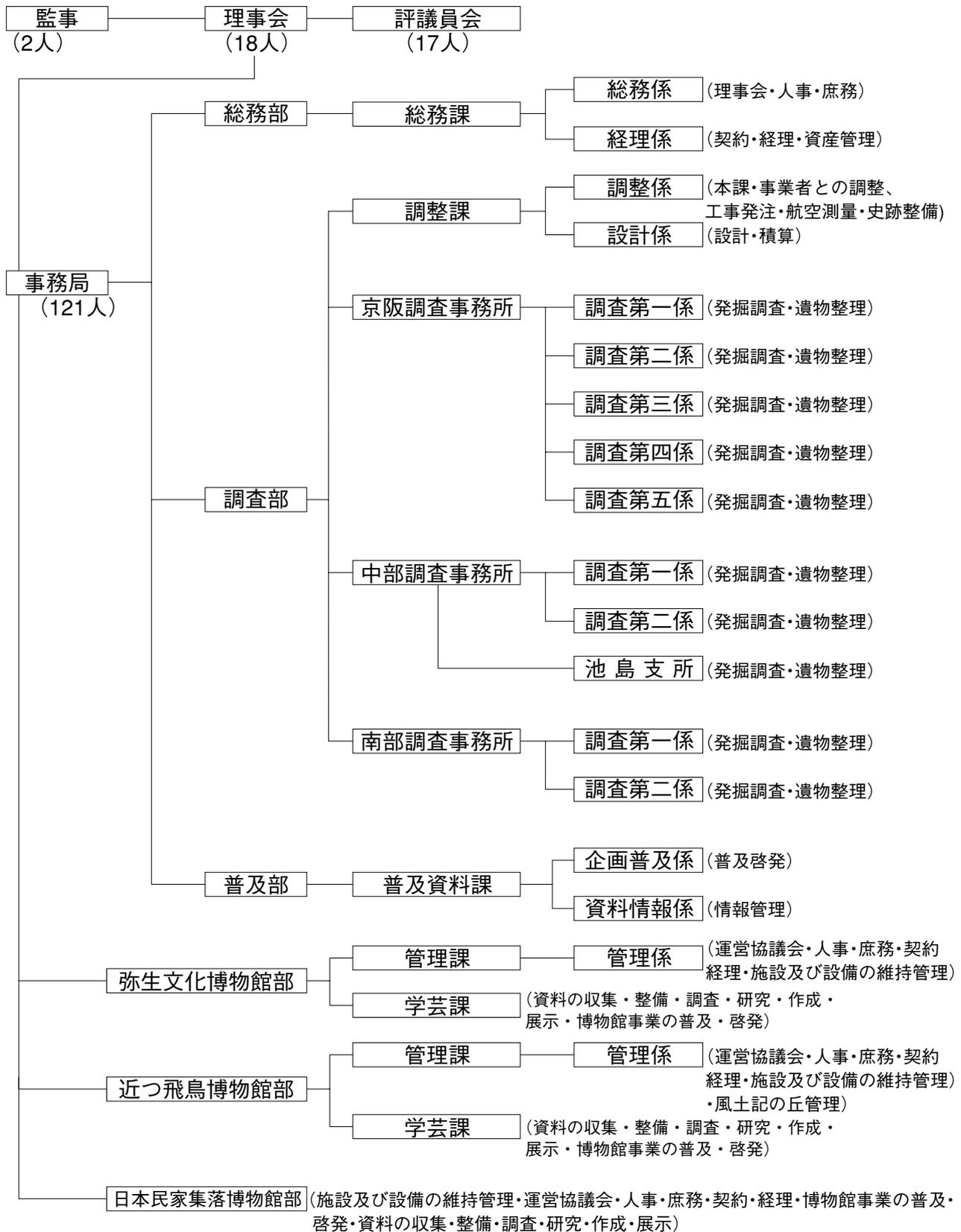
財団法人大阪府博物館協会、大阪府、松下電器産業株式会社、住吉大社、四天王寺、財団法人藤田美術館

#### (4) 基本財産 116,700千円

#### (5) 機構 (平成17年3月31日現在)

《施設所在地》

ア 本部事務所	堺市竹城台3丁21番4号
イ 京阪調査事務所	寝屋川市堀溝1丁目1-15
ウ 中部調査事務所	東大阪市長田東1丁目9番16号
エ 南部調査事務所	堺市南田出井町1丁1番10号
オ 京阪調査事務所交野分室	交野市藤が尾1丁目2
カ 中部調査事務所池島支所	八尾市福万寺町8丁目地先
キ 南部調査事務所古市分室	羽曳野市軽里3丁目1番13号
ク 普及資料課資料情報係	堺市竹城台3丁21番4号
ケ 高石収蔵庫	高石市綾園4丁目地先
コ 岸和田収蔵庫	岸和田市磯上町1丁目地先
サ 泉佐野収蔵庫	泉佐野市上之郷(地内)
シ 大阪府立弥生文化博物館	和泉市池上町443
ス 大阪府立近つ飛鳥博物館	南河内郡河南町大字東山299番地
セ 日本民家集落博物館	豊中市服部緑地1番2号



## (6) 役員・評議員及び職員

### a 役員

(平成17年3月31日現在)

理事長	水野 正好	奈良大学 教授
専務理事	鳴澤 成泰	専任
理事	伊賀 節郎	(財)大阪府私学総連合会 代表
	岩田 光利	大阪府立図書館協議会 会長
	大橋 太朗	阪急電鉄(株) 代表取締役社長
	堅田 直	帝塚山大学 名誉教授
	金関 恕	大阪府立弥生文化博物館 館長
	近藤 公夫	奈良女子大学 名誉教授
	佐々木高明	国立民族学博物館 名誉教授
	白石太一郎	大阪府立近つ飛鳥博物館 館長
	末次 攝子	(財)高槻市文化振興事業団 特別顧問
	高野 浩二	(株)建設技術研究所 顧問
	竹内 脩	大阪府教育委員会 教育長
	藤 洋作	関西電力株式会社 取締役社長
	町田 章	独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所所長
	松園万亀雄	国立民族学博物館 館長
森下 洋一	松下電器産業(株) 代表取締役会長	
領木新一郎	大阪ガス(株) 代表取締役会長	
顧問	坪井 清足	(財)元興寺文化財研究所 副理事長兼所長
監事	小坂裕次郎	大阪府 出納長
	藤田 周子	(財)藤田美術館 理事兼

### b 評議員

(平成17年3月31日現在)

有川 春代	ギャラリー白
池田 良治	弁護士
蔵口 康裕	あずさ監査法人大阪事務所 公認会計士
佐藤 茂弘	ボーイスカウト大阪連盟泉州地区協議会 会長
福田 惇一	大阪府町村教育長会 会長 (河南町教育委員会 教育長)
沢田 正昭	筑波大学 芸術学系教授
杉本 尚次	大阪人間科学大学 人間科学部教授
堤 一郎	りそな銀行 大阪公務部長
辻本 勇	富本憲吉記念館 館長
都出比呂志	大阪大学 教授
狭間恵三子	サントリー-不易流行研究所 主任研究員
林野 全孝	京都府立大学 名誉教授

福井 利彦	大阪府都市教育長協議会 代表 (岸和田市教育委員会 教育長)
藤本 裕子	報道記者 (フリー)
真弓 常忠	住吉大社 宮司
南谷 恵敬	和宗総本山四天王寺 執事・学校法人四天王寺学園 担当理事
向井 正博	大阪府教育委員会事務局 文化財保護課長

c 職員

(平成17年3月31日現在)

職 名	氏 名	職 名	氏 名
事務局長	鳴澤 成泰	調査第二係長	寺川 史郎
総務部長兼総務課長	蔭山 武夫	技師	加納 敬二
総務係長	藤川 保	技師	近藤 章子
主査	白橋 哲	技師	山本 雅和
主任主事	白武さよ子	技師	高橋 潔
主事	朝間 理恵	技師	森本 徹
主幹兼経理係長	秋山 芳廣	技師	中尾 智行
主任主事	中尾 玲子	調査第三係長	岡戸 哲紀
主事	真砂郁寿栄	主査	辻 裕司
主事	田淵 紀江	技師	小倉 徹也
調査部長	玉井 功	技師	伊藤 武
調整課長	赤木 克視	技師	奥村 茂樹
調整係長	森屋 直樹	調査第四係長	三宅 正造
主査	山上 弘	主査	森井 貞雄
技師	信田真実世	技師	鈴木 廣司
設計係長	山口 和男	技師	小松 武彦
主査	鈴木 芳則	技師	田中利律子
主査	山下 篤	技師	南出 俊彦
京阪調査事務所長兼普及資料課長	渡邊 昌宏	技師	後藤 信義
主査	上野 貞子	技師	後川恵太郎
主査	田口 宗義	調査第五係長	秋山 浩三
調査第一係長	宮野 淳一	主査	前田 義明
主査	泉本 知秀	主任技師	合田 幸美
主査	大楽 康宏	技師	木下 保明
主査	平田 泰	技師	長戸 満男
主査	櫻井 久之	技師	若林 幸子
主査	松本 啓子	技師	黒須亜希子
主任技師	市本 芳三	中部調査事務所長	小野 久隆
技師	井上 智博	主査	片山 彰一

主査	山口 誠治	調査第二係長	森屋美佐子
主任主事	鎗山 洋子	班長	岡本 茂史
主任技師	服部みどり	班長	三好 孝一
調査第一係長	辻本 武	技師	三宮 昌弘
主任技師	駒井 正明	普及部長	福岡 澄男
技師	山元 建	企画普及係長	石神 幸子
調査第二係長	金光 正裕	主任技師	岡本 圭司
技師	本間 元樹	資料情報係長	村上 年生
技師	川瀬 貴子	主任主事	宮本 哲男
技師	亀井 聡	弥生文化博物館館長	金関 恕
池島支所	國乗 和雄	副館長兼管理課長	田淵 惠三
班長	西村 歩	管理係長	前田 徳治
主査	陣内 暢子	主事	山崎 和哉
主査	入江 正則	学芸課長	小山田宏一
主任技師	田中 龍男	専門員	木谷 秀次
技師	廣瀬 時習	専門員	吉村 健
技師	島崎 久恵	学芸員	山田 隆一
技師	市村慎太郎	学芸員	地村 邦夫
南部調査事務所長	藤田 憲司	近つ飛鳥博物館館長	白石太一郎
主任技師	立花 正治	副館長兼管理課長	福井 克次
学芸員	山城 統	管理係長	西野 秀和
調査第一係長	岡本 敏行	主事	辻本 努
班長	江浦 洋	学芸課長	藤永 正明
主査	村上富貴子	専門員	畠井 浩
主査	土井 孝之	専門員	藤井 雅乗
主査	黒田 慶一	学芸員	上林 史郎
主任技師	井藤 暁子	学芸員	小浜 成
主任技師	中村 淳磯	日本民家集落博物館館長	井藤 徹
技師	池田 研	副館長	中村 友三
技師	河端 智	学芸員	小島 久美

## Ⅱ 平成16年度事業概要及び決算

### 1. 理事会及び評議員会

以下のとおり理事会及び評議員会を開催し、上程議案はいずれも承認又は可決された。

年 月 日	会 議 名 称	場 所	議 案
平成16年 6 月28日	第 1 回評議員会	府教育会館（たかつガーデン）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成15年度事業報告及び収支決算について</li> <li>2. 平成16年度補正予算（案）について</li> <li>3. 理事の選任について</li> </ol>
	第 1 回理事会	府教育会館（たかつガーデン）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成15年度事業報告及び収支決算について</li> <li>2. 平成16年度補正予算（案）について</li> <li>3. 評議員の選出について</li> <li>4. 専務理事の互選について</li> <li>5. 役員報酬について</li> </ol>
平成17年 3 月25日	第 2 回評議員会	ホテルアウイーナ大阪	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成16年度補正予算（案）について</li> <li>2. 平成17年度事業計画（案）及び収支予算（案）について</li> <li>3. 理事及び監事の選任について</li> <li>4. 基本財産の処分について</li> <li>5. 指定管理者制度について</li> </ol>
	第 2 回理事会	ホテルアウイーナ大阪	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平成16年度補正予算（案）について</li> <li>2. 平成17年度事業計画（案）及び収支予算（案）について</li> <li>3. 理事長及び専務理事の互選について</li> <li>4. 評議員の選出について</li> <li>5. 基本財産の処分について</li> <li>6. 指定管理者制度について</li> </ol>

## 2. 決 算

### 収 支 計 算 書 総 括 表

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	合 計	一般会計	書籍等販売事業 特別会計	内部取引消去
<b>I 収入の部</b>				
1. 基本財産運用収入	1,453,338	1,453,338	0	
2. 基金運用収入	1,104	1,104	0	
3. 会費収入	4,270,000	4,270,000	0	
4. 埋蔵文化財事業収入	5,155,475,289	5,155,475,289	0	
5. 弥生文化博事業収入	174,086,805	174,086,805	0	
6. 近つ飛鳥博事業収入	197,126,009	197,126,009	0	
7. 民家集落博事業収入	14,475,641	14,475,641	0	
8. 書籍等販売事業収入	13,382,655	0	13,382,655	
9. 補助金等収入	26,894,600	26,894,600	0	
10. 寄附金収入	155,400	155,400	0	
11. 雑収入	16,175,252	16,140,832	34,420	
12. 特定資産取崩収入	20,260,005	20,260,005	0	
13. 繰入金収入	0	3,783,616	3,525,400	△ 7,309,016
当期収入合計(A)	5,623,756,098	5,614,122,639	16,942,475	△ 7,309,016
前期繰越収支差額	31,928,599	29,014,214	2,914,385	0
収入合計(B)	5,655,684,697	5,643,136,853	19,856,860	△ 7,309,016
<b>II 支出の部</b>				
1. 埋蔵文化財事業費	4,921,653,308	4,921,653,308	0	
2. 弥生文化博事業費	174,086,805	174,086,805	0	
3. 近つ飛鳥博事業費	197,126,009	197,126,009	0	
4. 民家集落博事業費	29,340,021	29,340,021	0	
5. 府立博自主事業費	5,285,659	5,285,659	0	
6. 書籍等販売事業費	10,576,206	0	10,576,206	
7. 管理費	190,376,924	190,376,924	0	
8. 固定資産取得支出	17,280,370	17,280,370	0	
9. 特定資産支出	88,278,860	88,278,860	0	
10. 繰入金支出	0	3,889,494	3,419,522	△ 7,309,016
当期支出合計(C)	5,634,004,162	5,627,317,450	13,995,728	△ 7,309,016
当期収支差額 (A)－(C)	△ 10,248,064	△ 13,194,811	2,946,747	0
次期繰越収支差額(B)－(C)	21,680,535	15,819,403	5,861,132	0

※ 内部取引消去

書籍等販売事業特別会計（センター部）から一般会計（埋蔵文化財事業）への繰入	1,886,042円
書籍等販売事業特別会計（センター部）から一般会計（日本民家集落博物館事業）への繰入	26,080円
書籍等販売事業特別会計（博物館部）から一般会計（府立博自主事業）への繰入	1,500,000円
一般会計（埋蔵文化財事業）から同会計（民家集落博事業）への繰入	370,688円
一般会計（弥生文化博事業）から同会計（府立博自主事業）への繰入	360円
一般会計（近つ飛鳥博事業）から同会計（府立博自主事業）への繰入	446円
一般会計（埋蔵文化財事業）から書籍等販売事業特別会計（センター部）への繰入	3,518,000円
書籍等販売事業特別会計（センター部）から同会計（博物館部）への繰入	7,400円

### 3. 調査事業の概要

#### (1) 調査事業一覧

埋蔵文化財の発掘調査及び出土遺物の整理を事業施工者の委託を受けて、下記のとおり実施した。

管轄	番号	遺跡(調査名)	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成16年度 事業費 (千円)
京	1	東倉治遺跡 04-1〔調査・整理〕	交野市東倉治4丁目	東倉治遺跡	日本道路公団	道路建設	H16.5.1 ～H17.3.31	54,441
	2	東倉治遺跡 04-2〔調査〕	交野市東倉治4丁目	東倉治遺跡(その2)	日本道路公団	道路建設	H16.11.19 ～H17.3.31	27,027
	3	有池遺跡 04-1〔調査〕	交野市青山4丁目	有池遺跡(府道)	大阪府土木部	道路建設	H16.11.1 ～H17.2.28	23,193
阪	4	有池遺跡 03-1〔調査・整理〕	交野市青山4丁目	有池遺跡・上私部遺跡	日本道路公団	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	242,689
	5	有池遺跡 03-2〔調査・整理〕	交野市青山3丁目					
	6	上私部遺跡 03-1〔調査〕	交野市青山2丁目					
調	7	私部南遺跡 04-1〔調査〕	交野市向井田1丁目	私部南遺跡(その1)	日本道路公団	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	164,341
	8	上の山遺跡 03-1〔調査〕	交野市私部西5丁目 枚方市茄子作南町	上の山遺跡	日本道路公団	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	232,416
	9	上の山遺跡 04-1〔調査〕	交野市私部西5丁目	上の山遺跡(府道)	大阪府土木部	道路建設	H16.10.1 ～H17.2.28	27,297
査	10	茄子作遺跡 04-1〔調査〕	枚方市茄子作南町	茄子作・茄子作下浦遺跡	日本道路公団	道路建設	H16.5.1 ～H17.3.31	193,654
	11	平池遺跡 04-1〔調査〕	交野市星田北9丁目	平池遺跡	日本道路公団	道路建設	H16.5.1 ～H17.3.31	104,309
	12	太秦遺跡(太秦古墳群) 04-2〔調査・整理〕	寝屋川市国守町	太秦遺跡(太秦古墳群)(府道)	大阪府土木部	道路建設	H16.4.1 ～H17.2.28	28,572
事	13	太秦遺跡(太秦古墳群) 04-1〔調査・整理〕	寝屋川市打上	大尾遺跡・太秦遺跡他(その2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	113,833
	14	高宮遺跡 04-1〔調査・整理〕	寝屋川市高宮・小路					
	15	小路遺跡 04-1〔調査〕	寝屋川市小路・高宮					
務	16	讚良郡条里遺跡 03-1〔調査〕	寝屋川市小路	讚良郡条里遺跡(その2-2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	328,545
	17	讚良郡条里遺跡 03-2〔調査〕	寝屋川市高宮	讚良郡条里遺跡(その3-2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	347,839
	所	18	讚良郡条里遺跡 03-3〔調査・整理〕	寝屋川市楠根南町	讚良郡条里遺跡(その4-2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31
		讚良郡条里遺跡 03-7〔調査〕	寝屋川市楠根南町					
		讚良郡条里遺跡 03-3〔産廃処理〕	寝屋川市楠根南町	讚良郡条里遺跡(その4-3)				

調査面積 (㎡)	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
1,540	集落 弥生時代後期～中世	竪穴住居・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・陶器・石器・管玉・ガラス小玉・鉄製品	前田義明 (岡本智子)	
0	—	—	合田幸美 (遠藤啓輔) (木村寛之)	平成16年度は 準備工
880	集落・生産 中世	柱列・水田・溝 土師器・瓦器・瓦質土器・須恵器・陶磁器・土製品・瓦	秋山浩三 合田幸美 (遠藤啓輔) (木村寛之)	
2,997	集落・生産 古墳時代・中世	土坑・掘立柱建物・井戸・濠・溝・流路 土師器・瓦器・瓦質土器・須恵器・陶磁器	木下保明 若林幸子	
988	集落・生産 縄文時代～中世	竪穴住居・大溝・流路・焼土坑・水場遺構・柱穴・柵・竪穴建物・井戸・溝・土坑・水田 縄文土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・石器・木製品・金属製品・銭貨	合田幸美 長戸満男 (遠藤啓輔)	
2,419	集落 古墳時代中期～中世	竪穴住居・掘立柱建物・溝・流路 土師器・須恵器・瓦器・陶器・輸入磁器・瓦	鈴木廣司 田中利津子 (相良英樹)	
2,937	生産・集落 縄文時代～近世	流路・水田・畠・ピット 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	森井貞雄 小松武彦 後川恵太郎 (山田浩史)	
15,948	集落・生産 旧石器時代～中世	流路・竪穴住居・大型掘立柱建物・土坑・掘立柱建物・道路遺構 縄文時代・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器・木製品	南出俊彦 後藤信義 (矢倉嘉人)	
1,460	集落 弥生時代～平安時代	竪穴住居・掘立柱建物・柵・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・石器	南出俊彦 後藤信義 (矢倉嘉人)	
11,300	集落・生産 縄文時代中期～中世	溝・流路・竪穴住居・掘立柱建物・ピット・土坑・水田・井戸 縄文土器・初期須恵器・土師器・瓦器・サヌカイト剥片・木製品 (鋏・机・織機)・金属製品	木下保明 黒須亜希子 (三浦基行)	
9,790	集落・生産 縄文時代～中世	溝・水田・ピット・土坑・落ち込み 土師器・須恵器・瓦器・陶器・輸入磁器・瓦	長戸満男 (三浦基行)	
1,275	集落・墓・古墳 縄文時代～中世	竪穴住居・方形周溝墓・古墳・ピット 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・石器	大楽康宏	
980	古墳 古墳時代	古墳周溝・溝 須恵器	市本芳三	
1,292	集落 古墳時代～中世	道路状遺構・柱穴・溜池状遺構 土師器・須恵器・製塩土器・瓦器	泉本知秀 平田 泰 (青柳佳奈)	
	墓・集落 弥生時代～古代	方形周溝墓・木棺墓・溝・掘立柱建物・堀 弥生土器・須恵器・石鏃		
374	墓 縄文時代～中世	落ち込み・溝・前方後方形周溝墓・流路・土坑 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器	泉本知秀 平田 泰 (青柳佳奈)	
222	流路 縄文時代～中世	溝・流路 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器	泉本知秀 平田 泰 (青柳佳奈)	
11,000	生産・集落 縄文時代～中世	流路・竪穴建物・井戸・掘立柱建物 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・建築部材・杭・銭貨	櫻井久之 井上智博 (西田倫子)	
9,201	集落・生産 縄文時代～中世	流路・掘立柱建物・井戸・土坑・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・埴輪・瓦・石製品・木製品	松本啓子 佐伯博光 (赤塚 亨)	
4,512	生産・集落 縄文時代～中世	流路・焼土坑・水田・柱穴・井戸・土坑・掘立柱建物・溝・畠 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器・埴輪・瓦・石器・木製品・金属製品	山本雅和 近藤章子 (多賀晴司)	
114	生産 縄文時代～中世	土坑・畠 弥生土器・土師器・須恵器	山本雅和	
—	—	—	山本雅和 近藤章子 (多賀晴司)	

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託契約期間	平成16年度事業費（千円）
京 阪 調 査 事 務 所	19	讃良郡条里遺跡 03-4〔調査〕	寝屋川市新家2丁目	讃良郡条里遺跡(その5-2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	388,135
		讃良郡条里遺跡 03-4〔産廃処理〕	寝屋川市新家2丁目	讃良郡条里遺跡(その5-3)	国土交通省	道路建設	H16.6.15 ～H17.3.31	249,792
	20	讃良郡条里遺跡 03-5〔調査〕	寝屋川市新家2丁目	讃良郡条里遺跡(その6-2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	374,918
	21	讃良郡条里遺跡 03-6〔調査〕	寝屋川市讃良東町・ 讃良西町	讃良郡条里遺跡(その7)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	194,320
	22	巢本遺跡 03-1〔調査〕	門真市北巢本町・宮前町	巢本遺跡(その1)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	154,387
		巢本遺跡 03-1〔産廃処理〕	門真市北巢本町・宮前町	巢本遺跡(その3)	国土交通省	道路建設	H16.11.26 ～H17.3.31	131,525
	23	巢本遺跡 03-2〔産廃処理〕	門真市北巢本町					
		巢本遺跡 03-2〔調査〕	門真市北巢本町	巢本遺跡(その2)	国土交通省	道路建設	H16.4.1 ～H17.3.31	155,003
	中 部 調 査 事 務 所	24	福井遺跡 04-1〔調査・整理〕	茨木市室山1丁目	福井遺跡	財団法人 大阪府警察協会	病院増築	H16.12.1 ～H17.9.30
25		総持寺遺跡 02-1・03-1〔整理〕	茨木市三島丘 1丁目・2丁目	総持寺遺跡	大阪府建築都市部	集合住宅建設	H16.7.1 ～9.30	2,954
26		禁野本町遺跡 03-1〔調査〕	枚方市禁野本町2丁目	公務員宿舍枚方住宅	財務省	集合住宅建設	H15.9.1 ～H17.1.31	129,487
		禁野本町遺跡 03-1〔整理〕		禁野本町遺跡（基本整理）	財務省	集合住宅建設	H17.1.4 ～3.31	9,207
27		走井遺跡 04-1〔調査〕	豊中市走井2丁目	豊中市計画緑地事業第2号 大阪国際空港周辺緑地	国土交通省	公園造成	H16.9.1 ～10.29	7,745
28		岩田遺跡 04-1〔調査・整理〕	東大阪市岩田町4丁目	岩田遺跡他(その2)	近畿日本鉄道 株式会社	鉄道高架化	H16.4.1 ～12.28	22,436
29		花園遺跡隣接地 04-1〔調査〕	東大阪市岩田町1丁目	花園遺跡隣接地(確認)	近畿日本鉄道 株式会社	鉄道高架化	H16.11.1 ～H17.5.31	14,232
		花園遺跡隣接地 04-2〔調査〕	東大阪市吉田1丁目					
30		池島・福万寺遺跡 02-4・5〔調査〕	八尾市福万寺町	池島遺跡(その9)	大阪府土木部	治水緑地造成	H15.1.24 ～H17.2.28	290,196
31		池島・福万寺遺跡 03-2〔調査〕	東大阪市池島町					
		池島・福万寺遺跡 04-1〔調査〕	八尾市福万寺北・ 福万寺町					
32		池島・福万寺遺跡 03-1〔調査〕	八尾市福万寺町	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その1)	大阪府土木部	治水緑地造成	H16.2.19 ～H18.3.15	256,984
33		池島・福万寺遺跡 池島Ⅰ期地区〔整理〕	東大阪市池島町7丁目					
34		池島・福万寺遺跡 04-2〔調査〕	東大阪市池島町4丁目	池島・福万寺遺跡Ⅱ(その2)	大阪府土木部	治水緑地造成	H16.10.1 ～H18.7.31	70,206
35	山賀遺跡 03-1〔調査〕	八尾市新家町5丁目	寝屋川水系改良事業 (一級河川寝屋川 新家調節池)	大阪府土木部	調節池築造	H16.2.2 ～H17.9.30	42,659	
36	弓削ノ庄遺跡 04-1〔調査・整理〕	東大阪市柏田本町・ 柏田西3丁目	弓削ノ庄遺跡他	大阪外環状鉄道 株式会社	鉄道高架化	H16.4.1 ～H17.3.31	45,969	
	亀田遺跡 04-1〔調査・整理〕	東大阪市衣摺 5丁目・6丁目						
	東大阪市南西部遺跡群 04-1〔調査・整理〕	東大阪市俊徳町3丁目						

調査面積 (m)	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
8,337	生産・集落 縄文時代晩期～近世初頭	ピット・竪穴住居・掘立柱建物・井戸・溝・水田 縄文土器・弥生土器・土師器・初期須恵器・須恵器・黒色土器・瓦器・石包丁・建築部材・木製品・馬骨	加納敬二 中尾智行 (島田裕弘)	
—	—	—	加納敬二 中尾智行 (島田裕弘)	
8,505	生産・集落 弥生時代～古代	水田・水路・掘立柱建物・井戸・土器埋納遺構 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・瓦器・石器・木製品・馬骨	高橋 潔 森本 徹 (宮本飛鳥)	
2,000	生産・集落 弥生時代中期～中世末	水田・溝・ピット・掘立柱建物・畠 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・白磁・瓦・木製品・獣骨	奥村茂輝 鹿野 暎 (和田一之輔)	
1,750	生産 中世	水田・土坑・流路 土師器・瓦器・木製品	辻 裕司 永野 仁 (清岡廣子)	
—	—	—	辻 裕司 永野 仁 (清岡廣子)	
—	—	—	小倉徹也 伊藤 武 (小西絵美)	
3,070	集落・生産 中世	柱穴・井戸・溝・土坑 土師器・瓦器・須恵器・陶器・白磁・青磁・瓦	小倉徹也 伊藤 武 (小西絵美)	
2,100	生産 古墳時代・平安時代・中世	溝・土坑 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・埴輪・石器	山元 建	平成16～17年度
—	集落 弥生時代・古代～中世	溝・竪穴住居・掘立柱建物・ピット・土坑・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・瓦器・土鍾・砥石	信田真美世	
11,552	集落・工場・倉庫 古墳時代・平安時代・ 明治～昭和時代前期	竪穴住居・掘立柱建物・旧陸軍「禁野火薬庫」内諸施設 土師器・須恵器・黒色土器・瓦・煉瓦・砲弾・信管	駒井正明 (永井晃子) (長嶺 睦)	平成15～16年度
—	—	—	駒井正明 (長嶺 睦)	
276	集落 古墳時代・中世	溝・土坑 土師器・須恵器・瓦器	山元 建	
171	集落・生産 古代～中世	井戸・溝・土坑・水田・島畠 土師器・須恵器・製塩土器・黒色土器・瓦器・陶磁器・埴輪・瓦・木製品	川瀬貴子	
26	—	— 土師器・瓦器・瓦質土器	川瀬貴子	平成16～17年度
51	流路 弥生時代後期～中世	流路・溝 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・瓦・木製品・金属製品・銭貨	川瀬貴子	
2,400	生産 縄文時代～近・現代	水田・溝・土坑・流路・杭列・ピット・水路 弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器・石製品・木製品・金属製品・骨・貝	市村慎太郎 (柏田有香)	
138	生産 縄文時代～近・現代	流路・溝・ピット・水田・落ち込み・暗渠 土師器・須恵器・瓦質土器・瓦・陶磁器	入江正則	平成14～16年度
62	生産 縄文時代～近・現代	溝 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・陶器・磁器	入江正則	
4,560	生産 縄文時代～近・現代	水田・島畠・畠・ピット・土坑 土師器・瓦器・陶磁器・瓦・木製品	西村 歩 (塚本浩司)	
—	生産・集落 縄文時代～近・現代	水田・水路・流路・堰・溝・ピット・土坑・島畠・畠・井戸 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・瓦質土器・白磁・青磁・陶器・染付・瓦・石製品・木製品・金属製品	陣内暢子 廣瀬時習 (福田由里子)	平成15～17年度
1,865	生産 縄文時代～近・現代	土坑・島畠・水田・溝・ピット・杭列 土師器・須恵器・瓦器・瓦・陶磁器	田中龍男 (鬼頭 彰)	平成16～18年度
2,846	集落・生産 弥生時代～中世	溝・土坑・ピット・水田・木棺 弥生土器・石鏃・木製品	本間元樹 (宮田佳代)	平成15～17年度
720	集落・墓 縄文時代晩期末～弥生時代	掘立柱建物・溝・土坑・土器棺・方形周溝墓 縄文土器・弥生土器・石棒・サヌカイト剥片		
1,134	集落・生産 弥生時代～古墳時代	柱穴・溝・土坑・水田 弥生土器・土師器	田中龍男 島崎久恵 (瀧口洋美) (鬼頭 彰)	
23	—	溝 土師器・須恵器・瓦器・瓦・銭貨		

管轄	番号	遺跡（調査名）	調査地	事業名	事業者	事業の種別	受託 契約期間	平成16年度 事業費 (千円)
中部 調査 事務所	37	小阪合遺跡 04-1〔調査・整理〕	八尾市若草町2番	小阪合遺跡	大阪府住宅供給公社	集合住宅建設	H16.4.1 ～H17.6.30	81,947
	38	久宝寺遺跡 〔整理〕	八尾市竜華町2丁目・ 北亀井町3丁目	平成16年度 大阪竜華都市拠点地区 竜華東西線1-6工区	独立行政法人 都市再生機構	道路建設	H16.7.1 ～9.30	3,649
39	久宝寺遺跡 04-1〔調査〕	八尾市竜華町2丁目	久宝寺遺跡〈水環境〉	大阪府土木部	水処理施設建設	H16.4.1 ～H17.3.31	54,069	
	久宝寺遺跡 〔整理〕	八尾市竜華町2丁目						
南部 調査 事務所	40	大坂城跡 03-1〔整理〕	大阪市中央区 大手前3丁目	大阪府警察本部 第2期棟新築工事	大阪府警察本部	府庁舎建設	H16.5.1 ～H18.3.31	47,447
	41	八尾南遺跡 03-1〔調査〕	八尾市若林地区	船橋遺跡(その5)	国土交通省	高規格堤防建設	H16.2.27 ～H17.3.10	168,523
	42	船橋遺跡 00-1・01-1〔整理〕	藤井寺市大井5丁目					
		船橋遺跡 02-1～3〔整理〕	藤井寺市川北3丁目 柏原市大正2丁目					
	43	松原市内遺跡群 03-1〔調査〕	松原市天美北1丁目他	松原市内遺跡群(確認)	大阪府土木部	道路建設	H15.10.31 ～H16.6.30	4,048
				阪神高速大和川線(その1)	阪神高速道路公団		H16.4.1 ～6.30	18,952
	44	三宅西遺跡 04-1〔調査〕	松原市三宅西7丁目	三宅西遺跡	大阪府土木部	道路建設	H16.11.1 ～H18.9.29	135,046
	45	三宅西遺跡 04-2〔調査〕	松原市三宅西5丁目					
	46	三宅西遺跡 04-3〔調査〕	松原市三宅西6丁目					
		大和川今池遺跡 04-1〔調査〕	松原市天美北7丁目					
47	はざみ山遺跡 〔整理〕	藤井寺市藤井寺公団	平成16年度藤井寺団地(建替)	独立行政法人 都市再生機構	集合住宅建設	H16.4.1 ～H17.3.31	37,123	
48	伽羅橋遺跡 04-1〔調査・整理〕	高石市高師浜1丁目	伽羅橋遺跡(その6)	大阪府土木部	道路建設	H16.6.1 ～H17.2.28	29,224	
49	史跡池上曾根遺跡 04-1〔調査〕	和泉市池上町	史跡池上曾根遺跡	和泉市	史跡整備	H16.7.1 ～12.28	19,600	
50	東雲遺跡隣接地 04-1〔調査・整理〕	泉大津市式内町～条南町	東雲遺跡隣接地(確認)	南海電気鉄道 株式会社	鉄道高架化	H16.10.1 ～11.30	3,631	
51	男里遺跡 04-1〔調査〕	泉南市男里2丁目	男里遺跡(その12)	大阪府土木部	道路建設	H16.11.1 ～H17.1.14	8,657	
	男里遺跡 〔整理〕	泉南市男里・馬場・幡代	男里遺跡(その11)	大阪府土木部	道路建設	H16.6.1 ～H17.2.28	29,988	

調査面積 (m)	時期・性格	主な遺構・遺物	担当者	備考
1,625	集落 古墳時代初頭～中世	柱穴・井戸・土坑・溝 土師器・韓式系土器・黒色土器・滑石製紡錘車・特殊器台型埴輪・瓦・金属製品	若林邦彦 新海正博 (松下知世)	平成16～17年度
—	集落・生産・墓 弥生時代前期～中世	溝・流路・堅穴住居・方形周溝墓・土坑・井戸・島・土器集積・水田・ピット 土師器・須恵器・黒色土器・瓦器・滑石製白玉・木製櫃・銅鏃	西村 歩	
42	生産 縄文時代後期～中世	溝・ピット 弥生土器・土師器・瓦器・陶磁器・瓦・石器・木製品	亀井 聡	
—	集落・生産・墓 縄文時代晩期～中世	井戸・溝・土坑・水田・水路・堅穴住居・島・土器溜・墳墓・流路・しがらみ・掘立柱建物・島島・溜池 縄文土器・弥生土器・土師器(墨書土器)・須恵器・瓦器・陶磁器・土偶・瓦・石器・石製品・木製品・建築部材・金属製品・銭貨・スラグ・骨	亀井 聡 (菊井佳弥)	
—	宮都・城郭・城下町 古墳時代～近代	塀・谷・護岸遺構・集石遺構・礎石建物・堀・トーチカ状遺構・墓・道路状遺構・井戸・溝・土坑 土師器・須恵器・漆容器・輸入陶磁器・陶磁器・土製品・瓦(金箔押し瓦)・木製品・金属製品・骨・貝・種実	江浦 洋 (島内洋二)	平成16～17年度
3,365	生産・集落・墓・古墳 旧石器時代～中世	水田・溝・掘立柱建物・土坑・流路・堅穴建物・古墳周溝・井戸・土器埋納遺構・方形周溝墓 弥生土器・土師器・須恵器・埴輪・瓦器・輸入磁器・石器・木製品	岡本茂史 正岡大実 (進藤智美)(鶴山まり)	
—	生産・墓・集落 弥生時代前期～近世	水田・流路・土坑・溝・土器埋納遺構・土壙墓・堅穴住居・井戸・方形周溝墓・土器溜・掘立柱建物・落ち込み 弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・黒色土器・瓦器・輸入磁器・陶磁器・土錘・瓦・石器・石製品・木製品	岡本茂史	平成15～16年度
—	集落・墓・生産 縄文時代晩期～中世	土坑・井戸・方形周溝墓・掘立柱建物・柵・溝・ピット・島島・堀田 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・漆容器・ガラス小玉鋳型・鞆羽口・瓦器・瓦質土器・白磁・青磁・石器	三宮昌弘	
2,570	集落・生産 弥生時代～中世	水田・堅穴住居・井戸・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・緑釉陶器・黒色土器・瓦器・陶磁器・埴輪	土井孝之 河端 智 (岡田佳之)	平成15～16年度
372	集落・生産 弥生時代～中世	掘立柱建物・土坑・流路・堤 弥生土器・土師器・須恵器・瓦質土器・サヌカイト	黒田慶一 河端 智 (内田真雄)	
2,195	墓・集落・生産 弥生時代～中世	溝・周溝墓・ピット・流路 弥生土器・土師器・須恵器・馬骨	黒田慶一 河端 智 (内田真雄)	平成16～18年度
1,364	集落・生産 弥生時代～中世	溝・井戸・土坑・流路 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶磁器・木製品	中村淳磯 池田 研 (岡田佳之)	
120	集落 古墳時代後期～飛鳥時代	土坑 土師器・須恵器・瓦器		
—	集落・生産 旧石器時代～近世	掘立柱建物・柵・井戸・溝・土坑 土師器・須恵器・漆容器・埴輪・陶硯・土製仮面・鞆羽口	三好孝一 (福佐美智子)	
144	墓・集落 弥生時代～中世	方形周溝墓・井戸・溝・ピット・土坑 弥生土器・土師器・須恵器・瓦器・陶器・磁器	井藤暁子 河端 智	
940	集落・生産 弥生時代前期～近世	掘立柱建物 弥生土器・土師器・須恵器	土井孝之 (内田真雄)	
54	—	溝 土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・白磁・丹波焼・肥前陶磁器・瓦・土錘	池田 研	
200	集落 弥生時代中期末～中世	大溝・掘立柱建物・土坑 弥生土器・土師器・須恵器	中村淳磯	
—	集落・墓・生産 縄文時代中期～中世	堅穴住居・掘立柱建物・溝・大溝・ピット・土坑・方形周溝墓 縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器・製塩土器・黒色土器・瓦器・陶磁器・瓦・石器	村上富喜子 中村淳磯 (岡田佳之)	

## (2) 調査の概要

### a 京阪調査事務所

#### 1. 東倉治遺跡04-1 [調査・整理]



3 調査区全景 (北東より)

交野市東倉治4丁目地先に所在する。1調査区で弥生時代後期後半の落込みと古墳時代初頭(布留式)の落込みを、2調査区で平安時代中期の灰釉陶器壺埋納遺構を、3調査区で弥生時代後期後半の竪穴住居址1基と谷状の落込みを検出した。

布留式段階の落込みは遺構の性格は不明であるが、ガラス玉2個が管玉の穿孔内に落ち込んだ状態で出土した。弥生時代後期後半の谷状の落込みからは、肩部から多量の土器が出土し、良好な一括資料として評価できる。

#### 2. 東倉治遺跡04-2 [調査]

交野市東倉治4丁目に所在する。生駒山西麓の扇状地を流れるがらと川北岸に立地する。鋼矢板を打設し、1・2調査区を設定した。上層は飛鳥時代以降の厚い自然堆積砂層がみられ、その下層において炉状遺構をもつ土坑、炭化物を含む土坑、ピット・溝など古墳時代前期の遺構を検出した。

#### 3. 有池遺跡04-1 [調査]

交野市青山4丁目に所在する。生駒山西麓の扇状地を流れる免除川の南側に立地する。

遺構は柱列、柱穴、土器群、水田(鋤溝、溝)、溝、土坑を検出した。

柱列は東西方向に3間分を検出した。調査地外へと展開し、掘立柱建物の柱列となる可能性がある。柱穴は礎石をもつものを含め多数検出した。礎石下から瓦器椀、瓦質土器が出土した柱穴もある。土器群は土師器皿が10個体前後重なった状態で集中して出土した。これらの遺構は、東接する有池遺跡03-1調査区及び南接する有池遺跡(その1)から続く中世居住域の一部を構成するものと考えられる。

水田に関する鋤溝、溝は2種類の方向性がみられ、中世前半の微地形に沿った水田区画から中世後半の条里地割に沿った水田区画への変化をおうことができた。

#### 4. 有池遺跡03-1 [調査・整理]

交野市青山4丁目地先に所在する。第二京阪道路(大阪北道路)の建設に伴い、平成15・16年度の2ヵ年にわたり、約18,000㎡の発掘調査を行った。その結果、古墳時代の流路や土坑、平安時代後期～鎌倉時代にかけての集落を検出し、特に後者においては調査地全体で遺構のひろがりを確認した。

古代末～中世にかけての集落の構成要素として、微高地に展開する掘立柱建物や井戸・土坑・区画溝からなる居住域と、低湿地に広がる耕作地を検出した。また居住域には、現存する地割と位置的に相関する堀で囲まれた屋敷地が含まれるなど、中世集落の景観と変遷を知る上で重要な成果を得ることができた。古墳時代の土器・中世土器を中心として、鑄造関連遺物、木器、石器等、千点強の遺物実測を終え、遺物図版・遺構図版・写真を順次作成中である。

## 5. 有池遺跡03-2 [調査・整理]

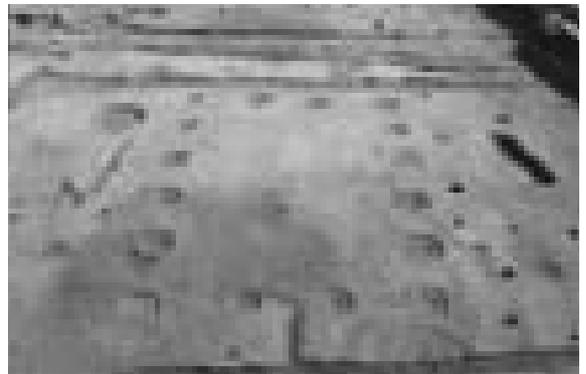
交野市青山3丁目に所在する。生駒山西麓の扇状地に立地し、現在は緩やかな斜面地に段落ちする水田がひろがる景観を呈する。調査は平成15年度より継続し、平成16年度は7・8調査区の調査を実施した。7・8調査区では、前年度の調査で検出した谷の延長部をそれぞれ検出した。谷の上層は、平安時代後期以降中世にわたる水田耕土が堆積し、連綿と谷水田として機能していたことがわかる。谷の下層では、古墳時代中期～後期の遺物がまとまって出土した。

整理作業は、平成15年度調査分を中心に実施した。遺構図面の整理、版下作成および遺物の抽出、復元、実測作業に加え、自然科学分析をあわせておこなった。遺物は、中世の土師器、瓦器、陶器、磁器、古墳時代の土師器、須恵器のほか、石器、木器、金属器と多岐にわたる。

## 6. 上私部遺跡03-1 [調査]

前年度に引き続き、上私部遺跡の発掘調査を実施した。これまでに7箇所調査区を終了しており、古墳時代中期から飛鳥時代にかけての集落跡を確認している。今回は4箇所調査区を設定した。

今回の調査終了時点で、竪穴住居址を53軒、掘立柱建物は56棟を確認している。掘立柱建物群では、南北溝・東西溝を組み合わせた、およそ東西25m×南北35mの長方形区画内に、東西棟の大型建物を中心に東西棟4頭、南北棟1棟が配置されていたことが分かった。この区画は、上私部遺跡における首長級の居館である可能性が考えられる。また、竪穴住居址では、良好な状態で韓式系土器が数点出土したものがあつた。これに切られる住居址から須恵器の出現以前とみられる土師器の小型丸底壺が出土した。



区画溝と大型建物

## 7. 私部南遺跡04-1 [調査]

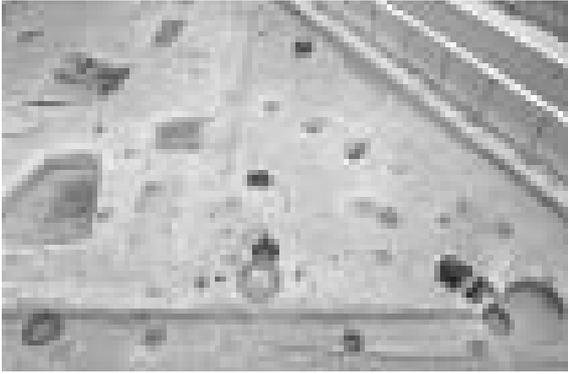
私部南遺跡は、交野市向井田・私部南を中心に所在する。第二京阪道路建設に伴って、「いきいきランド交野」の北側に調査区を設けて発掘調査を実施した。その結果、縄文時代晩期から近世に至る遺構・遺物が多数検出された。古墳時代前期から飛鳥時代の各遺構面では小区画の水田畦畔が検出された。古墳時代前期初頭以前の遺構面でも洪水砂に覆われた水田畦畔が確認されている。また、これより下の遺構面では、蛇行しながら北西方向に流れる



弥生時代前期新段階の竪穴住居（南西から）

流路の右岸で弥生時代前期新段階の竪穴住居1棟が検出されている。竪穴住居の平面形は円形、直径約6mで南側に排水溝が取り付けられている。サヌカイト製の石製品と共に剥片やチップが多量に出土しており石器製作を行っていたことがわかっている。また、縄文時代晩期から弥生時代前期新段階にかけての土器資料が層位的に出土しており、当地での弥生文化の受容を考える上で貴重な資料と考えられる。

## 8. 上の山遺跡03-1 [調査]



### 独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物

調査地は、交野市と枚方市にまたがって所在する。第二京阪道路建設に伴って平成15年度から継続して調査を実施した。

当遺跡は、中・低位段丘および段丘を浸食してできた開析谷、天野川の氾濫原と天井川沿微高地と変化に富んだ立地をしており、旧石器時代から中世までの遺構・遺物を検出したが、特筆すべき遺構として、弥生時代中期前半の独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物がいげられる。

この大型掘立柱建物は、中位段丘最頂部の東寄りの一面に建てられており、標高29.2mで検出した。この建物の規模は、柱間は1間×5間で、梁行は北妻側が4.45m、南妻側が4.60m、桁行は8.60m、独立棟持柱間の距離は14.8m（推定）、床面積は約39㎡を測る。建物の主軸は北東-南西方向（真北から東へ37°）を指す。

柱の掘方から土器片のほか、磨製石庖丁片やサヌカイト製の石鏃や剥片などが出土した。

今回検出した弥生時代の独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物は、その代表例として国史跡池上曾根遺跡の大型建物があるが、それに次ぐ規模で、時期的には先行する。

## 9. 上の山遺跡04-1 [調査]

一般国道168号（都市計画道路枚方大和高田線、天の川磐船線）道路整備に伴う発掘調査を、上の山遺跡03-1調査区の隣接地で実施した。

調査地は枚方丘陵東端部にあたり、調査地東側を流れる天野川を望む低位段丘上に立地する。

今回の調査では、弥生時代の土坑、古墳時代前期と推定される竪穴住居1棟、古墳時代後期から飛鳥時代にかけての竪穴住居1棟、飛鳥時代の掘立柱建物3棟、柵列1条、平安時代以降の柱穴列、土坑などを検出した。

飛鳥時代の掘立柱建物には、計画的に配置された6間×3間の大型建物が2棟あり、うち1棟には部分的に廂がつくと考えられる。また、これらの建物には柵列を伴うことから一般の集落とは考え難い。

## 10. 茄子作遺跡04-1 [調査]

茄子作遺跡は、枚方市茄子作南町地内に広がる遺跡である。調査は、天野川の支流である谷地と、これを取りまくなだらかな丘陵地斜面を対象範囲として行なった。結果、丘陵地斜面上において古墳時代前期～中期の竪穴住居3棟と奈良時代の掘立柱建物を検出した。

また、谷地では、縄文時代中期～古代の遺物を大量に含む流路と平安時代後期～中世に営まれた水田を検出した。この内、流路から出土した遺物中に、溶着した初期須恵器や古墳時代の机天板・織機部材・鋏などの木製品があり、注目される。

## 11. 平池遺跡 04-1 [調査]

平池遺跡は、昨年度、当センターがおこなった確認調査によって新規発見された遺跡である。調査地は、交野市星田地内に位置し、生駒山地から派生するなだらかな台地上に立地する。

今回の調査では、中世遺構面において、溝・土坑・落込み・井戸・水田・谷状地形等を検出した。このうち、方形にめぐる溝からは6世紀後半の須恵器がまとまって出土しており、この地の開発が当該時期までさかのぼる可能性が示された。また、本格的な水田耕作は、13世紀後半から営まれたことが明らかとなった。包含層および地山直上面からは、縄文～弥生時代の石鏃やサヌカイト剥片が出土した。

## 12. 太秦遺跡（太秦古墳群）04-2 [調査・整理]

寝屋川市国守町所在、主要地方道枚方富田林泉佐野線（都市計画道路国守黒原線）予定地内で発掘調査を実施した。太秦遺跡・太秦古墳群の南西端にあたり、大尾遺跡に隣接する。

弥生時代中期の竪穴住居跡を3棟検出し、太秦遺跡の弥生時代の集落がさらに西へ拡がることが確認された。弥生時代中期の方形周溝墓を1基検出し、大尾遺跡の周溝墓群がさらに北へ拡がることも確認された。以上の成果から太秦遺跡と大尾遺跡は一連の遺跡として集落あるいは墓域を形成していたことが明らかになった。

また、古墳中期の方墳または円墳が2基検出された。平成13・14年に調査し、確認された古墳群尾支群と合わせ、太秦古墳群はさらに広い範囲に及ぶことが明らかとなった。

## 13. 太秦遺跡（太秦古墳群）04-1 [調査・整理]

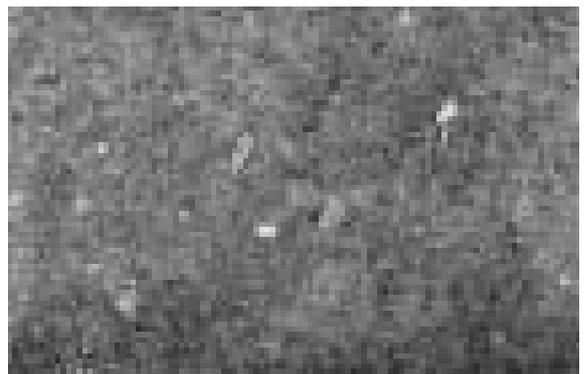
寝屋川市国守町・打上に所在する大阪府寝屋川公園建設予定地の確認調査を実施した。調査地北西側は、平成13・15年度の調査で、古墳時代中期から後期の25基の古墳が検出されている。11箇所を調査区を設定し、遺構・遺物の確認を行った。2・10トレンチでは溝を検出し、埋土の状況から中世以前と考えられる。9トレンチは平成13年度調査地に隣接し、K1号墳の南東側半分を検出した。墳形が従来、想定していた前方後円形ではなく、一辺約9.5mの方形であることが明らかになった。

## 14. 高宮遺跡04-1・大尾遺跡04-1 [調査・整理]

高宮遺跡・大尾遺跡ともに道路として使用されているそばに迂回道路を新設し現道の発掘を実施した。これは府教委の指示によって、従前の調査で重要な遺構・遺物が発見された箇所の隣接部に限る調査である。

高宮遺跡では7～8世紀代の道路状遺構、柱穴等平安時代～鎌倉時代の柱穴、溜池等を発掘した。

大尾遺跡では弥生時代中期後半の方形周溝墓、木棺墓等を発掘した。一つの木棺墓から石鏃が8点発見された。人体に射込まれたと考えられる。

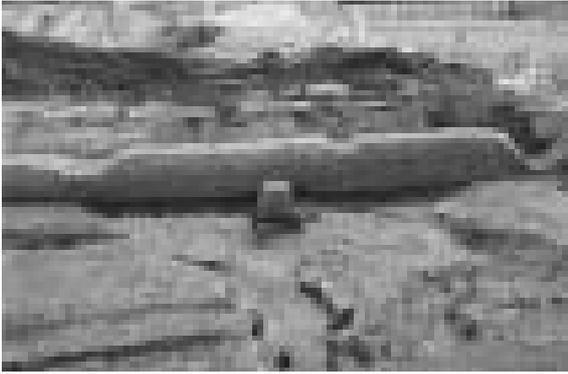


大尾遺跡 木棺墓石鏃出土状況

## 15. 小路遺跡04-1-2 [調査]

小路遺跡04-1-2では、平成14年度調査小路遺跡（その3）で検出した前方後方形周溝墓の前方部北東の周溝と肩口を、小路遺跡04-1-3で後方部南東の周溝と肩口を確認した。前方部周溝内からは庄内式期の二重口縁壺が出土している。

小路遺跡04-1-3・4では、平成14年度調査讚良郡条里遺跡（その1）で検出した南東から北西に向か



後方部南東の周溝と堆積層

う古代の流路（溝27）の北側への延長を確認した。

小路遺跡04-2-1では、平成14年度調査小路遺跡（その2）検出の20流路の延長を確認し、人面墨書土器片、馬の歯などが出土している。また、この流路の西側で庄内式期の溝を新たに検出した。

小路遺跡04-2-2では、平成14年度調査小路遺跡（その2）28流路・29流路と平成14年度調査讃良郡条里遺跡（その3）溝27と連続する溝を確認した。

## 16. 讃良郡条里遺跡03-1 [調査]



縄文時代中期末の土器集中部

この調査地は、枚方丘陵の西側に形成された扇状地の扇央～扇端に立地する。調査は平成15年度から継続して実施しており、縄文時代から中世の遺構・遺物が検出された。今年度の調査で特筆されるのは縄文時代の遺物である。遺物の時期は草創期から晩期前葉にわたっており、それらが層位的に分離して出土した点が注目される。各時期の主要な遺物としては、草創期のスクレイパー・剥片、前期の磨製石斧・大歳山式土器、中期の船元式土器・北白川C式土器などがある。特に中期末の北白川C

式土器については、流路脇で数個体がまとまって出土した。この土器集中部には花崗岩の平たい石が置かれており、炭化物が集中する部分も認められた。

## 17. 讃良郡条里遺跡03-2 [調査]



掘立柱建物検出状況（東から）

寝屋川市高宮地内に所在する。第二京阪道路（大阪北道路）建設に伴う発掘調査である。調査地の南西部分に、縄文時代後期から晩期にかけての氾濫堆積物によって形成される微高地があり、ここでは古墳時代～飛鳥時代の掘立柱建物を26棟検出している他、ほぼ同一面で多数の、ピット・溝・土坑を検出した。土坑の多くからは、布留式土器がまとまって出土しており、この時期から微高地上が積極的に利用されはじめたと考えられる。また、この微高地の縁辺に沿うように自然流路があり、石見型の盾形埴輪や円筒埴輪片などが出土している。

## 18. 讃良郡条里遺跡03-3・7 [調査・整理]

発掘調査は平成16年9月30日までと平成17年3月に一部追加調査を行い、終了となった。調査では縄文時代からそれ以降の各時代の遺構・遺物を検出し、特に弥生時代後期から古墳時代前期の小区画水田

や平安時代後期から室町時代の条里制地割による耕作地などを検出した。この地割は江戸時代まで続く。

整理作業は、遺物登録台帳、写真台帳など基礎資料を作成し、遺物洗浄、マーキング作業を行った。実測遺物は約520点でその内約360点を報告書掲載とした。遺構は遺構間の整合関係の確認作業を行い、調査区断面図・平面図、各遺構図を作成し、報告書掲載にむけてトレース図化した。

調査では、旧石器時代から江戸時代にわたる多種多様な遺物が出土した。そのうち大半は周辺の遺跡からの流入・散布がしめると考えられるが、縄文時代中期・古墳時代・飛鳥時代など遺物を伴う遺構が確認でき、その時期にはこの地が生活の場であったと思われる。また南北・東西に並ぶ畦を検出し、条里制の初期時期がおそくとも平安時代後期までさかのぼることが明らかになった。

#### 19. 讚良郡条里遺跡03-4 [調査]

調査地は沖積低地に位置しており、壘重する堆積により近世から縄文晩期まで各時代の遺構面が良好に確認された。周辺に現代まで遺存する条里地割については、調査で検出された坪境盛土内から、坪境設置時に埋納されたと考えられる須恵器壺が出土しており、奈良時代末にはすでに施行されていた可能性が高い。坪内の地割については鎌倉時代の遺構面において長地型地割が確認されており、近世まで踏襲されることが確認された。



弥生時代中期高まりと水田

古墳時代には総柱建物・土坑・ピットなどが確認されている。土坑には複数個体の土器を埋納したのがあり、一括資料として重要である。湿地帯と考えられる低地部には昨年度調査区から伸びる幅約2～4mの溝が確認されており、溝内からは布留式新段階の土器の他、初期須恵器の坏蓋が出土した。弥生時代中期の遺構面では緩斜面を利用した小区画水田が検出されている。さらに、弥生中期水田耕作土と直下の古土壌を除去した遺構面では縄文晩期から弥生前期の遺物、遺構が検出された。

#### 20. 讚良郡条里遺跡03-5 [調査]

3ヵ年の内2年目となる調査を実施した。今年度は調査範囲の中でも東寄りの部分を調査し、古代以降の遺構面も確認されたが、近世以前の明瞭な条里遺構はみられなかった。

古墳時代中期～後期・古代の遺構面では小規模な集落域として掘立柱建物、井戸、土器埋納遺構や大規模な流路などを検出した。奈良時代の井戸には曲物を用いるものがみられた。流路からは多量の遺物が出土したが、特筆されるものに鞍（後輪）、織機（経巻具）、刀装具（柄頭）などの木製品があげられる。弥生時代の遺構面では一部において畦畔を確認し、その縁辺では石鏃や投弾が出土したことから、水田周辺での狩猟活動を推測させる。



4 トレンチ古墳時代流路（北から）

## 21. 讃良郡条里遺跡03-6 [調査]



微高地上で検出した耕作痕跡と建物跡

調査地は、寝屋川市讃良東町・西町に所在し、讃良郡条里遺跡の南西隅に位置する。今回の調査範囲では、微高地上で奈良時代の掘立柱建物と井戸、平安時代の畑と考えられる耕作痕跡を検出し、その北側で落ち込みを検出した。条里遺構については確認されていない。落ち込みからは古墳時代中期までさかのぼる土師器、須恵器が多量に出土し、木製品も良好な状態で出土した。付近に古墳時代の集落が存在する可能性が考えられる。

## 22. 巢本遺跡03-1 [調査]

巢本遺跡は門真市北巢本町・宮前町に所在する。従前、この地域では遺跡の存在は確認されていなかったが、第二京阪道路の建設に伴い平成13年度から14年度にかけて実施された試掘確認調査により、中世の遺構、遺物が出土したことから新たに登録された遺跡である。

試掘調査の結果を受けて、平成16年度より本調査を開始した。巢本遺跡03-1の調査面積は約10,000㎡であり、今年度は調査区域の北東部約4,500㎡を対象とした。調査では調査区北側で旧流路を、南側で流路の縁辺に形成された自然堤防を確認した。また、自然堤防上では土坑や耕作痕跡等を確認した。旧流路は古代から中世末にかけて、洪水砂を頻繁に供給しながら徐々に東へその主流を移動させていくことがわかった。また河岸では、流路の移動と洪水砂の供給に伴い、生産域を拡大していく様相が明らかになった。中世以降、限られた範囲を有効に活用しながら現代に至るまで連綿と耕作を続けていく、当地域の土地利用の一端を明らかにすることができた。

## 23. 巢本遺跡03-2 [調査]



中世の集落跡

巢本遺跡03-1の南側、国道163号線までを調査中である。11月から人力掘削に着手し、年度末までに全体の約1/4の調査を完了した。井戸・ピット・溝などが密集する集落跡のほか、堤状の高まりや掘状の土坑が密集する地区を確認した。これらの遺構はすべて12～15世紀頃のものであり、縄文・弥生・古墳、あるいは古代といった古い時代の遺構は全く確認されていない。中世になって初めて人々の手が加えられた遺跡であることが次第に明らかとなってきた。

### b 中部調査事務所

## 24. 福井遺跡04-1 [調査・整理]

茨木市福井遺跡04-1調査区は紫金山古墳（前期）、南塚古墳・青松塚古墳（後期）などの著名な古墳が存在する丘陵の南端直下の緩斜面上に位置している。調査地は近世以後に段状に造成された水田など

によって大きく削平され、調査では各水田面端部に中世の遺物包含層・耕作痕を確認するに留まった。

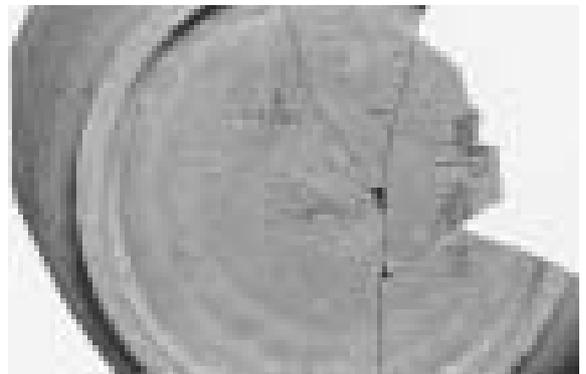
注目すべき遺物としては埴輪片があり、硬質で須恵器工人の関与が推定される個体も認められる。調査区周辺に築かれた後期古墳に並べられていたものであろう。また石匙が1点出土しており、遺跡の初源が縄文期に溯ることが明らかになった。

#### 25. 総持寺遺跡02-1・03-1 [整理]

大阪府営茨木三島丘住宅（建て替え）建設工事に伴い、平成14・15年度に実施した発掘調査の報告書を刊行した。主な遺構・遺物は、7～8世紀代と思われる竪穴住居7棟・掘立柱建物26棟・墓の可能性のある石組みを伴う方形土坑、7世紀中葉の一括出土土器である。

#### 26. 禁野本町遺跡03-1 [調査・整理]

枚方市禁野本町に位置する。昨年度より公務員宿舎枚方住宅建設に伴う調査を引続き実施しており、古代以前及び近代の遺構・遺物を検出した。前者に属する遺構は、庄内式併行期の竪穴住居2棟、古墳時代後期の掘立柱建物1棟、奈良～平安時代前期の掘立柱建物6棟・井戸状遺構1基などである。出土遺物には当該期の土器や瓦などがある。



墨書土器「烏麻呂」

後者に属するのは、1896年～1945年にかけて当地にあった旧日本陸軍禁野火薬庫跡の一部で、1939年に発生した火薬庫の大爆発によって廃絶した施設、整地層などを検出した。出土遺物には施設の基礎に用いられた煉瓦、瓦、内装用の金具類、さらに多量の砲弾片や信管が出土した。本年よりこれらの整理作業を実施している。

#### 27. 走井遺跡04-1 [調査]

走井遺跡は、豊中市の西部、走井2丁目の千里川西岸に位置しており、1986年に豊中市教育委員会によって実施された立会調査で、古墳時代の須恵器が出土したことにより、その存在が確認された遺跡である。

04-1調査は大阪国際空港周辺緑地整備事業に伴う確認調査で、現地に幅2mの南北、東西方向のトレンチを各1本ずつ十字形に設定して行った。調査の結果、全面で各々古墳時代前期、後期とみられる2面の遺構面を確認した。両面より畦畔状遺構（前期）・溝（前・後期）といった遺構を検出し、耕作域の広がりも推測しえた。なお他に平安時代の小規模な土坑も1基確認している。

#### 28. 岩田遺跡04-1 [調査・整理]

近鉄奈良線立体交差化事業に伴って、若江岩田駅の西約200m、岩田遺跡の南端にあたる地域を調査した。その結果、飛鳥時代から平安時代の集落および水田を確認した。

集落内では7世紀の土坑や8世紀中頃から9世紀前半の井戸2基、溝、土坑等を検出した。

井戸は1基が曲物転用枡、1基が板を方形に横組みした井戸で、この井戸底からは口縁部から頸部を

打ち欠いた須恵器壺や、底面に炭が付着した硯転用の須恵器杯、墨書土師器、土師器甕、金属製巡方、製塩土器などが一括出土した。この周辺に小規模ながら古代の集落が存在したことが判明した。

### 29. 花園遺跡隣接地04-1・2 [調査]

04-1区で1ヶ所、04-2区で2箇所の、計3つの確認調査を行った。04-1区は遺構・遺物とも希薄であったが、T.P.1.0m以下で東西4本、南北5本の畦畔で区画される、1辺1.0~1.5m程度の水田状遺構を検出した。時期は特定できない。

04-2-1区（西側）ではT.P.2.1mで中世後半期の大きな溝を確認した。東西方向に流れる溝で、途中で三つ又に分かれる。大量の土師器・瓦器・瓦質土器や瓦・木製品・宋銭などを含む。この上層でも東西方向の河川を検出しており、中世後半から近世の遺物を含む。土器がローリングを受けておらず、器形復原可能なものが多いことから、近隣に当該期の集落が存在することが明らかとなった。

04-2-2区（東側）ではわずかに足跡や須恵器・弥生後期の土器などを確認した。

### 30. 池島・福万寺遺跡02-4・5 [調査]



出土鋤（弥生時代後期）と現代の鋤

本調査は、福万寺Ⅰ期・Ⅱ期間施設部に関わる2ヶ所の調査で、平成14~16年度3ヵ年の最終年度。今年度は古代~縄文後期各面の調査を行い、部分的な面も含め約15面の遺構面を確認した。古代では、7世紀中頃の正方位地割に伴うであろう土器埋納遺構を検出した。古墳~古代の遺構面では、前期の2条の直線溝、中・後期居住域を囲む溝延長、古代初めと推定される畝溝群等を検出した。弥生各面では水田を検出し、後期川からは木製鋤が出土した（写真）。また、部分的な深掘り調査では縄文後期末~晩期初頭の遺物がややまとまって出土した。

### 31. 池島・福万寺遺跡03-2・04-1 [調査]

03-2調査区は、池島Ⅱ期地区東側水路部分に位置する。南北長さ約90mを測り、02-6調査区、02-7調査区に挟まれる。中世後期から近世には調査区南部に西流する水路と南北両側の堤を検出した。堤下層から溝や暗渠が検出された。中世では水田区画と畦畔を検出した。古墳時代前期では、庄内式期の土器溜まりを検出し、下層から少し時期が遡る溝や落込、柱穴などを検出した。04-1調査区は福万寺Ⅱ期地区周囲堤下の止水用矢板が、地下埋管が存在するため打設できない箇所を、土壌改良で止水する長さ約10mの調査である。4箇所を地下4mまで調査し、河道や水田層等を検出して断面図を作成した。

### 32. 池島・福万寺遺跡03-1 [調査]

当調査区は福万寺Ⅱ期地区の北東端に位置し、恩智川治水緑地造成に伴う発掘は本格的に後半に入った。平成16~17年度までの2ヵ年の調査で、平成16年度は近世から中世までの約9面の遺構面の調査をおこなった。

調査区北部には一五ノ坪と一六ノ坪を分ける東西方向の坪境畦畔が存在し、近世から中世にわたりほぼ同じ場所で踏襲されていることが明らかになった。坪内の地割は基本的に南北方向である。中世後半に相当する面では分厚い自然堆積層に覆われて遺存状態がよく、島畠・畑畝・水田畦畔が良好に検出され、場所による土地利用の違いが明らかになった。他の面においても畦畔・島畠・土坑・溝などを調査している。



中世後期坪境畦畔・島畠

### 33. 池島・福万寺遺跡（池島Ⅰ期地区）〔整理〕

1989年～2001年度にかけて発掘調査された池島Ⅰ期地区の整理である。今年度は、遺構に関する整理として、池島Ⅰ期地区の基本層序の確認と調査遺構面の整理を行った。

また、遺物に関しては、古墳時代の遺物整理を行った。池島Ⅰ期地区では、調査地南西部の微高地上から庄内～布留式期の遺構・遺物が多量に出土している。このほか、集落域からは珍しい画紋帯神獸鏡の破鏡、内行花文鏡の破片や鳥形土製品など特徴的な遺物も出土している。

### 34. 池島・福万寺遺跡04-2〔調査〕

本調査は、恩智川治水緑地建設に伴う発掘調査のうち、池島Ⅱ期地区としては最初となる。調査地は東大阪市池島町に位置し、池島Ⅱ期地区のほぼ中央部の調査区である。調査は平成18年度までを予定しており、中世面までの調査を終了した。

調査成果としては、池島Ⅰ期地区で検出されている「1b土坑」と呼称されているものと同様な土坑や島畠が検出された。島畠は南北方向に伸びるものを調査区の西側で3基検出した。また、畦畔・溝・土坑・ピット・杭列なども検出されている。出土遺物量は少ないが土師器・須恵器・瓦器・瓦・陶磁器などが出土している。

### 35. 山賀遺跡03-1〔調査〕

今回の調査（八尾市新家町5丁目）は、寝屋川水系改良事業（新家調節池）に伴うもので、3区に分割して発掘調査している

各区で、歴史時代（第1面）、古墳時代後期（第2・3面）、弥生時代後半（第4・5面）、弥生時代前期後半～中期前半（第6～10面）、など10数面を調査した。土器、石器、木製品などの遺物も多く出土した。

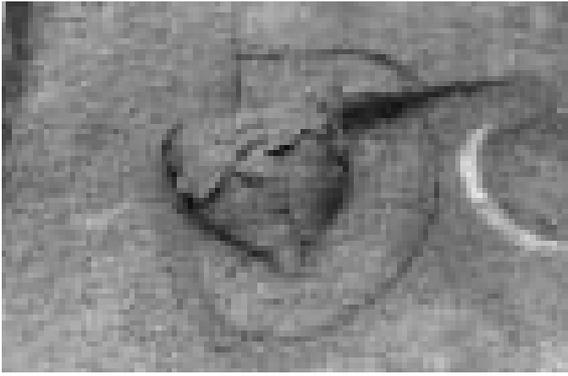
なかでも弥生時代前期末～中期初頭の溝群が平行して西南西～東北東にはしる景観が卓越している。溝間には盛土による堤が築かれており、そこから木棺、土坑、ピットなどを検出した。

調査期間は平成17年9月までだが、平成16年度中に1区（307㎡）は完了、2区（2,272㎡）は弥生時代前期の第10面調査中、3区（267㎡）では弥生時代後半の第4面まで検出した。



弥生時代中期前半の溝群

### 36. 弓削ノ庄遺跡04-1・亀田遺跡04-1・東大阪市南西部遺跡群04-1 [調査・整理]



土器棺墓検出状況

大阪外環状線（東大阪市）連続立体交差事業に伴い調査を行った。亀田遺跡では弥生時代後期の集落を検出した。「龍」の描かれた土器が出土し、集落の性格を考える上でも注目できる。弓削ノ庄遺跡では弥生時代中期（IV様式）の方形周溝墓1基の他、縄文時代晩期末～弥生時代前期の集落を検出した。集落では掘立柱建物やピット、土坑、サヌカイト集積遺構の他、「長原式」突帯文土器をもつ土器棺墓を検出した。遺物では、「浮線文土器」や複数の石棒の出が特筆できる。

### 37. 小阪合遺跡04-1 [調査・整理]



2区 第5面（古墳時代初頭～前期）北から

古墳時代初頭～前期・奈良～平安時代・中世の遺構面を検出した。中世以外は遺構の密度が低い。特殊器台形埴輪や鋸歯文を施した滑石製紡錘車や奈良時代の青谷式複弁蓮華文軒丸瓦など注目すべき遺物が出土した。また、包含層中からは古墳時代中期～後期の須恵器や韓式系土器などが多数出土し、周辺には当該期の集落が存在しているものと思われる。12～13世紀には集落関連遺構が多数検出されたが、14世紀になると景観は一変し、調査区東側で整地層や平行する南北方向の溝が検出される

程度で、耕地化に伴う土地改変がなされた事が窺える。

### 38. 久宝寺遺跡 [整理]

都市計画道路竜華東西線の建設に伴い、平成13年度から発掘調査を実施した久宝寺遺跡の整理事業である。古式土師器の一括資料や、奈良時代の井戸検出など大きな成果があげられた。平成10年度以降に実施した竜華東西線の成果と合わせ、平成16年9月の報告書刊行をもって本事業を終了した。

### 39. 久宝寺遺跡04-1 [調査]・久宝寺遺跡 [整理]

平成16年度の調査は汚泥管設置に伴う大小2基の立坑であり、八尾市竜華町（旧亀井町）の水処理施設建設現場の北西に位置する。いずれも調査面積が狭小であった為、検出した遺構の詳細については不明な点が多いものの、縄文時代後期から中近世にかけての26以上の遺構面を確認することができた。

また中部調査事務所では、平成13から14年度にかけて実施した寝屋川流域下水道竜華水環境保全センター水処理施設等建設に伴う発掘調査に関する整理作業を行っている。これまでの作業により、23の主要な遺構面と、約2,200基の主要遺構を抽出した。図化および写真撮影中の遺物は1,500点を数える。

なお、整理作業の中間報告として、近つ飛鳥博物館において速報展と報告会を開催した。

### c 南部調査事務所

#### 40. 大坂城跡03-1 [整理]

平成15年度の大阪府警察本部等棟新築2期工事に伴う発掘調査では、難波宮跡関連の遺構・遺物を検出するとともに、豊臣期大坂城の巨大な堀を検出するなど、多くの調査成果をあげた。

平成16年度の整理事業は、コンテナ約2,500箱の遺物の洗浄・注記・接合作業を経て、遺物の実測作業にはいった。遺物は約1,000点の実測を行い、これと並行して遺構・遺物のデジタルトレースを行った。このほか、古代の谷や堀の土壌分析や難波宮跡に関連すると考えられる柱材のAMS年代測定、昆虫遺体同定、陶磁器等のトレース図への画像貼り付け作業などの各種分析や特殊作業に関しては、専門業者に委託して作業を行った。

なお、整理作業の過程で、豊臣水軍の武将であった「菅平右衛門」に宛てた荷札木簡を確認した。菅平右衛門は大坂冬の陣後の堀の埋め戻しを巡って、主君藤堂高虎を口論になり、切腹したことが記録に残っており、考古学的な調査成果との関連においてきわめて重要な位置を占めるものであり、6月25日に記者発表を行い、府立近つ飛鳥博物館などで特別に展示し、一般に供した。

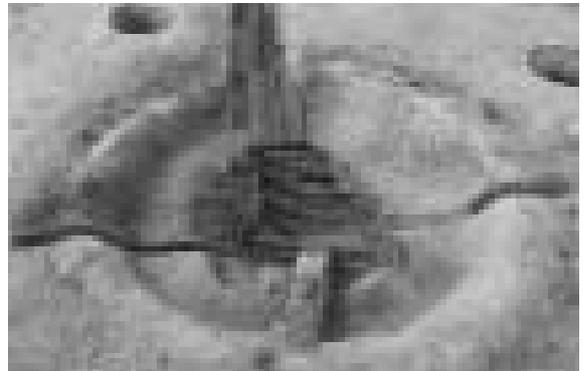


豊臣期大坂城跡出土の金箔瓦

#### 41. 八尾南遺跡03-1 [調査]

八尾市若林町に所在する。平成14年度から実施している大和川改修事業に伴う発掘調査で、今年度は事業区域の南東部および西端部の3,550㎡を対象とし、総調査面積は11,493㎡となった。

第1面では、12世紀前半の掘立柱建物・土坑墓・井戸を検出し、当該期の土地利用の一端を明らかにすることができた。第2面では、弥生時代後期末～古墳時代初頭の方形周溝墓を3基検出し、その総数は36基となった。そのほかに、5世紀後半～6世紀の古墳周溝を検出して



竪穴建物9中央土坑

いる。第3面では弥生時代後期前半の竪穴建物2棟・溝・土坑・水田からなる居住域と生産域を検出した。竪穴は昨年度までの検出例同様、周堤を備える良好な資料であったが、とりわけ、竪穴9では遺存状況の良好な木質構造物を確認でき、建物の構造解明に向け重要な知見を加えることができた。また、第3面のベース面では掘立柱建物を8棟検出し、その総数は29棟となった。これらの掘立柱建物と竪穴が、時期的にどのような前後関係を有するのかについては今後の整理において明らかにする必要がある。第4面では、弥生時代前期末～中期初頭の水田畦畔を検出した。

#### 42. 船橋遺跡00-1・01-1・02-1～3 [整理]

今年度は、船橋遺跡の、平成12年度～13年度、高堤1・高堤2-1の調査と、平成14年度～15年度、高堤3・高堤4の調査の整理・報告書作成事業を行った。

前者は00-1調査区・01-1調査区の調査で、河内橋の南詰西側にあたり、弥生前期～中期初頭の水田、弥生時代後期～古墳時代前期の住居や方形周溝墓、中世の耕作地や建物を検出している。

整理事業としては、特に中世の土器様相に関して、京都周辺との違いを確認できる成果が上がった。

後者は02-1～2調査区・02-3-1～3調査区の調査で、河内橋北詰よりやや西の地点にあたり、弥生時代後期の井戸など、飛鳥時代前半の工房を兼ねた集落などを検出している。

3月10日をもって、前者は「船橋遺跡Ⅱ」として、後者は平成12年度の確認調査の成果も含め「船橋遺跡Ⅲ」として報告書を刊行した。

#### 43. 松原市内遺跡群03-1 [調査]

調査地は、昨年度に引き続き、阪神高速大和川線（松原市域）、および一部併設して一般府道住吉八尾線が東西に走行する計画路線内である。調査の結果、特に、弥生時代前期の遺物を伴う土坑・溝をはじめ、弥生時代後期から古墳時代中期の集落、古代・中世の集落の一端を示す資料が確認された。また、天美西地区では古墳時代後期の埴輪が出土するなどの新知見を得ることもできた。

#### 44. 三宅西04-1 [調査]

調査地は瓜破遺跡（大阪市）を北に臨む、松原市三宅西7丁目に所在する。調査地の大半は近世に耕作地に転換される中世以前の流路が占めるが、北東と南西に古代以前の包含層が分布した。特に調査地南端で検出した弥生時代中期の土坑と柱穴は注目される。柱穴は直径30cmの平面円形で、4基が1間四方（1辺1.2m）の建物を構成し、甕や壺の出土から中期前葉と考えられ、近接の瓜破遺跡に類似遺構がある。

#### 45. 三宅西04-2 [調査]

松原市三宅西に位置する。大阪南部地域における東西方向幹線道路の円滑な交通の確保と、阪神高速道路1号環状線の慢性的な混雑を緩和すべく計画された阪神高速大和川線は、阪神高速道路4号湾岸線から分岐し、14号松原線に連絡するものである。当調査は、都市計画道路大和川線及び都市計画道路堺松原線の建設に伴う調査であり、阪神高速大和川線事業の東端、国道309号線の西に位置する。

昨年度におこなわれた確認調査においては、三宅西地区では弥生時代の水田跡や、古墳時代前期の集落の存在が確認され、今回の調査ではその全容が具体的に明らかになる予定である。現在、調査に着手した直後であり、これから来年度以降にかけて本格的な調査がおこなわれる。

#### 46. 三宅西04-3 [調査]

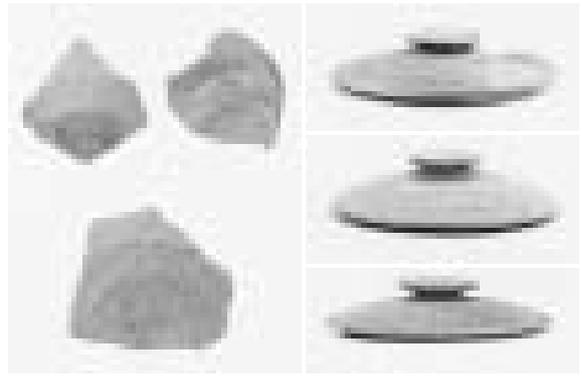
阪神高速大和川線および一般府道住吉八尾線建設に伴う調査であり、松原市三宅西に所在する。調査区は、三宅西（三宅）地区の西半分であり、西側を流れる今井戸川を隔てて池内遺跡と接している。平成16年度では、官民境界のフェンス移設および、パイプライン設置などの付帯工が終了している。

西端部の1区から調査を開始しているが、試掘調査の成果によると、この地区では、古墳時代と考えられる第2面で、南東から北西方向に流れる自然河川を検出している。ここからは、土師器・須恵器・韓式系土器等が出土しており、洪水により流れ込んだものと考えられる。その他には、南北方向に流れる近世の自然河川と、古墳時代以前の古い自然河川をいくつか検出した。

#### 47. はざみ山遺跡 [整理]

昨年度までの調査で出土した遺物の整理事業を行った。対象とする遺物量はコンテナに換算して270箱を数え、土器を中心として、石器、木器、金属器など豊富な内容を持ち、時期的にも旧石器時代から中世段階に至るまでの長期間に及ぶものであった。

この中でも中心となるのは、古墳時代後期末葉から奈良時代前期にかけての資料であり、これらにより全体の9割以上が占められている。特に飛鳥時代中頃の遺物は豊富で、土器を中心に、10点以上を数える陶硯、国内最



湖西窯?産須恵器

古級の土製仮面2点という特殊なものから、漆容器、鞆羽口など各種生産用具に至るまで多彩なものがみられた。なお、須恵器の中には遠江の湖西古窯跡群から搬入されたとみられる製品が含まれ、しかも、それらが漆容器としてばかりではなく、蓋杯など供膳具までに及んでいることが判明した。この新知見が近畿地方で普遍的なものか、当遺跡を特徴付けるものなのかは、検出された80棟を越える建物群の評価とともに、今後の研究課題として追求してゆかねばならない事象をもたらせた。

#### 48. 伽羅橋遺跡04-1 [調査・整理]

高石市高師浜に位置する。都市計画道路高石北線整備事業に伴う調査であり、当センターでは平成11・12・13年度に発掘調査を実施している。当該路線範囲内では、今回の調査が最終的なものと位置付けられた。調査では、中世においては二時期の遺構面を検出した。各面とも井戸・土坑・ピットなどの遺構が検出され、13世紀から14世紀初頭にかけての集落縁辺部の状況が明らかとなった。また、弥生時代の遺構面においては方形周溝墓が検出され、泉州地域において弥生時代中期前葉～中葉の墓域の存在が明らかとなった。整理事業の方では、平成13年度調査と平成16年度調査を対象として、報告書刊行に向けて遺物・図面等の整理作業を実施した。

#### 49. 史跡池上曾根遺跡04-1 [調査]

本年度事業は、第1期整備事業に継続して行われる第2期以後の整備事業計画を立案するための事前調査である。調査そのものは、平成13年度より継続して行われており、その4年次目となる。

今次の調査地区は、昨年度に引き続き、史跡池上曾根遺跡の集落の中心部北東側で、周囲より一段高い地形に設定した。結果、北側に設定した1区では、平成6年度調査の「大形建物1」と同時期と判断できた遺構面から数多くの柱穴・土坑等を検出した。



弥生時代中期後半の掘立柱建物群 (西から)

特に、今回の調査で注目されるものとして、整然と配置された弥生時代中期後半の大形の掘立柱建物群がある。この掘立柱建物群は池上曾根遺跡の集落構造を復元する上で、また、既往の調査で発見された遺構群を含めて建物の方向性など考える上でも居住空間とは違った内容を知ることができるきわめて

重要な意味をもつものである。

その他、今回の「高まり地形」の中でも最も高所の範囲では、さらに下層にも大形柱穴の存在が予測される。これまで不明確であった「高まり地形」の性格を知る上で、掘立柱建物群は弥生時代中期後半の倉庫群の一部であると考えられ、具体的な内容をもつこととなった。

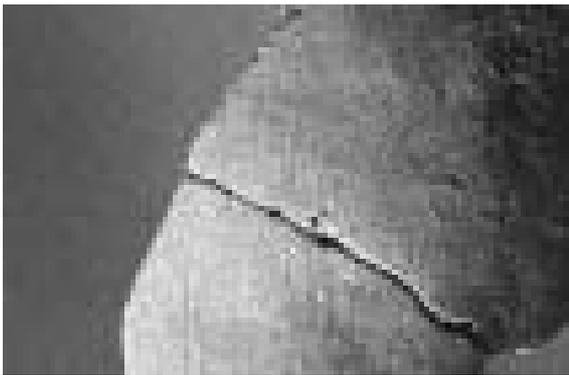
また、調査地の一部では弥生時代後期、古墳時代中期の生活の痕跡を確認することもできた。

#### 50. 東雲遺跡隣接地04-1 [調査・整理]

泉大津市内の南海本線連続立体交差事業に伴う確認調査である。近接する東雲遺跡の調査では、古墳時代から中世にかけての集落が見つかっている。調査では泉大津駅・松ノ浜駅を挟む南海本線沿いに9個所のトレンチを設定した。

成果としては、まず調査地が河成堆積物により形成された、扇状地形上に立地していることが確認された。また、溝・耕作溝・ピットなど中・近世の遺構が検出されたほか、土師器・須恵器・瓦器・瓦質土器・中国製白磁・丹波焼・肥前陶磁器・瓦・土錘などの遺物が出土している。調査終了後、引き続き整理作業を行い、平成16年11月に報告書を刊行した。

#### 51. 男里遺跡04-1 [調査]・男里遺跡 [整理]



大溝出土絵画土器

今年度の調査地は、新設道路の擁壁および側溝部分のみであることから、幅は2 mにすぎない。幡代馬場交差点付近のⅠ調査区では、弥生時代中期末の大溝1の広がりを検出し、埋土から多くの弥生土器が出土した。双子池交差点付近のⅡ調査区では、奈良時代初頭頃の柱穴や土坑などが検出された。

遺物整理作業では、平成14年度に検出した弥生時代中期末の大溝から出土した遺物を中心として、実測に着手した。遺物の大半は、弥生時代中期末のものが占めている。

奈良時代や中世のものを含めて、実測遺物の点数は、1,400点余（土器類約1,200点・打製石器約120点・磨製石器約100点）に及ぶ。また、特徴的な遺物を抽出し、写真撮影をおこなった（約500点）。なお、本文編の作成では、試験的に編集ソフトであるInDesignCSを使用し、デジタル編集をおこなった。平成17年2月に調査報告書を刊行した。

弥生時代中期末の遺物を観察した結果、土器の胎土中に和歌山県北部の紀ノ川流域で産出する結晶片岩を含んでいるものが多数みられることが判明した。器形においても明らかに和歌山地域の特徴をもつものが多い。これは、和歌山地域の土器が泉南地域まで数多く広まっていたことをあらわしている。さらに、他地域との交流も考えられ、播磨や四国地方の影響が想定される土器も見られるが、河内地域の土器は非常に少ない。特筆すべきものとして、大溝出土遺物の中から、掘立柱建物を少なくとも3棟以上線刻した絵画土器がみつき、精巧な施文技術を見ることができる。

### (3) 保存処理事業

#### 1. 高石市教育委員会保存処理済金属製品の調査

平成16年度は、保存処理済金属製品の保管状況調査を実施した。調査した保存処理済金属製品は、富木車塚古墳出土金属製品の保管状況を調査した。現状は、保存処理後の遺物劣化や錆の再発生も観察されず、ほぼ現状を維持していた。今後も高石市教育委員会で保管されている金属製品の環境調査、保管状況の把握とアフターケアを実施する。

#### 2. 平成16年度保存処理事業一覧

調査事業に関連して以下の通り保存処理事業を実施した。

遺跡名	処理種別	処理方法	処理数量
近畿道関連（北群）	大型木製品	PEG処理	37点
近畿道関連（南群）	大型木製品	PEG処理	292点
大坂城遺跡	木製品	PEG-FD処理	250点
池島福万寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	288点
久宝寺遺跡	木製品	PEG-FD処理	160点
瓜生堂遺跡	木製品	PEG-FD処理	52点
讚良郡条里遺跡	木製品	PEG-FD処理	36点
勝部遺跡	木製品	PEG-FD処理	29点
岩田遺跡	木製品	PEG-FD処理	29点
大坂城遺跡	大型木製品	PEG-FD処理	157点
はざみ山遺跡	大型木製品	PEG-FD処理	12点
尺度遺跡	木製品	PEG-FD処理	13点
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	16点
瓜生堂遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	23点
久宝寺遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	67点
久宝寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ20箱
山賀遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
奥山遺跡	金属遺物	アクリル樹脂処理	鉄製品172点
池島福万寺遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ10箱
はざみ山遺跡	動植物遺体	分類・鑑定	コンテナ1箱
X線調査	各種遺物	X線透視撮影	金属・有機遺物 100点

PEG：ポリエチレングリコール FD：真空凍結乾燥を示す。

#### (4) 現地説明会等

平成16年度の現地説明会・現地見学会等は次のとおり実施した。

	実施日	遺跡名	参加者数	備考
1	平成16年5月15日(土)	上の山遺跡	513名	現地公開
2	平成16年9月12日(日)	八尾南遺跡	93名	研究者対象
3	平成16年11月13日(土)	史跡池上曾根遺跡	960名	現地説明会
4	平成17年2月27日(日)	山賀遺跡	90名	現地説明会
5	平成17年3月6日(日)	上の山遺跡	840名	現地説明会

##### 1. 上の山遺跡現地公開 平成16年5月15日(土)

交野市と枚方市の両市に所在する上の山遺跡で、第二京阪道路建設に伴い平成15年7月から発掘調査を実施してきた。段丘縁辺部で弥生時代や古墳時代前期から後期の竪穴住居群を、段丘斜面部で古墳時代後期の水場遺構、段丘西側の谷部では弥生時代中期の土器溜りや、古墳時代を中心に弥生時代中期から飛鳥時代に埋没した流路群、さらに平安時代の水田遺構など多くの遺構や遺物を検出した。そこで、これらの成果を広く一般に供するため、平成16年5月15日に現地公開を実施した。

当日は、パネルに貼りつけた写真や図面をもとに調査概要を説明した後、竪穴住居群を中心に見学していただいた。あわせて、土器溜りの遺物や水場遺構に使用されていた須恵器の大甕なども展示したが、これらの遺物にも関心を寄せられる方々も多く、担当者の説明に熱心に耳を傾け、質問をされる方も多数おられた。現地公開ということで地元を中心に告知を行ったが、参加者は513名を数えた。これは、天候にも恵まれたこともあったが、地元の方々の文化財に寄せる関心の高さを示す結果であるといえる。

##### 2. 八尾南遺跡現地公開 平成16年9月12日(日)

平成16年9月12日(日)、弥生時代後期前半の竪穴建物を対象として現地公開を開催した。

今回の03-1工区調査で新たに確認した2棟の竪穴建物は、過去2か年に検出した建物と同様に遺存状況が極めて良好で、いずれも外周には裾幅2.0~2.5mの周堤を巡らしていた。このうち一辺7mを測る方形の竪穴建物(竪穴9)では、ヨシを網代状に貼り付けた壁構造が明らかとなったほか、中央に箱状の木製構造物を据え付けた大型土坑や横木と有機質の材によって蓋をした排水溝・周壁溝が検出され、さらに南東角では梯子が据え置かれた状態で出土するなど、建物使用当時の状況を復元するうえで大変重要な調査例となった。本来であれば広く一般に供すべきではあったが、晩夏の時期でかつ脆弱な有機質の構造物であることを考慮し、文化財調査関係者を中心に現地公開を実施することとした。

当日は午前10時から2時間の緊急公開であったにもかかわらず、近畿地方2府3県から93名の方の参加を得ることができ、調査成果の意義や建物構造に関して貴重なご教示を多数賜うことができた。

##### 3. 史跡池上曾根遺跡現地説明会 平成16年11月13日(土)

史跡池上曾根遺跡では、平成6年度(1994年)調査の「大形建物1」発見以来の大掛かりな現地説明会が行われた。調査では、「大形建物1」とほぼ同じ、東西・南北の方位を意識して配置された掘立柱建物を4棟(弥生時代中期後半)検出するなどの成果があり、環濠集落の中核部の構造に関わる重要な知見が得られた。当日は、地元の方々を中心に、南は沖縄県から北は青森県までと遠方からの見学者も

多く、1000人近くの参加者があった。まさに遺跡の内容の評価に値する、多くの衆目を浴びる遺跡である。当日は、環境の悪い場内の改善・会場設営に奔走してくれた人たち、また、見学者が理解を深められるように会場案内に奮闘してくれた人たち、多くの方々に支えられての説明会であった。

報道関係では、これらの発見された建物群に対して大々的に発表がなされ、その建物の性格に関しては様々な異なる評価を与える意見も出されている。また、弥生文化博物館において今回の調査に関連する遺物を展示し、開催中の特別展とともに多くの見学者で賑わった。

#### 4. 山賀遺跡現地説明会 平成17年2月27日(日)

山賀遺跡は各時期に及ぶ複合遺跡だが、最古の弥生集落のひとつとしてかねてより注目されていた。

2005年2月27日(日)小雪の散らつく午後、山賀遺跡03-1(八尾市新家町5丁目所在 寝屋川水系改良事業に伴う)-2区(直径54mの円形 面積2,272㎡)で、弥生時代中期前半頃の溝群や木棺墓を公開した。溝群では各遺構面で形状や堆積状況が微妙に変化する事から、洪水に見舞われながらもその都度掘り直され、維持されていた状況を説明した。合わせて、溝群から出土した完形の弥生土器、打製石鏃、木製高坏、イノシシ牙製の腕輪、碧玉質管玉などの出土遺物を展示した。

府内・近県の話題の遺跡説明会と開催が重なり、さらに最寄駅から2km離れているにもかかわらず、地元八尾市・東大阪市をはじめとする100名近い方々に溝群や出土遺物を熱心に見学して頂いた。

さらに、現地説明会終了直後の3月1日(火)～6日(日)、弥生文化博物館において、調査状況の写真パネルや、出土土器・石器などの速報展示も行った。

#### 5. 上の山遺跡現地説明会 平成17年3月6日(日)

第二京阪道路建設に伴う発掘調査を実施している上の山遺跡では、弥生時代中期前半の独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物を検出した。建物は遺跡が立地する中位段丘頂部に位置し、建物規模は1間×5間で床面積は約39㎡であった。建物が眺望のよい場所に立地すること、棟持柱が大きいことなど立派な屋根構造をもつ、シンボリックな建物であったと考えられる。弥生時代の独立棟持柱をもつ大型掘立柱建物は府内でも検出例は少なく、周辺地域の弥生時代を考える上で重要な調査成果であることから、この建物を対象として平成17年3月6日に現地説明会を実施した。

当日は、柱位置に柱の模型を置くとともに、床面積と同規模のシートを敷くなどして建物の大きさを実感できるようにした上で説明を行った。また、遺物は建物の掘方や、建物周辺の土坑から出土した弥生土器を中心として展示を行った。当日は、地元の方はもとより、西は福岡県、東は東京都など遠方からの参加者を含め800人を超える多くの見学者が現地を訪れ、遺構や遺物を熱心に見学されていた。

## 4. 普及啓発事業

### A. 文化財講演会事業

#### (1) 重要調査に基づくシンポジウムの開催

大阪歴史博物館4階講堂において、シンポジウム「難波宮」,「大坂城」を(財)大阪市文化財協会・大阪歴史博物館と共催した。

本事業は、平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

① 2004年6月12日(土) 13:00~16:45 参加者数:約450名(関係者含む)

「難波宮」-宮城北辺をさぐる-

開会あいさつ

(財)大阪市文化財協会常務理事 西口一男

「難波宮発掘50年の成果と課題-前期難波宮をめぐる-」

前帝塚山学院大学教授 中尾芳治

「難波宮跡北西部の発掘調査-新発見の重要考古資料-」

(財)大阪府文化財センター班長 江浦 洋

「難波宮北辺の検討」

大阪歴史博物館学芸員 古市 晃

「上町台地の王宮と難波長柄豊碕宮」

(財)大阪府文化財センター理事長 水野正好

討 論

司会:(財)大阪市文化財協会会長原調査事務所長 積山 洋

② 2004年6月20日(日) 13:00~16:45 参加者数:約430名(関係者含む)

「大坂城」-秀吉の大坂城縄張りをさぐる-

開会あいさつ

(財)大阪府文化財センター 中山重光

「秀吉の大坂城-知られざる堀と防御施設-」(財)大阪府文化財センター専門調査員 島内洋二

「秀吉の城と大坂城」

(財)大阪市文化財協会研究資料課長代理 松尾信裕

「豊臣期大坂城の構造について」

大坂城天守閣館長 中村博司

「大坂時代と秀吉」

(財)大阪市文化財協会理事長 脇田 修

討 論

司会:大阪歴史博物館研究副主幹 森 毅

#### (2) 職員による文化財調査に関する講演会の実施

日本民家集落博物館内カルチュアはっりににおいて、

親と子の考古学教室「遊ぼう学ぼう ずっとずっと昔の日本」を全4回開催した。

第1回 むかしの道具 ~模型をつくろう~

2004年9月5日(日) 13:30~16:00

講師:本間元樹(中部調査事務所・技師)

内容:ペーパークラフト

参加者数:32人(10組:大人17人・子供15人)

第2回 むかしのおもちゃ ~あそぼうよ~

2004年9月20日(月・祝) 13:30~16:30

講師:島内洋二(南部調査事務所・専門調査員)

内容:泥面子づくり

参加者数:35人(12組:大人16人・子供19人)

第3回 むかしの絵 ～土の絵を描こう～

2004年9月23日（木・祝）13：30～16：00

講師：峠 美穂（普及部・嘱託）

内容：どろんこアート

参加者数：14人（6組：大人5人・子供9人）

第4回 むかしのたべもの ～なにを食べていたの？～

2004年9月26日（日）13：30～16：00

講師：山口誠二（中部調査事務所・技師） 岩立美香（同・専門調査員）

内容：木の実クラフト

参加者数：16人（5組：大人5人・子供11人）

### （3）ミニ講座、見学ツアー等の実施

#### ① ミニ講座

##### \*日本民家集落博物館との共催によるミニ講座

博物館内のカルチュアはつとりを会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「山村の文化再考」

（聴講者延べ人数53人、平均13人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	11月13日（土）	椎葉の民家移築始末記 鳥越 憲三郎氏（大阪教育大学名誉教授）	15名
2	11月20日（土）	東南アジア山岳地帯の民家と暮らし 若林 弘子氏（若林建築設計事務所・一級建築士）	10名
3	11月27日（土）	西米良の焼畑と山村の暮らし 伊藤 廣之氏（大阪歴史博物館学芸課長）	14名
4	12月4日（土）	山間部の住まいと習俗—宮崎県椎葉村と奈良県十津川村の事例— 森 隆男氏（関西大学文学部教授）	14名

##### \*池上曾根史跡公園協会との共催によるミニ講座

池上曾根弥生学習館を会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ 「フォーラム匠の世界 —日本の伝統技術は今— 」

（聴講者延べ人数301人、平均75人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	5月9日（日）	生漉き奉書 人間国宝 岩野 市兵衛氏（9代目・重要無形文化財「越前奉書」保持者） 八木 米太郎氏（8代岩野氏に師事・西宮市議会議員）	89名

2	5月30日(日)	名塩紙(兵庫県無形文化財) 人間国宝 谷野 武信氏(重要無形文化財「名塩雁皮紙」保持者)・柳橋 眞氏(金沢美術工芸大学大学院教授)	76名
3	6月6日(日)	装潢(そうこう) 岡 岩太郎氏(装潢師・(株)岡墨光堂代表取締役) 河田 昌之氏(和泉市久保惣記念美術館館長)	80名
4	6月13日(日)	丹波布一国の記念すべき無形文化財・兵庫県の伝統工芸品一 足立 康子氏(丹波布復原者) 富山 弘基氏((株)染色と生活社取締役)	56名

## ② 見学ツアー等

### \* 日本民家集落博物館との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

- ・タイトル: 井藤徹先生(日本民家集落博物館館長)と行く世界遺産白川郷と富山・石川の古代遺跡を訪ねて

実施日: 平成16年4月13日～4月15日

見学先: 白川郷合掌造り集落、五箇山合掌造り集落、富山県埋蔵文化財センター、桜町JOMO PARK 出土品展示室、小矢部ふるさと歴史館、羽咋市歴史民俗資料館、気多神社、チカモリ遺跡、金沢市埋蔵文化財収蔵庫、石川県埋蔵文化財調査センター、石川県立歴史博物館

参加者: 27名(館長含む)

- ・タイトル: 九州椎葉紀行ひむか神話街道の旅

実施日: 平成16年6月25日～6月26日

見学先: 白川水源、高千穂峡、天岩戸神社、高千穂町歴史民俗資料館、椎葉村民俗芸能博物館(夜神楽鑑賞含む)、十根川集落、鶴富屋敷、宮崎県立西都原考古博物館・西都原古墳群

参加者: 16名(館長含む)

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、「世界遺産白川郷と富山・石川の古代遺跡を訪ねて」は平成16年6月16日から6月27日まで、「九州椎葉紀行ひむか神話街道の旅」は、平成16年9月29日から10月11日まで、日本民家集落博物館南部の曲家で写真展をそれぞれ開催した。

### \* 池上曾根史跡公園協会との共同企画によるバスツアーと写真パネル展

- ・タイトル: 播磨・但馬に古代遺跡を訪ねて

実施日: 平成16年6月30日～7月1日

見学先: 播磨町郷土資料館・播磨大中遺跡、兵庫県立歴史博物館、船宮古墳、豊岡市出土文化財管理センター、いずし古代学習館、但馬国分寺跡、箕谷古墳群、大藪古墳群、和田山町立郷土歴史館、城ノ山古墳、池田古墳、茶すり山古墳

参加者: 44名

- ・タイトル：金関先生（大阪府立弥生文化博物館館長）と行く沖縄悠久2,000年の旅～弥生文化とつながる交易の島～琉球，先史時代の遺跡を訪ねて

実施日：平成16年12月12日～12月14日

見学先：浦添市民会館（シンポジウム「〔沖縄学フォーラム〕貝の交易・ヒトの交流・琉球王権の出現－弥生文化とつながる交易の島－」出席）、浦添城跡、宜野湾市立博物館、読谷村立歴史民俗資料館、座喜味城跡、木綿原遺跡、仲原遺跡

参加者：50名

なお、参加者が撮影した写真をパネルにし、「播磨・但馬に古代遺跡を訪ねて」は平成16年7月27日から8月15日まで、「沖縄悠久2,000年の旅～弥生文化とつながる交易の島～琉球，先史時代の遺跡を訪ねて」は、平成17年2月1日から2月27日まで、池上曾根弥生学習館で写真展をそれぞれ開催した。

#### （４）文化財講座の実施

平成16年度は、エル・おおさか南館 南1023号室を会場として、下記のとおり実施した。

全体テーマ：『日本の海外考古学調査part 2』

（聴講者延べ人数1,115人、平均112人）

回	月日・曜日	講座タイトル・講師	参加者数
1	5月20日（木）	『中国大明宮太液池の共同調査—中国社会科学院考古研究所と奈良文化財研究所との共同調査—』 島田 敏男氏（奈良文化財研究所 平城宮跡発掘調査部遺構調査室長）	142名
2	6月17日（木）	『カンボジア アンコール遺跡群の最新情報』 杉山 洋氏（奈良文化財研究所 飛鳥資料館室長）	135名
3	7月15日（木）	『世界遺産龍門石窟の保護』 岡田 健氏（東京文化財研究所 国際文化財保存修復協力センター保存計画研究室長）	123名
4	8月19日（木）	『韓国の考古学調査—解放前の古蹟調査事業—』 高 正龍氏（立命館大学文学部助教授）	100名
5	9月16日（木）	『中国河南省鞏義市黄冶 唐三彩窯址の発掘調査』 巽 淳一郎氏（奈良文化財研究所 埋蔵文化財センター国際遺跡研究室長）	117名
6	12月2日（木）	『「もう一つの蒙古襲来」を検証する—ロシア サハリン島白土城を探る—』 前川 要氏（中央大学文学部教授）	104名
7	11月18日（木）	『ナイルから地中海へ—地方都市アコリスの軌跡—』 辻村 純代氏（国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員）	89名

8	12月16日（木）	『シリア パルミラ遺跡の調査』 西藤 清秀氏（奈良県立橿原考古学研究所調査第2課長）	103名
9	1月20日（木）	『ローマ帝政期の二つの別荘—Villa Romana a Cazzanello とVilla della Augustusの調査を中心に—』 中西 靖人氏（帝塚山大学現代生活学部居住空間デザイン学 科助教授）	102名
10	2月17日（木）	『イスラエル国 テル・ゼロールからエン・ゲヴへ』 置田 雅昭氏（天理大学文学部教授）	100名
合 計			1,115名

注記：第6回講座は、10月20日（水）の開催日が台風のため12月2日に変更となった。

本事業のうち、第1回、第3回、第4回、第5回、第6回は、平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## （5）郷土の文化財を見学する会の実施

平成16年度は下記の通り実施した。

（参加延べ人数782人 平均78人）

実施日	見学先	見学内容	講 師	参加者
4月18日 日曜日	第1回例会（第313回） 泉南地域の文化財探訪（1）	テーマ：佐野町場から紀州街道、粉河街道を歩く 泉佐野旧町場（上善寺、春日神社、いろは蔵など）、ふるさと町屋館、上町遺跡、妙光寺、歴史館いずみさの、新井家住宅、佐野王子、上町東遺跡ほか	樋野 修司 氏 森 昌俊 氏 廣田 浩治 氏	73人
5月9日 日曜日	第2回例会（第314回） 北摂地域の文化財探訪（1）	テーマ：呉服の里、文人達の町池田を歩く 池田市街（旧加島銀行、酒造呉春、稲東家住宅など）、伊居太神社、池田城跡公園、逸翁美術館、池田茶白山古墳、池田市立歴史民俗資料館ほか	中西 正和 氏 村上美智子 氏 亀井 俊朗 氏 田中 晋作 氏	47人
6月13日 日曜日	第3回例会（第315回） 泉北地域の文化財探訪（1）	テーマ：百舌鳥古墳群の東エリアを歩く 大山古墳、いたすけ古墳、御廟山古墳、重要文化財 高林家住宅、百舌鳥八幡宮、ニサンザイ古墳、定の山古墳、長曾根遺跡、金岡神社ほか	森村 健一 氏	106人

7月18日 日曜日	<p>第4回例会（第316回） 河内地域の文化財探訪（1） テーマ：古代の牧場と南北朝時代の戦乱跡をたずねる 楠正行墓，四條畷神社，弥勒寺，四條畷市立歴史民俗資料館，墓ノ堂古墳，奈良井遺跡，正法寺，忍岡古墳，更良岡山遺跡，讃良川遺跡ほか</p>	野島 稔 氏	87人
9月12日 日曜日	<p>第5回例会（第317回） 京都洛中の文化財探訪（1） テーマ：御所から平安京へ、京の都の軌跡をたずねる 京都御所，白峰神宮，足利将軍室町第跡，清明神社，京都市考古資料館，聚楽第跡，平安宮承明門跡，内裏内郭回廊跡，平安宮大極殿跡，朝堂院跡，平安宮豊楽殿跡，二条城，神泉苑ほか</p>	吉村 正親 氏	78人
10月10日 日曜日	<p>第6回例会（第318回） 北摂地域の文化財探訪（2） テーマ：千里丘陵の古窯跡と北摂の古集落をたずねる 大光寺，中西家住宅，吉志部瓦窯跡，吹田34号須恵器窯跡，吉志部古墳，吉志部神社，吹田市立博物館，佐井寺くり抜き水路，佐井寺，佐井寺伊射奈岐神社，愛宕神社，千里第二小学校ほか</p>	西本 安秀 氏	75人
11月14日 日曜日	<p>第7回例会（第319回） 大和地域の文化財探訪（1） テーマ：「発掘された日本列島2004（中核展示）」の見学と奈良町を歩く 奈良市美術館，興福寺，多聞院跡，不審ヶ辻子，大乘院庭園文化館，元興寺境内，旧元興寺金堂跡，五重塔跡，御霊神社，庚申堂，鎮宅霊符神社ほか</p>	森下 浩行 氏 狭川 真一 氏	73人
12月18日 土曜日	<p>第8回例会（第320回） 阿波地域の文化財探訪[バスツアー] テーマ：徳島、阿波北方地方の遺跡を巡る （財）徳島県埋蔵文化財センター，板野町歴史文化公園，藍住町歴史館 藍の館，勝瑞城館跡，霊山寺，鳴門・板野古墳群，大谷焼窯元ほか</p>	藤川 智之 氏	85人
1月16日 日曜日	<p>第9回例会（第321回） 難波地域の文化財探訪（1） テーマ：平野郷町を歩く 各地蔵堂，平野郷惣会所跡，赤留比売命神社，安藤正次墓所，</p>	豆谷 浩之 氏	69人

	全興寺，長宝寺，大念仏寺含翠堂跡，杭全公園・平野環濠跡，杭全神社，旭神社，正覚寺跡，畠山政長墓所，奥田家住宅ほか		
2月13日 日曜日	第10回例会（第322回） 西摂地域の文化財探訪（1） テーマ：大輪田泊、兵庫津、旧居留地、港町神戸の今昔を探る 柳原惣門跡・柳原蛭子神社，柳原天神社，能福寺，真光寺，御碕八幡神社，薬仙寺，新川運河，兵庫城跡・県庁跡，旧居留地15番館，メリケン波止場跡，海岸ビル等，神戸市立博物館ほか	口野 博史 氏 高久 智広 氏	89人

本事業のうち、6月例会、7月例会、9月例会、10月例会、11月例会は平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## B. 文化財展示会事業

### (1) 展示会の実施

#### ① 小テーマ展示「シリーズ ここまでわかった考古学」の実施

##### a シリーズ ここまでわかった考古学

「古墳時代の池島・福万寺遺跡 ―初めてのすみごころ―」

日本民家集落博物館と共催で実施した。

会期 平成17年1月14日（金）～1月30日（日）

（博物館休刊日を除く15日間）

会場 日本民家集落博物館内 カルチュアはっとり

入館者総数 1,160名

会期中の行事

会場 カルチュアはっとり（定員40人）

時間 午後1時30分～3時30分

調査成果報告会・展示解説

1月23日（日）

演題 「池島・福万寺遺跡の3・4世紀」

講師 （財）大阪府文化財センター技師 市村慎太郎

演題 「池島・福万寺遺跡の5・6世紀」

講師 （財）大阪府文化財センター技師 廣瀬 時習

参加者数 66名

##### b シリーズ ここまでわかった考古学

「瓜生堂遺跡の最新研究」

大阪府立弥生文化博物館と共催で実施した。

会期 平成17年2月19日（土）～3月27日（日）

（博物館休館日を除く32日間）

会場 大阪府立弥生文化博物館 特別展示室

入館者総数 2,516名

会期中の行事

会場 大阪府立弥生文化博物館 1階ホール

時間 午後2時～4時

調査成果報告会とミニシンポジウム

第1回 2月27日（日）

演題 「瓜生堂遺跡が問い続けるもの ―1970年代から現在、未来へ―」

講師 東大阪市教育委員会課長代理 福永 信雄氏

（財）大阪府文化財センター技師 川瀬 貴子

参加者数 109名

第2回 3月13日（日）

演題 「関連科学が明らかにした瓜生堂遺跡の実像」

講師 （財）東大阪市文化財協会調査部副部長 松田順一郎氏

徳島大学埋蔵文化財調査室助手 中原 計氏

大阪市立大学大学院医学研究科 器官構築形態学研究室助手 安部みき子氏

（財）大阪府文化財センター係長 秋山 浩三

参加者数 140名

講演会 3月20日（日）

演題 「瓜生堂の炭素14年代と近畿弥生実年代」

講師 国立歴史民俗博物館教授 今村 峯雄氏

参加者数 180名

c シリーズ ここまでわかった考古学

「久宝寺遺跡の最新成果―河内平野における古墳出現を探る―」

大阪府立近つ飛鳥博物館と共催で実施した。

会期 平成17年3月19日（土）～4月10日（日）

（博物館休館日を除く20日間）

会場 大阪府立近つ飛鳥博物館 特別展示室

入館者総数 2,260名

会期中の行事

会場 博物館地階ホール

時間 午後1時30分～3時30分

調査成果報告会

第1回 3月21日（月・祝）

演題 「古墳出現期の久宝寺遺跡」

講師 (財)大阪府文化財センター専門調査員 菊井 佳弥

演題 「久宝寺遺跡と加美遺跡の墳墓群について」

講師 (財)大阪市文化財協会調査課長 田中 清美氏

参加者数 137人

第2回 4月3日(日)

演題 「久宝寺遺跡の変遷—石器から鉄道まで—」

講師 (財)大阪府文化財センター技師 亀井 聡

参加者数 72名

本事業のうち、b, cは、平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## ②スポット展示

全7回実施した。本事業は、平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

### 1. 「菅平右衛門」木簡

2004.7.3～11

大阪府立近つ飛鳥博物館

入館者数：596人

### 2. 「菅平右衛門」木簡

2004.9.23～30

日本民家集落博物館内カルチャはっとり

入館者数：913人

### 3. 池上曾根遺跡出土遺物

2004.11.12～2004.12.5

大阪府立弥生文化博物館

入館者数：3,105人

### 4. 奥山1号墳出土遺物

2005.3.12

大阪歴史博物館

入館者数：188人

### 5. 山賀遺跡発掘調査速報

2005.3.1～6

大阪府立弥生文化博物館

入館者数：341人

### 6. 上の山遺跡発掘調査速報

2005.3.8～13

大阪府立弥生文化博物館

入館者数：502人

### 7. 八尾南遺跡発掘調査速報

2005.3.15～21

大阪府立弥生文化博物館

入館者数：674人

## (2) 文化庁主催「公開普及事業」に協力

文化庁が主催し、全国埋蔵文化財法人連絡協議会・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会が共催して実施している埋蔵文化財公開普及事業「発掘された日本列島2004(新発見考古速報展)」の運営に、当センターが実行委員会事務局として参加して、展示品の集荷・検収・返却の実務と経理面での実務を担当した。また、当年度は当センターで調査した大坂城跡出土の遺物を出展した。

## C. 文化財体験学習事業

### (1) 体験学習等の受け入れ

4校の体験学習を受け入れた。

1. 大阪府立今宮高等学校

2004.7.28～8.3 場所：八尾南遺跡 参加人数：7人（2年生5名、卒業生2名）

2. 和光高等学校

2004.10.14 場所：池上曾根遺跡 参加人数：25人（2年生）

3. 東大阪市立石切中学校

2004.11.11～12 場所：池島・福万寺遺跡 参加人数：4人（2年生）

4. 大阪府立大手前高等学校

2004.12.10 場所：讃良郡条里遺跡 参加人数：21人（1・2年生）

## D. 文化財資料収集事業

### (1) 文献及び文化財情報の収集・整理

平成16年度に購入および受贈等によって収集した図書は下記のとおりである。

① 購入図書	689冊
② 研究機関、行政機関等からの寄贈図書	2,987冊（405,576頁）
計	3,676冊
累計	62,550冊

### (2) 文化財情報のデジタル化

久宝寺遺跡（近畿道）における準構造船の発掘および、同遺跡（竜華地区）1号墳の発掘時のカラー写真をデジタル画像にし、「発掘追体験」としてまとめた。

### (3) 各種データベースの構築

現在、主として構築しているデータベースは、蔵書登録データベースと雑誌目次データベースである。

蔵書登録データベースは寄贈を受けた図書・購入した図書の図書原簿への手書き登録に基づき、それをワークシートとしてコンピュータにデータ入力を行っている。

雑誌目次データベースは考古学関係雑誌の目次項目（雑誌名、巻号、出版社、著者名、論文名等）を1つずつ、ランニングNo.等をふり、ワークシート化してデータ入力している。

平成17年3月末現在で当センター蔵書のデータベースは62,550レコード、雑誌文献データベースは51,663レコードが入力済である。マイクロフィルム蔵書データベースは約16,000レコードが現在完了している。

## E. 文化財資料提供事業

### (1) インターネット及び報道機関を通じての情報の提供

上記「発掘追体験」の他、当センターが開催した諸行事に関する情報およびOCCH、現地説明会資料等をホームページ（<http://www.occh.or.jp>）に掲載公開した。また、報道機関にも積極的に情報提供した。

### (2) 発掘資料の出品、写真、映画等の貸出

#### a. 資料及び写真の貸出

平成16年度常設展示貸出し資料一覧

総点数293点

文書番号	貸出先	貸出展示等名称	貸出期間	資料名	点数
J04-01	大阪府立弥生文化博物館 (移動記録)	弥生文化博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	新家：1, 瓜生堂：2, 巨摩：6, 山賀：6, 亀井北：1, 亀井：26, 田山：47, 西大路：5, 脇浜：12, 貝掛：9	実物115
J04-02	大阪府立近つ飛鳥博物館 (移動記録)	近つ飛鳥博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	久宝寺：6, 美園：6, 小阪：40, 日置荘：2	実物54
J04-03	大阪府教育委員会 文化財保護課	泉北考古資料館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	伏尾：家形埴輪1, 野々井西：弥生土器4/石器11/全景写真1, 陶邑関連パネル4	実物16 写真5
J04-04	和泉市教育委員会	和泉市いずみの国歴史館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	福瀬：墨書皿(寺)1/木製弓2/下駄2/鉋台1/桶底板1/椀1/雁股式有茎鏝1/小刀1, 仏並：縄文土器(鉢)1/縄文土器(深鉢)1/土面レプリカ1/パネル2, 池田寺：縄文土器(深鉢)1/文字瓦(池田・堂)2	実物16 パネル2
J04-05	諏訪市教育委員会 諏訪市博物館	諏訪市博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	亀井：弥生式土器1	実物1
J04-06	泉佐野市立歴史館 いずみさの	歴史館いずみさの 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	日置荘：青磁碗2/土師器小皿6/鉄瓶1	実物9
J04-07	大阪府富田林土木事務所	狭山池博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	城山：韓式土器5, 日置荘：青磁碗1	実物6
J04-08	美原町教育委員会	人・夢・創造の交流館(仮称) 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	真福寺：梵鐘鑄造遺構切り取り1	実物1
J04-09	吹田市立博物館	吹田市立博物館 常設展示	H14. 4. 1 ~ H15. 3. 31	吹田操車場：須恵器大型甕1	実物1
J04-10	美原町教育委員会	美原町立みはら歴史博物館 常設展示	H15. 1. 20 ~ H15. 3. 31	福寺：梵鐘鑄型等8/鑄型(外型)用途不明1/鑄型(外型)磬1/瓦器椀2/東播系こね鉢1/土師器羽釜1/鑄型(外型)鍋2/溶解炉1/轆羽口2/鑄型(外型)コップ型1, 円面硯1, 余部：磬鑄型2/釜鑄型1, 太井：轆羽口2/統一新羅印花文陶器1/延喜通寶3/埴塙19/轆羽口11/須恵器高杯1/丸靱1, さば山古墳：円筒埴輪2/朝顔形埴輪2, 丹上：巡方1	実物67

番号	貸出先	展示等名称	期間	資料名	点数
M04-01	府立 近つ飛鳥博物館	平成16年度 春季特別展	H16.4.8 ~ H16.6月 末頃	大坂城:海獣葡萄鏡 1/蔓草鳳麟 鏡 1/水晶玉 1/隆平永宝一括	3
M04-02	日本民家集落 博物館	カルチュアはつと り企画展示 道具 「はかる-どりよ うりょうこう-」	H16.4.12 ~ H16.5月 末頃	城山:和銅開珎, 大坂城跡:丁銀/ 尺度	3
M04-03	柏原市立 歴史資料館	平成16年度 夏季企画展 「大和川を掘る」	H16.7.7 ~ H16.9.3	亀井.NR3001 出土弥生時代後期 遺物 12/小型ぼう製鏡 1, 小阪 合:土師器 2/須恵器 5/墨書土器 5/カ帯 1/和銅開珎 28, 佐堂:隆 平永宝 1/瓦器椀 2/墨書土器 6/ 須恵器 1/土師器 6	70
			H16.5.20 ~ H16.7.7	亀井.NR3001 全景/小型ぼう製 鏡, 小阪合:和銅開珎/和銅開珎 出土状況, 佐堂:B トレンチ右岸 堤防基礎杭列/F トレンチ護岸杭 列, 池島福万寺:第3-3面Cトレ ンチ全景 全てカラー	8
M04-04	日本民家集落 博物館	カルチュアはつと り企画展示 道具「いのり・ いのり・ねがい・ おもう-」	H16.5月 ~ H16.7月 末頃	金剛寺:土師器 1, 向出:石棒 1, 池島福万寺:玉類一括, 河原城: 子持勾玉 1/溝咋:滑石製模造品 (勾玉)2/滑石製未製品 4, 伽羅 橋:土製小地藏菩薩 1, 讃良郡条 里:絵馬レプリカ 2/人形・斎串 レプリカ 13/墨書人面土器 12, 大坂城跡:最古の絵馬レプリカ 1	39
			H16.5月 ~ H16.7月 末頃	三田古墳:土玉カラー, 向出:石棒 カラー, 亀川:滑石製模造品集合写真 カラー, 讃良郡条里:絵馬カラー-2/墨書 人面土器集合写真カラー, 大坂城 跡:最古の絵馬 1	7
M04-05	発掘された日本 列島展 実行委員会	発掘された日本列 島 2004-新発見考 古速報展-	H16.5.17 ~ H17.3.4	大坂城跡:金箔押し巴文軒丸瓦 1/金箔押し菊丸瓦 1/金箔押し方 形飾り瓦 2/金箔押し鯉瓦 1/大 型菊文飾り瓦 1/桐文滴水瓦 1/ 梵字刻書瓦 1/陶磁器 1/祈祷札 1/羽子板 1/船形木製品 1/数珠 1/銭貨 6	19
M04-06	東大阪市 埋蔵文化財 センター	展示室 「発掘速報展」	H16.7.23 ~ H16.9.1	久宝寺:土偶 3	3
M04-07	M・Cみはら (美原 歴史博物館)	平成16年度夏季 企画展「古代人の 建築技術」	H16.7.21 ~ H16.9.17	日置荘:須恵器甕 1/当て具・叩 き板 3, 大坂城跡:金箔軒丸瓦 2/ 金箔軒平瓦 2, 亀井:鉄斧 2	10
			H16.7.21 ~ H16.9.17	池上曾根:石斧装着状態の柄, 日 置荘:須恵器甕/当て具・叩き板 集合/埴輪の窯跡/須恵器の窯 跡, 大坂城跡:金箔軒丸瓦・金箔 軒平瓦集合, 亀井:鉄斧 2	9
M04-08	東大阪市立 郷土博物館	平成16年度特別 展「生駒西麓の王 と水」	H16.10.11 ~ H16.12.20	池島福万寺:弥生土器 4/弥生時 代後期の水田と堰(パネル)	5
			H16.8.2 ~ H16.10.26	池島福万寺:堰の検出状況/導水 管検出状況	2

M04-09	池田市立 歴史民俗資料館	平成 16 年度特別展「すすみて百兵を辟け-古墳時代対国外的軍事組織の編成-」	H16. 10. 6 ~ H16. 12. 15	蛸池東:土器(掘立柱建物1・3)	4
			H16. 10. 6 ~ H16. 12. 15	蛸池東:土器集合/掘立柱建物1・3	3
M04-10	尼崎市立 田能資料館	第34回特別展「変わりゆく弥生社会」	H16. 8. 24 ~ H16. 11. 4	亀井:板状鉄斧1/銅鐸片2/弥生土器片8/小型ぼう製鏡1/貨泉1, 久宝寺:袋状鉄斧1/鉄鎌1, 上フジ:小銅鐸1, 溝咋:小型ぼう製鏡1, 西大井:直弧文板1, 新家:団扇柄1, 巨摩:貨泉1, 田井中:珠文鏡	21
M04-11	大阪歴史博物館	特集展示「新発見!なにわの考古学2004」	H16. 8. 2 ~ H16. 10. 8	大坂城跡:須恵器漆壺8/重圏文軒丸瓦2/重圏文軒平瓦1/蓮華文軒丸瓦1/唐草文軒平瓦1/金箔巴文軒丸瓦2/金箔違い釘抜き文飾瓦1/桐文飾瓦1/桐文水切瓦1/金箔唐草文軒丸瓦1/唐津8/瀬戸美濃7/伊賀・信楽1/李朝碗1/傘1 陶磁器1/祈禱札1/羽子板1/船形木製品1/数珠1/銭貨6	39
			H16. 7. 22 ~ H16. 8. 31	大坂城跡:調査地全景/掘り出された堀/堀の断面写真/堀から出土した陶磁器/切り落とされた首/「管平右衛門」木簡, 難波宮:難波宮と古代の谷/柱列と護岸杭列/漆を運んだ容器/谷から出土した重要な木簡/出土した重要な絵馬	11
M04-12	大阪歴史博物館 北九州市立自然史・歴史博物館	特別展 難波宮跡発掘五十周年記念「古代都市誕生-飛鳥時代の仏教と国づくり-」	H16. 10. 13 ~ H17. 3. 10	前期難波宮内裏北西部:木簡「戊申年」/「支多比」/「伊加比」/漆壺	4
			H16. 10. 13 ~ H17. 3. 10	前期難波宮内裏北西部:木簡「戊申年」カテ・赤外線/「支多比」カテ「伊加比」赤外線/漆壺集合	6
M04-13	府立 近つ飛鳥博物館	平成 16 年度特別展「今来才伎-古墳・飛鳥の渡来人-」	H16. 9. 28 ~ H16. 12. 14	大庭寺:須恵器11/須恵質当て具2/韓式系平底鉢1, 小阪:須恵器1/土師器4/韓式系平底鉢2	21
			H16. 9. 28 ~ H16. 12. 14	TG232 号窯灰原/灰原の細部の状況/谷から出土した初期須恵器/川から出土した初期須恵器/小阪遺跡調査区全景/小阪遺跡河川内出土土器	6
M04-14	歴史館 いずみさの	平成 16 年特別展「和泉地域における縄文文化」	H16. 10 月中旬 ~ H16. 12 月初旬	仏並:土面1, 向出:縄文土器(宮滝式)8/縄文土器(滋賀里I式)8/縄文土器(宮滝式)1/縄文土器(宮滝式併行)2/縄文土器(滋賀里I式併行)2/石鏃12/石錐8/小玉1/大型石棒2/石刀4/石棒・石刀8, 山ノ内:縄文土器1/石器材(接合資料)13/石鏃28/叩き石9	108

M04-15	大谷女子大学 博物館	「考古学の語る 中世墓地物語」	H16.10 初 旬 ~ H16.12.20	総持寺:土壙墓 23660 烏帽子・刀 一括/土壙墓 23664 烏帽子・刀 一括/土壙墓 23783 烏帽子・刀 一括	3
M04-16	埋蔵文化財 研究会	第 53 回埋蔵文化 財研究集会「弥生 中期の併行関係」	H16.9.1 ~ H16.9.15	瓜生堂:弥生土器 21	21
M04-17	文化庁	ドイツ連邦共和国 開催婦国展「日本 の考古-燭光の時 代-」(仮称)	H17.4.1 ~ H17.6.10	巨摩:碧玉製耳飾 2, 大庭寺:須恵 器 6/須恵質船形土器 1	9
M04-18	堺市博物館	平成 16 年度企画 展「邪馬台国時代 の堺」	H17.1 月 下旬 ~ H17.4.15	下田:環形付木製品 1/刀形把頭 1/木製短甲 1/刀形木製品 1/劍 形木製品 1/船形木製品 1/琴 1/ 四方ころびの箱 4/腰掛 1/四区 画袈裟襷文銅鐸 1	13
M04-19	茨城県立歴史館	開館 30 周年記念 特別展「戦国大名 常陸佐竹氏」	H17.1.18 ~ H17.3.31	大坂城跡:「扇に月丸紋」軒丸瓦 6/「さ竹内」木簡 1	7
M04-20	徳島市立 考古資料館	特別企画展「古墳 時代の渡来文化～ 受容と展開～」	H17.2.4 ~ H17.4.7	大庭寺:須恵器 15	15
			許可後 すぐ ~ H17.2.10	TG232 号窯灰原/出土土器/借用 資料と検出遺構及び関連資料 no 実測図など	2
M04-21	滋賀県立安土城 考古博物館	平成 17 年度春季 特別展「王権と木 製威信具」	H17.4.4 ~ H17.6.24	下田:木甲 1, 池島・福万寺:彩色 高杯(復元模型)1, 巨摩:台付容 器, 瓜生堂:杓子	4
			承諾日 から ~ H17.4.29	下田:木甲カケ, 池島・福万寺:彩 色高杯カケ/彩色高杯(復元模型) カケ, 巨摩:台付容器カケ, 瓜生堂: 杓子カケ	5
M04-22	橿原考古学研 究所附属博物館	春季特別展「ムラ の変貌-弥生後期 の大和とその周辺 -」	H17.4.4 ~ H17.6.30	池島福万寺:鏡 3/鑄型 5, 上フ ジ:小銅鐸 1, 亀井:貨泉 1/貨泉 に伴った土器 8/ぼう製鏡 1/銅 鏃 5/銅鐸片 1/板状鉄斧 1/彩色 高杯 1/生駒西麓土器 1/彩色壺 1/希代/長頸壺 1/甕 2, 久宝寺: 袋状鉄斧 1/鉄鎌 1/SD70 出土土 器 3, 巨摩:貨泉 1/銅鏃 1/ガラ ス勾玉 1/ガラス小玉一式, 城 山:SB1001 出土土器 6, 田井中: ぼう製鏡 1, 溝咋:銅釧 1, 瓜生 堂:甕 1	51
			H17.2.22 ~ H17.5.20	池島福万寺:内行花文鏡/方格規 矩鏡/画文帯同向式神獸鏡/鑄 型, 上フジ:小銅鐸, 亀井:貨泉/ ぼう製鏡/銅鏃/銅鐸片/板状鉄 斧/袋状鉄斧/彩色高杯/たがね/ 分銅形土製品/彩色高杯/彩色壺 /高杯/器台, 久宝寺:袋状鉄斧・ 鉄鎌, 巨摩:貨泉/銅鏃/ガラス 玉, 溝咋:銅釧, 亀井:亀井遺跡全 景, 城山:SB1001	25
M04-23	吹田市立博物館	春季「ふしぎ探検 足とはきもの」	H17.4.13 ~ H17.6.17	友井東:大足 1, 亀井:下駄 1, 大 坂城跡:下駄 6/下駄集合写真 1	9
M04-24	府立近つ飛鳥博 物館	平成 17 年 春季特別展	H17.4.7 ~ H17.6.30	下田:琴 1, 溝咋:琴(筑状木製 品)1, はさみ山:土製仮面 2	4

番号	貸出先	申請年月日	使用目的	資料名	内訳	点数
P04-01	株式会社 日本映像教育社	H16. 3.	放送大学授業番組「考古学と歴史」(担当講師:白石太郎)	大庭寺:初期須恵器	カラー×1	1
P04-02	株式会社 学習研究社	H16. 4. 2	『歴史群像』 No. 65 新発見、大坂城の防御施設	大坂城跡:堀障子/堀底のトコ様の遺構/埋め戻しの状況(土層断面写真)	カラー×3	3
P04-04	金沢市 市史編さん室	H16. 4. 12	『金沢市史』通史編1	カマドの使用模式図	図版×1	1
P04-04	美原町 教育委員会	H16. 4. 1	平成16年春季特別展 図録	日置荘:人物埴輪, 久宝寺:準構造船(複製品)	カラー×2	2
P04-05	株式会社 新人物往来社	H16. 4. 19	『月刊歴史読本』2004年8月号	伽羅橋:中世遺物群の集合	モノクロ×1	1
P04-06	ライス・エンゲル ホルヌ考古学民族学博物館	H16. 5. 7	『日本の考古学』「連続と変革」	久宝寺:井戸出土の土器群	カラー×1	1
P04-07	有限会社コーベ ット・フォトエ ージェンシー	H16. 5. 11	『新編ビジュアル日本史』(仮称)(高校生向け教科書副読本)	巨摩:管玉(玉類集合)	カラー×1	1
P04-08	株式会社 小学館	H16. 5. 20	『考古資料大観』第10巻 弥生・古墳時代遺跡・遺構	城山:SB1001C/出土土器 C, 池島福万寺:水田 C, 八尾南:周堤をもつ住居, 美園:北側周濠/高殿形埴輪, 山賀:釜出土状況, 尺度:方形区画溝内部全景, 若江北:河内平野最古の掘立柱建物, 久宝寺:道路状遺構, 下田:銅鐸出土状況, 田須谷古墳:須恵器・土師器一括/刀子・鉄釘一括	カラー×4 モノクロ×11	15
P04-09	乗岡貞男	H16. 5. 23	集会で吹田操車場遺跡を紹介し、紹介文の添付資料とするため	吹田操車場:平安時代後期水田/古墳時代後期/古墳時代後期の溝/溝完掘状況(古代)/土師器羽釜出土状況(鎌倉)/須恵器大甕出土状況(古墳後期)/土坑から出土した大甕(古墳後期)/井戸1完掘状況(鎌倉後期)/土坑群(飛鳥〜奈良)/須恵器出土状況(飛鳥)/土壙墓群(古墳後期)/掘立柱建物群/現地説明会風景/地形図/吹田操車場周辺の遺跡	転載	15
P04-10	株式会社 ジャパン通信 情報センター	H16. 5. 17	『'04・速報展』増刊号	大坂城跡:金箔巴文軒丸瓦/金箔菊丸瓦/桐文滴水瓦/金箔鯉瓦/金箔違い釘抜き文飾り瓦/金箔剣花菱文飾り瓦	転載	6
P04-11	鶴ヶ島市 教育委員会	H16. 5. 25	「雨乞特別展」展示資料	八尾南:「龍」を描いた土器/排水溝から出土した絵画土器/土器に描かれた「龍」の図版	カラー×2 図版×1	3
P04-12	有限会社 新創社	H16. 6. 15	『ワイド版歴史資料集』(中学生歴史授業用副教材)	巨摩・亀井:貨泉集合	カラー×1	1
P04-14	株式会社 山川出版社	H16. 6. 25	『歴博フォーラム王の墓と奉仕する人々』(講演会の記録集)	美園古墳:壺形埴輪	モノクロ×1	1
P04-14	株式会社 山川出版社	H16. 7. 6	『歴博フォーラム王の墓と奉仕する人々』(講演会の記録集)	美園古墳:家形埴輪 外観/ベッド状施設	カラー×2	2

P04-15	財団法人 交野市文化財事業団	H16. 7. 6	『広報かたの 8月号』	第二京阪道路予定地を上空から眺めた様子, 上の山:調査地全景, 上私部:調査地全景/古墳時代後期堅穴住居跡, 有池:方形に区切られた中世の屋敷地, 東倉治:出土した弥生土器	カラー×6	6
P04-16	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	H16. 8. 12	『新編ビジュアル日本史』(仮称)(高校生向け教科書副読本)	難波宮:「戊申年」銘木簡	カラー×1	1
P04-17	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	H16. 8. 23	『新編ビジュアル日本史』(仮称)(高校生向け教科書副読本)	亀井:一木鋤	カラー×1	1
P04-18	静岡市教育委員会	H16. 8. 24	登呂博物館第32回特別展「古代建物のまつり-階(きざはし)にみられる人々の祈り-」展示パネル・図録	美園古墳:家形埴輪, 尺度:遺跡全景写真(西から)	カラー×2	2
P04-19	大阪の部落史委員会	H16. 8. 26	大阪の部落史委員会編『大阪の部落史』第1巻(史料編考古・古代・中世・近世I)	城山:奈良〜平安時代遺構面 SD0502 内馬骨出土状況/ウマの頭骨×3	カラー×1 モノクロ×3	4
P04-20	近つ飛鳥博物館	H16. 8. 24	平成16年秋季特別展図録	大庭寺:TG232号窯灰原/灰原の細部の状況/谷から出土した初期須恵器/川から出土した初期須恵器, 小阪:調査区全景/河川内出土土器	カラー×6	6
P04-21	泉佐野市教育委員会	H16. 9. 4	平成16年秋季特別展図録	向出:立ったまま出土した石棒/上空から見た向出遺跡/配石/深鉢が入った土坑/宮滝式土器/滋賀里式土器/土坑1103出土 小玉/立石土坑359/配石土坑802/配石土坑802, 仏並:堅穴住居/埋甕, 山ノ内:深鉢/石器材	カラー×12 モノクロ×2	14
P04-22	有限会社コーベット・フォトエージェンシー	H16. 9. 8	『新編ビジュアル日本史』(仮称)(高校生向け教科書副読本)	池上曾根:石斧三種の着柄状況	カラー×1	1
P04-24	千葉県立房総のむら	H16. 9. 10	企画展示「竹ながいともだち」	山賀:うけ出土状況	モノクロ×1	1
P03-24	守山市史編さん室	H16. 9. 17	「守山市史」	久宝寺:準構造船船材復元	カラー×1	1
P04-25	きしわだ自然資料館	H16. 9. 24	平成16年特別展図録「ためイケと生きる」	上フジ:カラーポジ, 小田:カラープリント, 二俣池:カラーポジ, 航空写真:モノクロ, 二俣池:航空写真カラープリント	カラー×5 モノクロ×5	10
P04-26	株式会社 海潮社	H16. 9. 22	京葉銀行発行『ちば魚〜きんぐ』	下田:飯蛸壺集合	モノクロ×1	1
P04-27	財団法人 大阪市文化財協会	H16. 9. 22	『葦火』	難波宮跡:難波宮跡と古代の谷航空写真	カラー×1	1
P04-28	郷土史六萬寺編集委員会	H16. 9. 24	『郷土史・六萬寺』	山賀:堰検出状況/弥生時代前期水田 農耕具跡, 池島福万寺:弥生時代後期水田面/木製導水管	モノクロ×4	4
P04-29	秋田市史編さん室	H16. 9. 24	『秋田市史 第18号』	大坂城跡:佐竹氏家紋瓦(扇に月丸紋軒丸瓦)	転載	1
P04-30	株式会社 岩波書店	H16. 9. 30	『弥生文明と南インド』大野晋著	史跡池上曾根:平織の布	モノクロ×1	1
P04-31	和泉市教育委員会 市史担当	H16. 10. 6	和泉市史本編『和泉市の歴史1 横山と槇尾山の歴史』	仏並:縄文土器 深鉢3/土面1	モノクロ×4	4

P04-32	財団法人 大阪 市文化財協会	H16. 10. 25	歴史シンポジウム「この 地で歴史が動いた」 ―大化の改新と難波宮 ― 難波宮発掘50周年 ―	難波宮:1号木簡「戊申年」カラーポジ/1 号木簡「戊申年」赤外線写真, 11号木簡 「秦人凡国評」カラーポジ/11号木簡「秦 人凡国評」赤外線写真, 漆壺集合写真	カラー×4 モノクロ×3	7
P04-33	瀬戸市歴史民俗 資料館	H16. 11. 10	常設展「瀬戸の歩み」 図録	日置荘:青磁碗(龍泉窯系)	カラー×1	1
P04-34	原子力発電環境 整備機構	H16. 11. 10	高レベル放射能廃棄 物(地層処分)への理 解促進を図る季刊広 報紙『NUMO-NO TE』	下田:銅鐸出土状況	カラー×1	1
P04-35	近つ飛鳥博物館	H16. 11. 17	平成16年冬季企画展 「一須賀古墳群の調 査-D・E・F・J・ K・L」の展示パネ ル・展示図録	一須賀古墳群:L支群3・4号墳/K支群 11号墳	カラー×14シー ト モノ クロ×3冊	17
P04-36	日本考古学協会	H16. 11. 19	『日本考古学年報』56 号	大坂城跡:三の丸遺構南半部	モノクロ×1	1
P04-37	有限会社 ヴュー 企画	H16. 11. 25	ビデオ『日本の古代』 解説冊子「遺跡めぐり ガイド」	日置荘:叩き板・当て具集合写真	モノクロ×1	1
P04-38	吹田操車場遺 跡・明和池遺跡の 保存と活用を考 える市民の会	H16. 11. 27	第34回文化財保存全 国協議会『八王子大会 報告集』(機関誌 明 日への文化財特集号)	吹田操車場:吹田操車場遺跡の試掘調査 (文)/地形図/吹田操車場周辺の遺跡	転載	3
P04-39	堺市博物館	H16. 12. 2	平成16年度企画展 「邪馬台国時代の堺 のリーフレット	下田:環形付木製品/木製短甲/四方ころ びの箱/腰掛(両面)	カラー×5	5
P04-40	神戸市立博物館	H16. 12. 1	発掘された日本列島 2004開催に伴う子ど も向けワークシート 「土の中からのメッ セージ」・ホームペー ジ	大坂城跡:金箔巴文軒丸瓦/金箔菊丸瓦/ 大阪城の航空写真	カラー×3	3
P04-41	茨城県立歴史館	H16. 12. 2	開館30周年記念特別 展「戦国大名常陸佐竹 氏」展示図録	大坂城跡:「扇に月丸紋」軒丸瓦4点集合 /「扇に月丸紋」軒丸瓦単品/「扇に月丸 紋」軒丸瓦単品/「さ竹内」木簡	カラー×4	4
P04-42	株式会社 岩波 書店 新書編集 部	H16. 12. 10	岩波新書『環境考古学 への招待-発掘からわ かる食・トイレ・戦争 -』	城山:ウマの頭部/ウマの骨(松井 章氏 撮影)	モノクロ×2	2
P04-43	美原町	H16. 12. 22	『2005年 美原町閉 庁記念誌』	約2万年前の石の道具、約1万年前の石 の投槍の先, 太井:7世紀の新羅で作られ た陶器/和銅開珎/鑄造工房 H-2, 鑄造工 房 H-3(東から), 真福寺:真福寺遺跡の 瓦窯で作られた屋根瓦/IV 調査区鑄型出 土状況/IV 調査区出土鑄型, 日置荘:空か ら見た城郭	カラー×8	8
P04-44	堺都市政策 研究所	H16. 12. 28	機関誌『Urban』	黒姫山古墳:全景, 日置荘:城郭全景, 太 井:和銅開珎/鑄造関連遺構, 真福寺:鑄造 関連遺構/梵鐘鑄造土坑	カラー×6	6
P04-45	小学館	H17. 1. 17	図録『曙光-ドイツで 開催された日本考古 展(仮題)』	大庭寺:須恵器集合/船形土器/大甕, 巨 摩:碧玉製耳飾り	カラー×4	4
P04-46	中央公論新社	H17. 1. 24	改版『日本の歴史』1 巻	四ツ池:石庖丁	モノクロ×1	1

P04-47	堺市埋蔵文化財センター	H17. 2. 21	堺市埋蔵文化財センター ホームページ	下田:銅鐸/環形付木製品/下田遺跡遠景イラスト	カラー×3	3
P04-48	兵庫県教育委員会埋蔵文化財調査事務所	H17. 3. 1	『待兼山考古学論集』上田健太郎氏「近畿地方における直線刃半月形石庖丁の成立」	田井中:石庖丁 3, 巨摩・若江北:石庖丁 1, 池島福万寺:石庖丁 5, 亀井:石庖丁 2, 西方における直線刃半月形石庖丁の成立」大井:石庖丁 1, 山賀:石庖丁 1, 志紀:石庖丁 1	図×14	14
P04-49	思文閣出版	H17. 3. 7.	『周縁文化と身分制』「考古学から見た動物と関わった人々」(松井章氏)	近畿自動車道の発掘, 城山:馬骨出土状況	モノクロ×2	2
P04-50	府立池島高等学校	H17. 3. 14	学校内 玄関ホール等における「パネル展示コーナー」	池島・福万寺遺跡ってなあに? (リーフレット)	内容×7	7
P04-51	高槻市教育委員会	H17. 3. 30	高槻市広報番組「情報BOX ワイドたかつき」内のコーナー「大王の国から」	阿武山古墳出土 大織冠(復元模型)、玉枕(復元模型)	カラー×2	-

## b. 映画の貸出上映

外部の機関への貸出はなかったが、平成16年5月11日、堺市晴美台小学校、福岡普及部長の出前授業で「甦る手工業集団～陶邑と河内鋳物師～」を上映した。

また、平成16年12月18日、「郷土の文化財を見学する会」第8回例会バスツアーにて、見学先へ向かうバス内にて、「佐保栗栖山砦跡中世墓群の発掘調査～戦国時代のとりでと村人の墓～」を上映した。

## (3) 図書の出版・販売

### ① 図書の出版

平成16年度は、下記の図書を出版した。

- (1) 史跡 池上曾根99
- (2) 小阪合遺跡 (その2)
- (3) 讃良郡条里遺跡 (その3)
- (4) 高宮遺跡 - 遺構編 -
- (5) 瓜生堂遺跡 I
- (6) 久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書 VI
- (7) 総持寺遺跡 II
- (8) 東雲遺跡隣接地
- (9) 岩田遺跡
- (10) 津田遺跡・東倉治遺跡・茄子作遺跡 他
- (11) 東倉治遺跡 I
- (12) 小路遺跡 (その2)
- (13) 寝屋東遺跡 I
- (14) 池島・福万寺遺跡発掘調査概要 X X X
- (15) 船橋遺跡 II
- (16) 大尾遺跡 II

- (17) 太秦遺跡・太秦古墳群 I
- (18) 男里遺跡
- (19) 船橋遺跡Ⅲ
- (20) 寝屋東遺跡Ⅱ
- (21) 太秦遺跡・太秦古墳群 大尾遺跡 高宮遺跡
- (22) 平成16年度 文化財講座資料集『日本の海外考古学調査part2』
- (23) 大阪府埋蔵文化財研究会（第49回）資料
- (24) 大阪府埋蔵文化財研究会（第50回）資料
- (25) 2004年度 （財）大阪府文化財センター・日本民家集落博物館共同研究発表会  
『住居に関する総合的研究（3）』
- (26) 2004年度 （財）大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会  
『古墳出土金工製品の日韓比較研究』
- (27) 2004年度 （財）大阪府文化財センター・弥生文化博物館共同研究発表会  
『東海の弥生文化』
- (28) 財団法人大阪府文化財センター・日本民家集落博物館・大阪府立弥生文化博物館・大阪府立  
近つ飛鳥博物館 2003年度共同研究成果報告書
- (29) 大阪文化財研究 第26号
- (30) 大阪文化財研究 第27号
- (31) 年報 平成15年度
- (32) 民家集落ふるさとだより 第24号
- (33) 民家集落ふるさとだより 第25号
- (34) O C C H No. 28
- (35) O C C H No. 29
- (36) O C C H No. 30
- (37) カルチュアはっとり No. 4 考古学と模型（もけい）
- (38) カルチュアはっとり No. 5 山に生きる人々
- (39) カルチュアはっとり No. 6 ここまでわかった考古学  
古墳時代の池島・福万寺遺跡
- (40) ここまでわかった考古学 瓜生堂遺跡の最新研究
- (41) ここまでわかった考古学 久宝寺遺跡の最新成果
- (42) 久宝寺遺跡発掘調査成果
- (43) シンポジウム「難波宮」、「大阪城」 「難波宮」—宮城北辺をさぐる— 発表要旨
- (44) シンポジウム「難波宮」、「大坂城」 「大坂城」—秀吉の大坂城縄張りをさぐる—  
発表要旨
- (45) 日本民家集落博物館（絵葉書）
- (46) 陶器南遺跡発掘調査概要Ⅸ（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (47) 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報7（大阪府教育委員会刊の増刷）
- (48) 高槻城跡（大阪府教育委員会刊の増刷）

- (49) 男里遺跡発掘調査概要Ⅷ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (50) 学園町遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (51) 加納古墳群・平石古墳群発掘調査概要Ⅲ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (52) 中畑遺跡発掘調査概要 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (53) 高安古墳群発掘調査概要 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (54) 葎屋北遺跡発掘調査概要Ⅰ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (55) 木の本遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (56) 堺環濠都市遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (57) 葎屋北遺跡発掘調査概要Ⅱ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (58) 深井清水町C遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (59) 大阪府教育委員会文化財調査事務所年報8 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (60) 陶器千塚・陶器遺跡発掘調査概要 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (61) 安松田遺跡 (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (62) 加納古墳群・平石古墳群発掘調査概要Ⅳ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (63) 招堤中町遺跡Ⅱ (大阪府教育委員会刊の増刷)
- (64) 若江北・亀井・長原(城山遺跡) (大阪府教育委員会刊の増刷)

## ② 図書の販売

平成16年度は、次のとおり販売した。

販売総数 3,627冊                      販売金額 3,616,255円(税抜)

## (4) 出版物の寄贈・配付

研究機関、行政機関等に対して当センターの刊行図書を寄贈配付した。

## F. 文化財広報事業

### (1) ニュースレター(OCCH)の発行

平成16年度は下記のとおり刊行した。

No. 28(平成16年7月31日)

No. 29(平成16年11月30日)

No. 30(平成17年3月31日)

### (2) 年報の編集と発行

平成15年度の年報を発行し、関係団体に送付した。

## G. 文化財記録保存事業

### (1) 映画の制作

3ヵ年計画で制作していた久宝寺遺跡の映画撮影をおこない、映画を完成させた。

1. 『河内平野における古墳の出現－久宝寺遺跡の発掘調査』（約13分）

平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金による事業として、2本の映画を撮影・制作した。

1. 『河内馬飼いの里－讃良郡条里遺跡の発掘調査』（約12分）

2. 『弥生時代の住まい－八尾南遺跡の発掘調査』（約12分）

### (2) DVDビデオの制作

シンポジウム・文化財講座・講演会のビデオ撮影をおこない、DVDを制作した。

1. 『難波宮と大坂城－発掘調査とシンポジウムの記録－』

シンポジウム「難波宮」, 「大坂城」における水野理事長および当センター2職員の講演・発言箇所等を収録。(2枚組・約2時間)

2. 『久宝寺遺跡に最古の土師器を探る』

2004年10月17日(日)実施の『久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅵ』刊行記念講演会(講師:池島支所班長・西村 歩)の記録。(約1時間)

3. 『カンボジア アンコール遺跡群の最新情報』

文化財講座第2回(講師:杉山 洋)の記録。(約1時間)

4. 『中国河南省鞏義市黄冶 唐三彩窯跡の発掘調査』

文化財講座第5回(講師:巽 淳一郎)の記録。(約1時間)

5. 『「もう一つの蒙古襲来」を検証する－ロシア サハリン白土城を探る－』

文化財講座第6回(講師:前川 要)の記録。(約1時間)

6. 『ナイルから地中海へ－地方都市アコリスの軌跡－』

文化財講座第7回(講師:辻村純代)の記録。(約1時間)

7. 『シリア パルミラ遺跡の調査』

文化財講座第8回(講師:西藤清秀)の記録。(約1時間)

8. 『ローマ帝政期の二つの別荘 Villa Romana a CazzanelloとVilla della Augustusnoの調査を中心に』

文化財講座第9回(講師:中西靖人)の記録。(約1時間)

9. 『イスラエル国 テル・ゼロールからエン・ゲヴへ』

文化財講座第10回(講師:置田雅昭)の記録。(約1時間)

上記のうち、1・2・4・5は平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## 5. 研修、研究会等

### A. 研修及び研究助成

#### (1) 調査部研修

平成16年度 調査部研修一覧

	実施年月日	研 修 内 容	講 師 等
1	平成16年5月26日(水)	文化財行政をめぐる最近の話題	大阪府教育委員会 文化財保護課調査管理補佐 瀬川 健
2	平成16年6月2日(水)	安全運転講習会	泉北警察署 ニッセイ同和損害保険株式 会社・フェニックスリスク 総合研究株式会社
3	平成16年7月28日(水)	写真技術講習会	茶谷 茂・ 富士写真フィルム株式会社
4	平成16年9月1日(水)	現場における事故防止対策 指定管理者制度について	設計係長 山口和男 調整課長 赤木克視
5	平成16年10月6日(水)	人権研修	大阪府教育センター 主任指導主事 橋本幸一
6	平成16年12月8日(水)	埋蔵文化財行政の現状と課題	文化庁記念物課 埋蔵文化財部門 瀬田佳男
7	平成17年1月19日(水)	今年度調査の報告(その1) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会 中国研修報告	各調査担当者 技師 山元 建
8	平成17年2月16日(水)	今年度調査の報告(その2)	各調査担当者
9	平成17年3月30日(水)	平成17年度事業の概要説明 「ここまでわかった考古学 久宝寺遺 跡の最新成果-河内平野における古墳 出現をさぐる-」見学	調査部長 玉井 功

## (2) 全国埋蔵文化財法人連絡協議会海外研修

2004年12月2日から9日に実施された全国埋文協海外研修には当センターから玉井、渡邊、山元、奥村の4名が参加した。今回の研修は中国の窯業関連遺跡と磁器を中心とする製品の観察をその目的とし、行程は以下の通りである。

12月2日；関西国際空港—杭州国際空港。印山越王墓（紹興）見学。国内線で温州へ。温州泊。3日；温州発。竜泉へ。4日；終日竜泉。5日；竜泉から麗水へ。列車中泊。6日；早朝南昌着。江西省博物館等訪問。午後南昌発、景德鎮へ向う。景德鎮泊。7日；終日景德鎮。8日；景德鎮発。杭州へ。9日；浙江省博物館見学。午後杭州国際空港—関西国際空港。

各地の博物館等で多くの磁器等の展示物を観察しえたことも大きな収穫であったが、館内見学の後各博物館で行われた懇談会もいずれも具体的な質疑応答を通じてお互いの研究の現状、問題意識の差が明らかになり、有意義なものであった。

また今回訪問では中国南部に一般的な傾斜地に築く細長い竜窯を多く見学したが、優品を焼く必要のある官窯などには北方の馬蹄窯が採用されることなど、南北両地域の窯が意外に複雑に交錯する状況を把握できたことも大きかった。

このように今回の研修では、今後窯を始めとした窯業遺跡を見る上での問題意識が格段に広がったことが最大の成果と言えるであろう。

## (3) センター職員研究助成

### 平成16年度研究助成一覧

No.	名 前	個・共	研 究 課 題
H16-1	秋山 浩三	個人	埋蔵文化財発掘・研究・保存活用をめぐる行政内考古技師の煩悶
H16-2	森本 徹(代表) 廣瀬 時習 島崎 久恵 市村 慎太郎	共同	摂河泉地域における古墳時代集落の基礎研究（その2）

## B. 文化財研究事業

### (1) 大阪府埋蔵文化財研究会の実施

#### ① 第49回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「最近の大阪府における弥生時代の集落関連の発掘調査と研究事例」

日 時：平成16年9月18日（土）午前10時00分～午後5時00分

場 所：大阪府教育委員会 文化財調査事務所 1階 講義室

主 催：（財）大阪府文化財センター

大阪府教育委員会

発表

瓜生堂遺跡の調査

（財）大阪府文化財センター

川瀬 貴子 氏

三日市北遺跡の調査

河内長野市教育委員会

太田 宏明 氏

池上曾根遺跡の調査	(財)大阪府文化財センター	土井 孝之 氏
長原遺跡の調査	(財)大阪市文化財協会	大庭 重信 氏
木の本遺跡の調査	大阪府教育委員会	横田 明 氏
鬼虎川遺跡の調査	- 56次・58次調査を中心に -	
	東大阪市教育委員会	井筒美智与 氏・市田 英介 氏
男里遺跡の弥生集落	(財)大阪府文化財センター	中村 淳磯 氏
太秦遺跡の調査	(財)大阪府文化財センター	市本 芳三 氏
池上曾根遺跡からの視角	大阪府教育委員会	三木 弘 氏
		参加者 75名

## ② 第50回大阪府埋蔵文化財研究会

テーマ：「最近の後期、終末期古墳の調査と研究事例」

日時：平成17年3月12日（土）午前9時50分～午後5時00分

場所：大阪歴史博物館4階 講堂

主催：(財)大阪府文化財センター・大阪府教育委員会・(財)大阪市文化財協会

後援：大阪歴史博物館

記念講演

キトラ古墳の発掘調査と壁画保存	独立行政法人 奈良文化財研究所	花谷 浩 氏
河内平野における低地の小古墳	大阪府教育委員会	中井 貞夫 氏
発表		
今城塚古墳の発掘調査成果	高槻市教育委員会	宮崎 康雄 氏
奥山1号墳の調査	(財)大阪府文化財センター	伊藤 武 氏
羽曳野市域の後期・終末期古墳の調査-白髪山古墳(清寧陵古墳)・小口山古墳-		
	羽曳野市教育委員会	河内 一浩 氏
平石谷の古墳群	大阪府教育委員会	榊本 哲 氏
装飾大刀について-大阪歴史博物館蔵資料を中心に-	大阪歴史博物館	加藤 俊吾 氏
お亀石古墳の調査	富田林市教育委員会	中辻 亘 氏
		参加者188名

本事業は、平成16年度文化庁埋蔵文化財保存活用整備事業国庫補助金によるものである。

## (2) 「近畿ブロック埋文研修会」と「近畿ブロック埋文情報」

### ① 近畿ブロック埋文研修会

第10回を数える平成16年度の研修会は、平成16年10月8日（金）、財団法人 八尾市文化財調査研究会が開催担当法人となり、全体テーマ「最新の発掘調査成果、研究成果」のもとに10本の研究発表が行われた。センターから51名が参加した。

### ② 近畿ブロック埋文情報

第33号～第35号が刊行された。

### (3) 第15回考古学国際交流研究会

平成17年2月19日から2月26日の間、韓国から4名の研究者を招聘した。大阪府立博物館3館をはじめ日本民家集落博物館、大阪歴史博物館、奈良県立橿原考古学研究所附属博物館、奈良国立博物館、国立国際美術館等の博物館や平城宮跡などの遺跡、当センターの調査現場を視察するとともに発表会をもち、意見交換などの交流をおこなった。

### (4) 弥生文化・近つ飛鳥・日本民家集落博物館との共同研究

センター部と博物館部各3館と共同研究をおこなった。また、一般向け発表会をおこない、資料集を刊行した。

センター部・日本民家集落博物館 「住居に関する総合的研究3」

一般向け発表会：2005年3月5日（土）13：30～16：00

重要伝統的建造物群保存地区における古民家の再生と活用

－宮崎県椎葉村十根川集落の現状と課題－

椎葉村重要伝統的建造物群保存地区守る会会員

尾前 一日出

古民家再生の記録－快適に住み続けるために－

古民家建築家・株式会社ヤマイチ社長

奥山 淳三

研究会：2005年2月25日

弥生時代における竪穴住居の構造

(財)大阪府文化財センター

岡本 茂史

町並み保存とまちづくりの課題－民家建築がまちに果たす役割－

日本民家集落博物館

小島 久美

センター部・大阪府立弥生文化博物館 「東海の弥生文化」

一般向け発表会：2005年3月27日（日）13：00～16：20

伊勢の弥生集落と流通

三重県埋蔵文化財センター

穂積 裕昌

伊勢湾地域の木製品

(財)愛知県教育サービスセンター愛知県埋蔵文化財センター

樋上 昇

東海の土器と青銅器の地域性

浜松市博物館

鈴木 敏則

大阪湾岸の東海系遺物

(財)大阪府文化財センター

三好 孝一

研究会：

2004年11月26日

大阪湾岸と東海

(財)大阪府文化財センター

三好 孝一

木製品専門工人の出現と展開

～伊勢湾周辺地域における木製品の生産と流通をめぐって～

(財)愛知県教育サービスセンター 愛知県埋蔵文化財センター

樋上 昇

2005年1月28日

伊勢の弥生集落と流通の諸問題

三重県埋蔵文化財センター

穂積 裕昌

土器の地域性と青銅器

浜松市博物館

鈴木 敏則

弥生終末期の畿内における東海系要素

大阪府立弥生文化博物館

山田 隆一

センター部・大阪府立近つ飛鳥博物館

「古墳出土金工製品の日韓比較研究」

一般向け発表会：2005年3月6日（日）13：10～16：30

古墳時代の日韓金工製作技術の交流	(財)元興寺文化財研究所	塚本 敏夫
垂飾付耳飾からみた朝鮮半島の対倭交渉	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	高田 貫太
倭韓の龍文透彫製品の様相	大阪府立近つ飛鳥博物館	小浜 成
日韓の龍鳳文環頭大刀の展開	島根県立松江北高等学校	大谷 晃二
古墳出土の砥石	(財)大阪府文化財センター	鹿野 壘

研究会：

2004年10月15日

古墳時代の日韓金工製作技術の交流	(財)元興寺文化財研究所	塚本 敏夫
------------------	--------------	-------

2004年11月19日

龍文透彫製品から見た日韓比較	大阪府立近つ飛鳥博物館	小浜 成
日韓の龍鳳文環頭大刀をめぐる若干の考察		
島根県立松江北高等学校	大谷晃二	

2004年12月22日

垂飾付耳飾からみた朝鮮半島の対倭交渉	岡山大学埋蔵文化財調査研究センター	高田 貫太
古墳出土の砥石	(財)大阪府文化財センター	鹿野 壘

2005年1月21日

機能から見た金工	大阪府立近つ飛鳥博物館	藤永 正明
日本における馬文化の系譜と展開	同	上林 史郎

2005年2月18日

文献史料にみる渡来系工人と職掌	大阪府立近つ飛鳥博物館	畠井 浩
文献史料から見る古代の日韓関係の整理	同	藤井 雅乗

## 6. 当センターを訪れた海外の研究者等

平成16年7月8日：韓 盛旭 氏（松廣寺博物館）、金 善基 氏（圓光大學校博物館）

8月5日：権 五栄 氏（韓神大學校国史学科）

9月21日：全 玉年 氏（釜山大學校博物館）、申 衡錫 氏（蔚山広域市文化芸術課）

洪 尚順 氏 他2名（蔚山文化放送）

平成17年1月25日～26日：李 映哲澈 氏 他8名（湖南文化財研究院）

2月19日～26日：第15回考古学国際交流研究会

河 真鎬 氏（嶺南文化財研究院）、李 秀鴻 氏（蔚山文化財研究院）、

裴 真晟 氏（国立金海博物館）、李 炫錫 氏（蔚山發展研究院文化財センター）

2月21日～24日：崔 憲燮 氏 他5名（慶南發展研究院歴史文化センター）

2月27日～28日：全 玉年 氏、安 星姫 氏、李 昌熙 氏（釜山大學校博物館）

宋 柱鉉 氏（福泉博物館）、李 海蓮 氏（東三洞貝塚展示館）

3月4日、5日、8日：金 起兌 氏 他4名（畿甸文化財研究院）

## 7. 大阪府立弥生文化博物館事業概要

### (1) 施設の概要

弥生時代の集落遺跡として著名な池上曾根遺跡の一角に、弥生文化の学習・研究センターとして1991(平成3)年2月2日に開館した。常設展示「目で見る弥生文化」では弥生文化を6つのテーマで紹介し、全国の著名な出土品のレプリカや映像などを通じて弥生文化についてわかりやすく学べるようになっている。

### (2) 展示活動

#### a. 常設展示

第一展示室「目で見る弥生文化」・第二展示室「池上曾根ワールド」

#### b. 特別展・企画展等

##### ①春季特別展「弥生のころの北海道」

開催期間 平成16年4月17日(土)～6月20日(日)の56日間 入館者数 17,432人

##### ②秋季特別展「大和王権と渡来人－三・四世紀の倭人社会－」

開催期間 10月5日(火)～12月5日(日)の54日間 入館者数 7,687人

##### ③夏季企画展示「小灘一紀絵画展－日展会員賞受賞記念－」

開催期間 前期 7月17日(土)～8月22日(日)  
後期 8月24日(火)～9月20日(月・祝)計57日間 入館者数 8,163人

##### ④冬季企画展示「船橋遺跡優品展」

開催期間 平成17年1月8日(土)～2月6日(日)の26日間 入館者数 1,375人

##### ⑤冬季企画展・(財)大阪府文化財センター小テーマ展示

「シリーズ ここまでわかった考古学 瓜生堂遺跡の最新研究」  
開催期間 2月19日(土)～3月27日(日)の32日間 入館者数 2,516人

#### c. 講演会等事業

##### ①考古学セミナー等

<春季特別展>

第1回 4月25日(日)「石器からみた続縄文時代の生活」  
岡村道雄(独立行政法人奈良文化財研究所平城宮跡発掘調査部長) 参加者126人

第2回 5月9日(日)「虫歯からみた続縄文人の食生態」  
大島直行(北海道伊達市教育委員会文化財課長) 参加者112人

第3回 6月6日(日)「アイヌ文化の形成と展開」  
佐々木高明(国立民族学博物館名誉教授) 参加者174人

第4回 6月13日(日)「続縄文文化への誘い」  
金関恕(本館館長)・学芸員 参加者134人

<秋季特別展>

- 第1回 10月10日(日)「倭の三韓～三国時代の土器」  
武末純一(福岡大学教授) 参加者248人
- 第2回 10月24日(日)「三・四世紀の日韓鉄事情」  
村上恭通(愛媛大学助教授) 参加者250人
- 第3回 10月31日(日)「三・四世紀の畿内と北部九州」  
白石太郎(大阪府立近つ飛鳥博物館館長・奈良大学教授)  
参加者326人
- 第4回 11月7日(日)「三・四世紀最大の国際港、西新町遺跡」  
重藤輝行(福岡県教育委員会) 参加者177人
- 第5回 11月21日(日)「大和王権と渡来人」  
山尾幸久(立命館大学名誉教授) 参加者429人

<夏季企画展示>

- 第1回 7月17日(土)「名画の中の女性」  
小灘一紀(洋画家) 参加者162人
- 第2回 8月3日(火)「名画をみる眼 I」  
小灘一紀(洋画家)  
「対談・熊谷守一の絵画と現代絵画」  
小灘一紀(洋画家)・真鍋井蛙(大阪府立三国丘高等学校教諭)  
参加者365人
- 第3回 9月12日(日)「名画をみる眼 II」  
小灘一紀(洋画家) 参加者273人

<冬季企画展・(財)大阪府文化財センター小テーマ展示>

調査成果報告会・ミニシンポジウム

- 第1回 2月27日(日)「瓜生堂が問い続けるもの－1970年代から未来へ－」  
福永信雄(東大阪市教育委員会)・川瀬貴子((財)大阪府文化財センター) 参加者109人
- 第2回 3月13日(日)「関連科学が明らかにした瓜生堂遺跡の実像」  
松田順一郎((財)東大阪市文化財協会)・中原計(徳島大学埋蔵文化財調査室)・安部みき子(大阪市立大学大学院医学研究科)・秋山浩三((財)大阪府文化財センター) 参加者123人

講演会

- 3月20日(日)「瓜生堂の炭素14年代と近畿弥生実年代」  
今村峯雄(国立歴史民俗博物館) 参加者180人

②弥生カルチャーフォーラム

- 5月23日(日)「弥生墳丘墓を考える」  
近藤義郎(岡山大学名誉教授) 参加者203人

### ③弥生サイト講座5「大阪発掘情報」

第1回 7月7日(水) 木の本遺跡 横田 明(大阪府教育委員会文化財保護課技師)

参加者42人

第2回 9月8日(水) 久宝寺遺跡 亀井 聡((財)大阪府文化財センター技師)

参加者41人

第3回 12月8日(水) 田井中遺跡 市村慎太郎((財)大阪府文化財センター技師)

参加者39人

第4回 2月23日(水) 八尾南遺跡 岡本茂史((財)大阪府文化財センター班長)

参加者33人

### ④その他の講座

10月17日(日)『久宝寺遺跡・竜華地区発掘調査報告書Ⅵ』刊行記念講演会

「久宝寺遺跡に最古の土師器を探る」

西村 歩((財)大阪府文化財センター班長)

参加者70人

3月27日(日)(財)大阪府文化財センター／大阪府立弥生文化博物館共同研究発表会

「東海の弥生文化」

「伊勢の弥生集落と流通」

穂積 裕昌(三重県埋蔵文化財センター)

「伊勢湾地域の木製品」

樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター)

「東海の土器と青銅器の地域性」

鈴木 敏則(浜松市博物館)

「大阪湾岸の東海系遺物」

三好 孝一((財)大阪府文化財センター)

参加者94人

## (3) 研究活動

(財)大阪府文化財センターとの共同研究「東海の弥生文化」

館外の共同研究員：鈴木敏則(浜松市博物館)

樋上 昇(愛知県埋蔵文化財センター)

穂積裕昌(三重県埋蔵文化財センター)

三好孝一((財)大阪府文化財センター)

## (4) 教育普及活動

①ワークショップ(年間4回実施)

②やよいミュージアムコンサート(公募制・年間7回実施)

③博物館ミニギャラリー(公募制・年間7回実施)

④博物館絵画コンテスト 第10回絵画コンテスト「卑弥呼の時代を描こう」

⑤学校との連携

- ・博物館学実習：14の大学・短大から29人の実習生を受入れ。
- ・大学生インターンシップ：2校から2人の大学生を受入れ。
- ・高校生インターンシップ：4校から20人の高校生を受入れ。
- ・中学生職場体験学習：4校8人の中学2年生を受入れ。

- ・ 出前授業：小学校 3 校に専門員が出向き、授業を実施。
- ・ 手紙やEメールによる小学生からの弥生時代にかんする質問への指導、回答。

## (5) 資料収集活動

- ① 図書購入：考古学関係の雑誌・資料集など243冊を購入。

## (6) 広報出版事業

### a. 広報事業

- ① 常設展リーフレット「日本文化の源流を探る」・「ようこそ池上曾根ワールドへ」
- ② 特別展・企画展ポスター・チラシ・リーフレット
- ③ 「小学生のための見学のしおり」
- ④ 常設展示ワークシート
- ⑤ 常設展示解説シート（7種）
- ⑥ 博物館だより『弥生倶楽部』27号・28号
- ⑦ ミュージアムカレンダー（3ヶ月分のイベントを掲載した行事予定）
- ⑧ インターネットホームページ  
常設展、特別展・企画展および各種のイベント案内をホームページに掲載。
- ⑨ マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

### b. 出版事業

- ① 大阪府立弥生文化博物館図録29『弥生のころの北海道』
- ② 大阪府立弥生文化博物館図録30『大和王権と渡来人－三・四世紀の倭人社会－』
- ③ 『平成15年度 弥生文化博物館要覧』

## (7) 書籍等販売事業

当館において、書籍・アクセサリ等の販売を行った。

## (8) 入館者数

43,962人（平成16年度）

## (9) 平成16年度予算

174,261千円

## 8. 大阪府立近つ飛鳥博物館事業概要

### (1) 施設の概要

古墳時代後期の群集墳「一須賀古墳群」の一角で、1994（平成6）年3月25日にオープン。「日本古代国家の形成と国際交流をさぐる」というメインテーマのもと、古墳時代から飛鳥時代の文化遺産を展示している。

また隣接する史跡公園「近つ飛鳥風土記の丘」では、保存されている102基の古墳のうち、40基を整備・公開している。

### (2) 展示事業

#### a. 常設展示

- ①第1ゾーン：「近つ飛鳥と国際交流」
- ②第2ゾーン：「古代国家の源流」
- ③第3ゾーン：「現代科学と文化遺産」

#### b. 特別展・企画展等

- ①春季特別展：「古墳から奈良時代墳墓へ - 古代律令国家の墓制 -」

期 間 4月20日（火）～6月20日（日）の54日間

入館者 総数 22,384人（内展示室入館者 9,592人）

歴史セミナーの実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
第1回	4月25日（日）	近つ飛鳥博物館館長 白石 太一郎 「古墳時代の終末とその後」	217人
第2回	5月23日（日）	奈良大学教授 東野 治之 「日本古代の墓誌」	133人
第3回	6月6日（日）	富山大学教授 黒崎 直 「古代墳墓の火葬と土葬」	111人

- ②夏季企画展：「旬夏秀陶 関西編 - 府立大阪博物館が集めた近世のやきもの -」

期 間 7月27日（火）～8月29日（日）の30日間

入館者 総数 7,846人（内展示室入館者 3,305人）

歴史セミナーの実施

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
8月3日（日）	大手前大学助教授 岡 佳子 「江戸時代の関西のやきもの」	32人

- ③スポット展示：「南河内の文化財シリーズ2 - 太子町 -」 「近つ飛鳥自叙展1994-2004」

期 間 9月11日（土）～9月26日（日）の14日間

入館者 総数 3,717人（内展示室入館者 1,210人）

④秋季特別展：「今来才伎 -古墳・飛鳥の渡来人-」

期 間 10月5日（火）～12月5日（日）の54日間

入館者 総数 21,227人（内展示室入館者 10,193人）

歴史セミナーの実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
第1回	10月10日（日）	（財）大阪府文化財センター理事長 水野 正好 「今来才伎がもたらしたもの」	183人
第2回	10月17日（日）	近つ飛鳥博物館館長 白石 太一郎 「倭国の文明化と渡来人」	217人
第3回	11月14日（日）	成城大学講師 加藤 謙吉 「東・西漢氏と今来才伎」	181人
第4回	12月5日（日）	京都橋女子大学教授 猪熊 兼勝 「再現・渡来人のファッション」	185人

解説トークの実施

日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
11月7日（日）	（財）大阪市文化財協会 田中 清美 「摂津・河内の渡来人」 （財）大阪府文化財センター 山上 弘 「河内の馬飼」 桜井市教育委員会 橋本 輝彦 「赤尾崩谷古墳群の調査」 近つ飛鳥博物館 上林 史郎 「古墳・飛鳥の渡来人」	83人

⑤冬季企画陳列：「一須賀古墳群の調査 -D・E・F・J・K・L・P支群-」

期 間 1月18日（火）～3月13日（日）の48日間

入館者 総数 9,929人（内展示室入館者 3,028人）

歴史セミナーの実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
第1回	1月30日（日）	近つ飛鳥博物館館長 白石 太一郎 「河内の大型群集墳をめぐって ～高安・平尾山・一須賀古墳群を中心に～」	177人
第2回	2月13日（日）	大阪府教育委員会 中井 貞夫 「一須賀古墳群D支群の調査」	88人
第3回	3月13日（日）	芦屋市教育委員会 森岡 秀人 「群集墳の世界 ～摂津・八十塚古墳群を中心に～」	47人

⑥テーマ展示：（財）大阪府文化財センター 小テーマ展示 ここまでわかった考古学

「久宝寺遺跡の最新成果 -河内平野における古墳出現を探る-」

期 間 3月19日（土）～4月10日（日）の20日間

入館者 総数 8,206人（内展示室入館者 2,260人）

## 調査成果報告会の実施

	日 程	講 師 ・ 演 題	参加者
第 1 回	3月21日 (月・祝)	(財) 大阪市文化財協会 田中 清美 「久宝寺遺跡と加美遺跡の墳墓群について」 (財) 大阪府文化財センター 菊井 佳弥 「古墳出現期の久宝寺遺跡」	137人
第 2 回	4月3日(日)	(財) 大阪府文化財センター 亀井 聡 「久宝寺遺跡の変遷 -石器から鉄道まで-」	72人

### (3) 研究活動

(財) 大阪府文化財センターとの共同研究

館外の共同研究員

塚本敏夫 ((財) 元興寺文化財研究所) 大谷晃二 (島根県立松江北高等学校)

高田貫太 (岡山大学埋蔵文化財調査研究センター) 鹿野 暁 ((財) 大阪府文化財センター)

### (4) 普及啓発事業について

- ① (財) 大阪府文化財センター・近つ飛鳥博物館共同研究発表会 3月6日(日) 68人参加
- ② カルチャーofアスカディア
  - 「磯長谷の終末期古墳と墓誌出土地を歩く」 5月30日(日) 35人参加
  - 「河内の渡来文化を歩く」 11月23日(日) 24人参加
- ③ 一須賀古墳群講座
  - 2月27日(日)「古墳群を歩く」 34人参加
- ④ 体験講座「考古学を楽しむ」
  - 10月23日、11月13日・27日、12月18日、1月22日、2月19日、3月19日の各土曜日 85人参加
- ⑤ 風土記の丘古墳時代まつり
  - 5月5日(水・祝) ウォークラリー・古代衣裳体験・まが玉づくりなど 371人参加
- ⑥ 博物館こども工作室
  - 8月13日(金)～15日(日)に工作教室的なワークショップを開催 183人参加
- ⑦ 夏休みこども博物館探検ツアー
  - 7月25日・8月1日・8月8日・8月22日・8月29日の各日曜日 66人参加
- ⑧ 古墳の森コンサート「奏・so・爽」(地元高校生) 278人参加
- ⑨ 土曜プログラム
  - 「こども博物館プチ探検ツアー」 66人参加
  - 「こども古墳探検ツアー」 47人参加
  - 「こども玉づくり工房」 86人参加
- ⑩ 校外学習ワークショップ(工作・修羅ひき体験) 23校 1379人参加
- ⑪ アウトリーチ活動(出前授業) 7校 532人参加
- ⑫ 中学生・高校生の職業体験(インターンシップ)受け入れ

中学校 2校 10名 高等学校 2校 4名  
 ⑬博物館実習の大学生受け入れ 7月21日(水)から25日(日) 19人

## (5) 資料収集・貸出等

収 集 ○図書購入 (86冊)

貸 出 ○実物資料 40点 ○写真映像 73点

その他 平成16年度文化庁芸術拠点形成事業(展覧会等支援)として、体験学習用修羅を2台製作

## (6) 刊行物その他

### 1. 広報関連

- ①常設展リーフレット
- ②特別展・企画展ポスター・チラシ・リーフレット
- ③児童生徒用博物館案内1
- ④児童生徒用博物館案内2
- ⑤学校利用の手引き
- ⑥観光用リーフレット
- ⑦近つ飛鳥インフォメーション
- ⑧近つ飛鳥文化財マップ
- ⑨博物館だより「アスカディア・古墳の森」
- ⑩インターネットホームページ

常設展・特別展・企画展・博物館催し物案内を、ホームページに掲載し、また府民の意見・質問の対応のため意見交換コーナーを設置している。

(平成16年度のアクセス件数 245,060件 開設以来の累計アクセス件数 879,216件)

- ⑪マスコミ・ミニコミ紙等への情報提供等

### 2. 展示関連等

- 春季特別展図録「古墳から奈良時代墳墓へ」 (平成16年4月 発行2000部)
- 夏季企画展図録「旬夏秀陶 関西編」 (平成16年7月 発行1200部)
- 秋季特別展図録「今来才伎」 (平成16年10月 発行2200部)
- 大阪府立近つ飛鳥博物館図録「一須賀古墳群の調査Ⅴ」 (平成17年1月 発行1000部)
- 大阪府立近つ飛鳥博物館 館報9 (平成17年3月 発行2000部)
- 大阪府立近つ飛鳥博物館要覧 (平成16年9月 発行1200部)

## (7) 入館者

※展示室入場者(人)					
一 般	65歳以上	高校・大学生	中学生以下	その他(身障者・招待者等)	小 計
13,743	4,014	2,268	8,033	5,969	34,027
※普及ゾーン入場者 53,416			合 計		87,443

## (8) 平成16年度予算

205,911千円 (風土記の丘管理費を含む)

## 9. 日本民家集落博物館事業概要

### (1) 展示事業について

#### 1. 常設展示

##### ①第一ブロック：「国指定文化財を中心とするコーナー」

国指定重要文化財／摂津能勢の民家・日向椎葉の民家・信濃秋山の民家

国指定重要有形民俗文化財／飛騨白川の民家

大阪府指定有形文化財／奄美大島の高倉

未指定／河内布施の長屋門・堂島の米蔵

その他、戦国期の五輪塔・地蔵を移築、公開している。

##### ②第二ブロック：「大阪府指定文化財を中心とするコーナー」

府指定有形文化財／大和十津川の民家・越前敦賀の民家・南部の曲家

府指定民俗文化財／小豆島の農村歌舞伎舞台

未指定／くり舟（奄美のサバニ・島根のソリコ）を移築、公開している。

◎平成17年1月、「北河内の茶室」の移築が完成、新たに常設展示の民家として加えた。

- ・ 旧所在地 大阪府交野市 原田誠一氏所有・寄贈
- ・ 財団法人萬野記念文化財団・大西康之氏 寄贈

#### 2. 各種行事の開催について

①押し花作品展と押し花教室 平成16年4月1日（木）～5月16日（日）、南部の曲家で、押し花作家水嶋光子とその仲間たち（押し花工房はなあ～と主催）の作品を展示した。また期間中の2日間、身近な草花を使った押し花教室を開催した。期間中来館者は、10,052名。

※なお、上記団体による「押し花教室」を12月4日（土）・5日（日）にも、南部の曲家において開催した。体験参加者 42名

②春・秋の茶会 平成16年4月24日（土）・25日（日）、10月16日（土）・17日（日）に、裏千家千草会が、日向椎葉の民家の縁側や庭で野点を開催し、来館者にふるまった。期間中来館者は、1,134名

③子どもアート&クラフトまつり 平成16年5月1日（土）～5日（祝）、11月20日（土）～21日（日）、南部の曲家、大和十津川の民家、小豆島の農村歌舞伎舞台他で、当館の近隣に住む人々の発案・指導により、子ども達が工作等様々な文化に親しむ活動を行った。期間中来館者は、2,946名

④昔話と紙芝居に親しむ会 平成16年6月5日（土）・10月16日（土）・11月20日（土）・3月20日（日）、豊中子ども文庫・豊中紙芝居の会により、大和十津川の民家で、紙芝居と昔話の会を行なった。参加者 4日間、8回公演、計約200名

⑤七夕飾り 6月22日（火）～7月7日（水）、日向椎葉の民家・大和十津川の民家に七夕の飾りつけをし、来館者に短冊に願いごとを書いて吊してもらった。 期間中来館者は、744名

⑥なるせ女剣劇団民家集落公演 平成16年10月3日（日）、小豆島の農村歌舞伎舞台で、なるせ女剣劇団による公演を行なった。期間中来館者は、304名

⑦民家の囲炉裏で暖まろう 平成16年11月～平成17年3月までの毎土・日・祝日、飛騨白川の民

家・南部の曲家の囲炉裏に火を入れ、来館者に椎葉のお茶の無料サービスと、おしるこの販売を行なった。期間中来館者は、6,797名

- ⑧正月飾り展 平成17年1月5日(水)～30日(日)まで、移築民家各地に伝わる正月飾りを、各民家内に再現展示した。期間中来館者は、2,232名
- ⑨ふるさとのお雑煮会 平成17年1月9日(日)～10日(祝)、飛騨白川の民家・日向椎葉の民家で、移築した民家のふるさとに伝わる伝統的なお雑煮を再現した。雑煮売上げ 761食
- ⑩梅まつり 平成17年2月25日(金)～27日(日)、館内の梅林の見頃の時期に、梅林付近と各民家をライトアップし、開館時間を延長した。また期間中は夜間も囲炉裏に火を入れ、箏の演奏を行った。期間中の入館者は昼間も含めて641名
- ⑪民家集落作品展 平成17年3月6日(日)～21日(祝)、当館を題材にした絵画や写真、模型、当館の開催行事での作品等を公募し、南部の曲家で展示した。優秀作品は賞を定め初日に表彰式も行なった。開催期間中来館者 2,336名
- ⑫オカリナ・癒しの音色に魅せられて 平成17年3月21日(祝)、小豆島の農村歌舞伎舞台で、専門家のオカリナ演奏と演奏参加希望者を公募し発表の場とした。また、「土笛を作ろう」のコーナーを設けた。開催期間中来館者 464名
- ⑬平成16年度は下記の写真展を開催した。

写真展名	期間	場所
梅の撮影会写真展	4月17日(土)～4月25日(日)	大和十津川の民家
ツアー写真展	6月16日(水)～6月27日(日)	南部の曲家
四国の民家写真展	9月14日(火)～9月26日(日)	南部の曲家
椎葉紀行写真展	9月29日(水)～10月11日(月)	南部の曲家

- ⑭その他、下記の取り組み及び行事を行った。
  - ・こどもの日おもちゃプレゼント 5月5日に、先着200名の幼児・小中学生に、昔の玩具をプレゼント。また、4月20日～5月9日、日向椎葉の民家の庭に、鯉のぼりを揚げた。
  - ・「敬老の日」特別優待及び四国物産販売 南部の曲家において四国の写真展と同時に開催(9月14日～20日)期間中の「敬老の日」特別優待は84名
  - ・「落語で笑うて民家-『笑・会』民家集落秋の口演-」 大阪府老人大学上方演芸科3期終了生により開催(11月7日)催し参加者 約100名
  - ・開運プレゼント 来年の干支のカレンダーや置物を抽選でプレゼント(12月1日～25日)開催期間中来館者 1,173名
  - ・竹製品プレゼント 手作りの竹製品を先着100名にプレゼント(1月12日～22日)
  - ・民家あてクイズ 小中学生に民家名を当てるクイズを実施し、「むかしのおうち博士号」を贈呈、併せてアンケート及び当博物館の感想を記入してもらった。(2月の土・日・祝日)期間中の小中学生の入館者は124名、民家あてクイズ参加者は118名

### 3. 体験教室の開催について

- ①民家等を利用し下記の体験教室を長期に亘って開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	体験参加者数
養蚕体験・糸紡ぎ体験	7月1日～8月31日	飛騨白川の民家	94名
はたおり体験	9月15日～11月28日の 毎水・土・日曜日	摂津能勢の民家 南部の曲家	186名
石臼体験	9月19日～3月27日の 毎週日曜日午後	石臼体験コーナー	742名
ワラぞうり作り体験	10月3日～11月28日の 毎週日曜日午後	南部の曲家土間	229名
コマ遊び体験	9月25日～3月26日の 毎週土曜日午後	日向椎葉の民家前	846名

②また、季節に応じて、下記の体験教室も開催した。

体験教室名	開催期間	開催場所	指導・参加者数等
夏休み民家模型作り教室	8月18日（水）～ 8月21日（土）	カルチュアはっとり	小畑克己他 51名
夏休み竹細工教室	8月28日（土） 8月29日（日）	館内広場	江頭文雄他 31名
箏演奏体験教室	11月12日（金）～ 11月14日（日）	南部の曲家	彩里京鼓 24名
手作り和風教室	11月27日（土） 11月28日（日）	南部の曲家	山田洋子 17名
しめなわ作り教室	12月12日（日）	南部の曲家、大和十津 川の民家	笹部豊子、大元敦子他 37名
絵手紙作り	1月30日（日）	南部の曲家	福井れい子 8名
餅つき体験	2月6日（日）	日向椎葉の民家前	佐藤文夫他 37名

## （2）普及啓発事業について

### 1. 民家集落公開講座

平成16年度の公開講座として、「カルチュアはっとり」を会場に、入館者を対象として以下の公開講座を開催した。平成17年3月5日（土）・演題 「重要伝統的建造物群保存地区における古民家の再生と活用—宮崎県椎葉村十根川集落の現状と課題—」講師 尾前一日出（椎葉村伝統的建造物群保存地区を守る会会員）・演題 「古民家再生の記録—快適に住み続けるために—」講師 奥山淳三（古民家建築家）、平成17年3月12日（土）・演題 「世界の野外博物館—フランスの6つのエコミューゼー」講師 瀧端真理子（追手門学院大学助教授） 講座参加者は計45名

### 2. 故きを温ねて

当館周辺の地域に点在する史跡を見学するウォーキングツアーを開催した。当館館長が解説を行い

ながら案内、当館では開催中の企画展等を見学、その後、大和十津川の民家を利用して昼食休憩の場とした。平成16年度に実施した内容は以下の通り。

開催日	主な見学場所など	参加数
5月30日（日）	服部天神宮、住吉神社、今西家住宅、当館では企画展「いのる」の解説・見学	16名
11月6日（土）	子ども文化財教室、旧新田小学校校舎、新田での庄屋内見学、当館では秋の企画展の解説・見学	8名
2月20日（日）	麻田藩陣屋跡、円満寺、看景寺、金禅寺 当館では企画展「やね」を見学	14名

### 3. 米蔵茶論

堂島の米蔵で、6月12日 9月25日 10月30日 2月12日、当館館長を囲んで、文化財、民家、民具、その他について語り合う小さなサロンを土曜日に開催した。参加者は計21名

### 4. 民家特別公開

平成16年10月2日（土）～平成17年3月26日（土）通常は公開していない飛騨白川の民家の2階部分及び奄美大島の高倉の収蔵部分を公開、ボランティアが常駐し、解説と安全管理を行った。特別公開への参加者は1,805名

### 5. 秋の企画展

「山に生きる人々—宮崎県椎葉村の民家と暮らし—」平成16年11月2日（火）～12月25日（土）、カルチュアはっとりにて、当館に移築されている日向椎葉の民家を中心にして、椎葉村の民家と暮らしについて紹介した。さらに、民俗芸能である椎葉神楽についても取り上げ紹介した。

期間中の入館者は1,173名 また、期間中、下記の連続講座「山村の文化再考」を開催した。

- ①11月13日 演題「椎葉の民家移築始末記」講師 鳥越憲三郎（大阪教育大学名誉教授）
- ②11月20日 演題「東南アジア山岳地帯の民家と暮らし」講師 若林弘子（建築史家）
- ③11月27日 演題「西米良の焼畑と山村の暮らし」講師 伊藤廣之（大阪歴史博物館学芸課長）
- ④12月4日 演題「山間部の住まいと習俗—宮崎県椎葉村と奈良県十津川村の事例—」  
講師 森 隆男（関西大学文学部教授）

### 6. 企画展示

平成16年度は、展示室「カルチュアはっとり」において、古代から近代の「住まいに関わる道具」をテーマとして、下記の展示を行った。

- ①—はかる—「どりょうこう」 4月14日（水）～5月14日（金）、期間内に米俵や千両箱を担ぐ体験コーナーを開催 期間内来館者は6,977名
- ②—いのる—「いのり・ねがい・おもふ」5月26日（水）～6月26日（土）、期間内に勾玉や絵馬を作る体験コーナーを開催 期間内来館者は3,258名
- ③—とき—「江戸のこよみ」7月7日（水）～8月7日（土）、期間内にカレンダー作りの体験コーナーを開催 期間内来館者は1,356名
- ④—つむぐ—「とつくにの糸・わこくの糸」10月5日（火）～10月30日（土）、期間内に染色体験

コーナーを開催 期間内来館者は5,997名

⑤「やね」—覆う 葺く 被せる—2月8日（火）～3月8日（火）、期間内来館者は2,948名

⑥「はこぶ」—花 人 魂— 3月15日（火）～3月31日（木）、期間内来館者は2,225名

## 7. 大阪府文化財センター・カルチュアはっとり展示

①考古学と模型 9月1日（水）～9月30日（木）、期間内に「親と子の考古学教室—遊ぼう 学ぼう ずっとずっと昔の日本—」を4回シリーズで開催 期間中の入館者は2,734名

②古墳時代の池島・福万寺遺跡—初めてのすみごごち— 1月14日（金）～1月30日（日）、期間内行事として、1月23日（日）に下記の調査成果報告会及び展示解説を行った。

・「池島・福万寺遺跡の3・4世紀」（財）大阪府文化財センター技師 市村慎太郎

・「池島・福万寺遺跡の5・6世紀」（財）大阪府文化財センター技師 廣瀬時習

期間中の入館者は1,160名

## 8. 解説見学会

8月22日（日）に小中学生とその保護者を対象に、学芸員がジュニア民家解説見学会を行った。また、11月の毎土曜日と祝日に、来館者を対象に学芸員が民家解説を行った。期間中の入館者は2,007名

## 9. みんなクラブ・いろりクラブ（とよなか地域こども教室）

子ども達が、博物館に親しむとともに、当館が子ども達にとって安全で有意義な居場所となることを願って、下記のクラブを結成し様々な体験活動を行った。なお、活動の指導、支援は当館職員及び地域のボランティアが担当し、子ども達と地域の人々との交流の場となった。

クラブ名	対 象	参加数
みんなクラブ	豊中市立泉丘小学校及び緑地小学校の3年生～6年生の児童とその保護者	23名
いろりクラブ	上記以外の小学校の3年生～6年生の児童とその保護者	33名

## 10. 博物館実務実習

大学生に対し、下記のように学芸員の実務について指導した。

期 間	大 学 名	人 数
7月21日（水）～24日（土）	関西学院大学	6名
9月22日（水）～25日（土）	大谷大学	2名
9月22日（水）～25日（土）	大阪国際女子大学	2名
9月22日（水）～26日（日）	追手門学院大学	3名

## 11. 博物館見学実習

大学の見学来館に際して、学芸員等が解説を行った。

期 間	大 学 名	人 数
4月24日（土）	追手門学院大学	20名
5月20日（木）	関西学院大学	54名
5月30日（日）	関西大学	44名
5月23日（日）	摂南大学	48名

5月30日（日）	摂南大学	58名
7月10日（土）	神戸芸術工科大学	18名

## 12. 職場体験学習

中学生の職場体験学習を受け入れ、民家の清掃や囲炉裏の世話、野外作業、窓口業務等の体験を行うとともに、昔の生活や民家について学習を深めてもらった。

期 間	中 学 校 名	人 数
9月8日（水）～10日（金）	豊中市立第一中学校	6名
10月26日（火）～28日（木）	豊中市立第十七中学校	4名
11月16日（火）～18日（木）	豊中市立第十一中学校	4名
11月18日（木）・19日（金）	寝屋川市立木田中学校	1名

## 13. その他

当館の畑を利用して、ボランティアが栽培したサツマイモについて、近隣の小学生を招待し、芋掘り、民家の庭でセイロ蒸しと試食、併せて落葉、ドングリ集め等の体験学習を行った。

期 間	学校名・学年	人 数
10月28日（木）	豊中市立緑地小学校3年生	109名

## （3）広報事業について

### 1. 広報事業

- ① 博物館の事業内容等を広く周知するためPR紙等を作成・配布した。

項 目	発 行 月	発 行 部 数
秋の催し案内	8月	18,000
冬の催し案内	12月	17,000
春の催し案内	3月	18,000
ふるさとだより	9月	3,000

- ② インターネットを活用し、ホームページに催し案内を掲載した。

URL <http://www.occh.or.jp/minka/>

- ③ 各事業の実施にあたって、府庁記者クラブ、豊中市記者クラブ、地域広報紙等に資料提供を行った。
- ④ 豊中市広報誌への掲載、豊中ケーブルテレビでの放送を依頼し、広報に務めた。
- ⑤ 豊中市民ギャラリー（阪急電車豊中駅隣接）にて「日本民家集落博物館展」を開催、当館所蔵民具や民家集落作品展優秀作、みんかクラブの子どもの作品を展示した。（平成16年4月6日～4月11日）
- ⑥ 当館の民家をモデルにした版画による絵葉書を新規に作成し、販売を行いPRに努めた。

## （4）館内諸施設の整備について

### 1. 自動火災報知設備の改修

経年磨耗等により誤報や非常電話の不通状況の原因になっていた館内の自動火災報知設備幹線の改修工事を行った。

2. 石臼コーナーの設置 堂島の米蔵の南側に石臼の体験コーナーを設置した。

3. ボランティア活動による館内の整備

民家の清掃・囲炉裏による燻蒸等の業務の補助、竹林や植栽の手入れ・畑の作物の栽培等の業務を公募したボランティアに委託し、施設の整備や館内の景観保全に努めた。

4. 豊中南ロータリークラブ35周年事業

平成16年5月、豊中南ロータリークラブ35周年事業として「歌の小径」＜童謡「赤とんぼ」の音符を表した31個の六方石によるベンチ＞の寄贈を受けた。

(5) 博物館友の会活動について

1. 友の会主催行事

開催日	行事名	内 容	参加数
5月23日(日)	民家町並み見学ツアー	東海道関宿(三重県)の見学	19名
6月13日(日)	民家模型を作ろう	日向椎葉の民家の模型製作体験	5名
9月25日(土)	民家町並み見学ツアー	京都市上京区西陣界隈の見学	27名
11月28日(日)	民家町並み見学ツアー	鯖街道(滋賀県朽木宿・福井県熊川宿・小浜宿)の見学	28名

2. 友の会民家集落解説ボランティア

友の会会長を中心に民家愛好家7名により、来館者の多い春秋の日曜日に、飛騨白川の民家を中心に民家解説を行った。なお、解説ボランティアの指導・助言は当館学芸員が担当し「友の会民家解説ボランティア」を結成、来館者に館内の民家や民家のふるさとについて解説をする。また、民家内の展示物の破損などを防止するとともに、当館への来館者の意見を集約し館に伝達する役割も果たすものである。

開催期間 平成16年4・5月、9・10月、平成17年3月の毎日曜日 期間中の来館者は5,818名

(6) 入館者数及び入館料一覧表(日本民家集落博物館)

(平成16年度)

月	入館者数(人)	入館料(円)	開館日数(日)
4月	5,519	2,137,400	26
5月	7,927	2,368,000	27
6月	2,464	878,050	26
7月	1,421	496,700	27
8月	1,578	499,950	26
9月	2,734	889,250	26
10月	6,830	1,699,600	27
11月	6,267	1,989,950	25
12月	1,173	429,500	23
1月	2,232	890,600	23
2月	2,316	764,600	24
3月	4,002	1,366,150	27
合計	44,463	14,409,750	307
15年度	42,737	14,056,900	306

※ 入館料については消費税込みで記入。消費税抜きの入館料収入は13,723,582円

# 事務所・博物館所在地



**本部事務所**  
〒590-0105 堺市竹城台3丁21番4号  
Tel (072) 299-8791 Fax (072) 299-8905

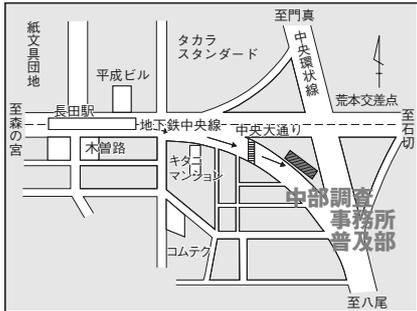
**資料情報係**  
Tel (072) 290-0491 Fax (072) 290-2611



**京阪調査事務所**  
〒572-0814 寝屋川市堀溝1丁目1-15  
Tel (072) 811-3630 Fax (072) 811-3632

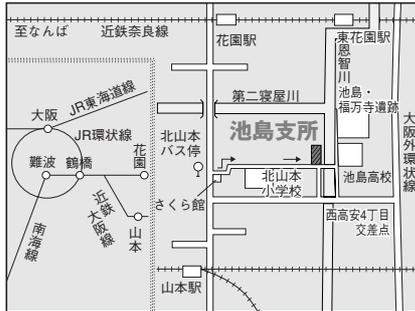


**交野分室**  
〒576-0022 交野市藤が尾1丁目2  
Tel (072) 895-1200 Fax (072) 895-1201



**中部調査事務所**  
〒577-0012 東大阪市長田東1丁目9番16号  
Tel (06) 6785-3921 Fax (06) 6785-3515

**普及部**  
Tel (06) 6785-4531 Fax (06) 6785-5431



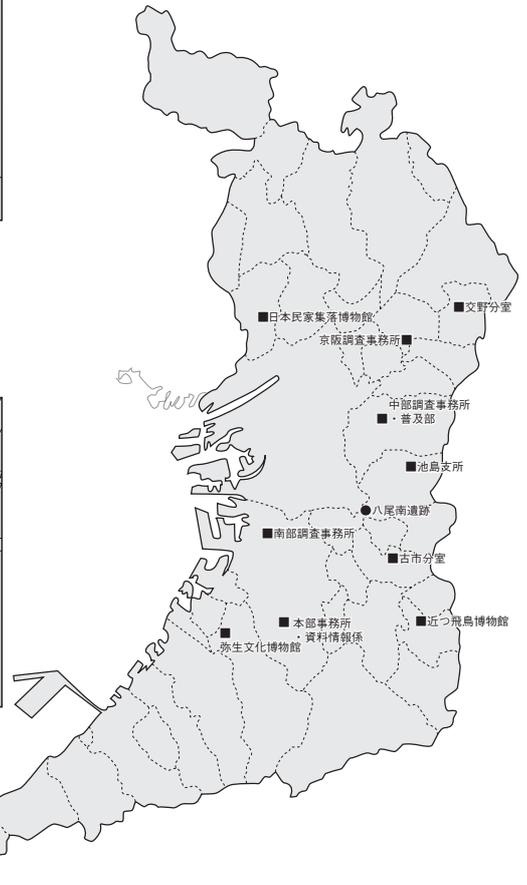
**池島支所**  
〒581-0842 八尾市福万寺町8丁目地先  
Tel (0729) 99-9890 Fax (0729) 90-5131



**南部調査事務所**  
〒590-0015 堺市南田出井町1丁目1番10号  
Tel (072) 227-6001 Fax (072) 227-6101

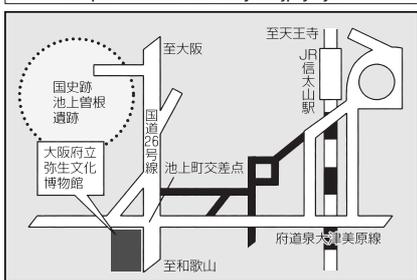


**古市分室**  
〒583-0854 羽曳野市軽里3丁目1-13  
Tel (0729) 50-2080 Fax (0729) 58-5855

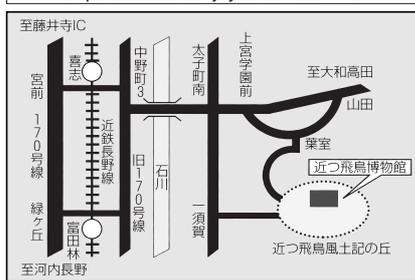


**ホームページアドレス**  
<http://www.occh.or.jp>

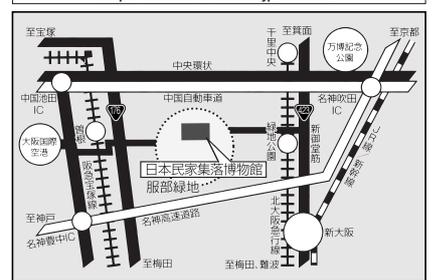
**大阪府立弥生文化博物館**  
〒594-0083大阪府和泉市池上町443  
TEL.0725-46-2162(代) FAX.0725-46-2165  
<http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>



**近つ飛鳥博物館**  
〒585-0001大阪府南河内郡河南町大字東山299番地  
TEL.0721-93-8321(代) FAX.0721-93-8325  
<http://www.mediajoy.com/chikatsu/>



**日本民家集落博物館**  
〒561-0873大阪府豊中市服部緑地1-2  
TEL.06-6862-3137(代) FAX.06-6862-3147  
<http://www.occh.or.jp/minka/>



財団法人 大阪府文化財センター年報

平成16年度

平成17年11月10日 発行

発行 財団法人 大阪府文化財センター

〒590-0105 大阪府堺市竹城台3丁21-4

TEL072-299-8791 FAX072-299-8905

印刷 株式会社 中島弘文堂印刷所

表紙 シンボルマーク

八尾市美園古墳出土 重要文化財 家形埴輪